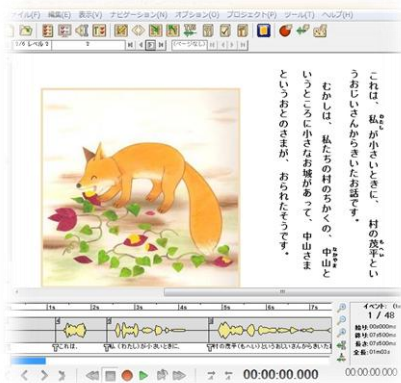
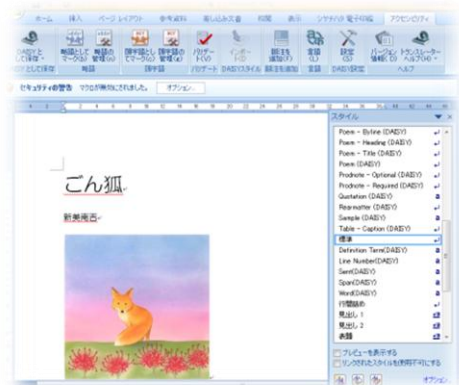
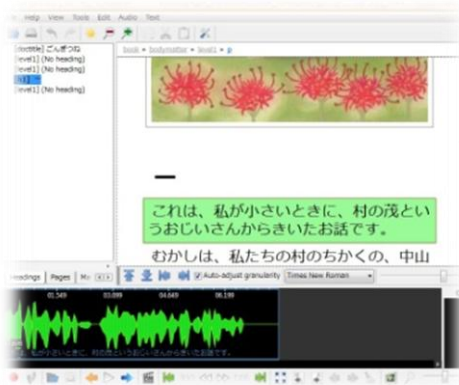


製作マニュアル

デイジー図書を作ってみよう！

Ver.2.0

DAISY 録音図書を製作するソフトウェアは様々な種類があり、製作される図書の使用目的や用途に応じたソフトウェアを選択することが必要になってきます。
このマニュアルでは DAISY 録音図書を製作するソフトウェアの紹介をします。



「ごんぎつね」DAISY版 著者:新美 南吉 絵:画工舎 製作: (公財)日本障害者リハビリテーション協会

2014年1月

(公財)日本障害者リハビリテーション協会

目次

全体の流れ-----	3
ソフトウェア等入手先-----	4
DAISY Farm-----	6
DAISY Translator-----	32
Tobi-----	56
XHTML Converter-----	67
Sigtuna DAR 3 JP-----	85
SigtunaCorrection-----	113
Dolphin Publisher-----	116
DAISY Pipeline-----	146

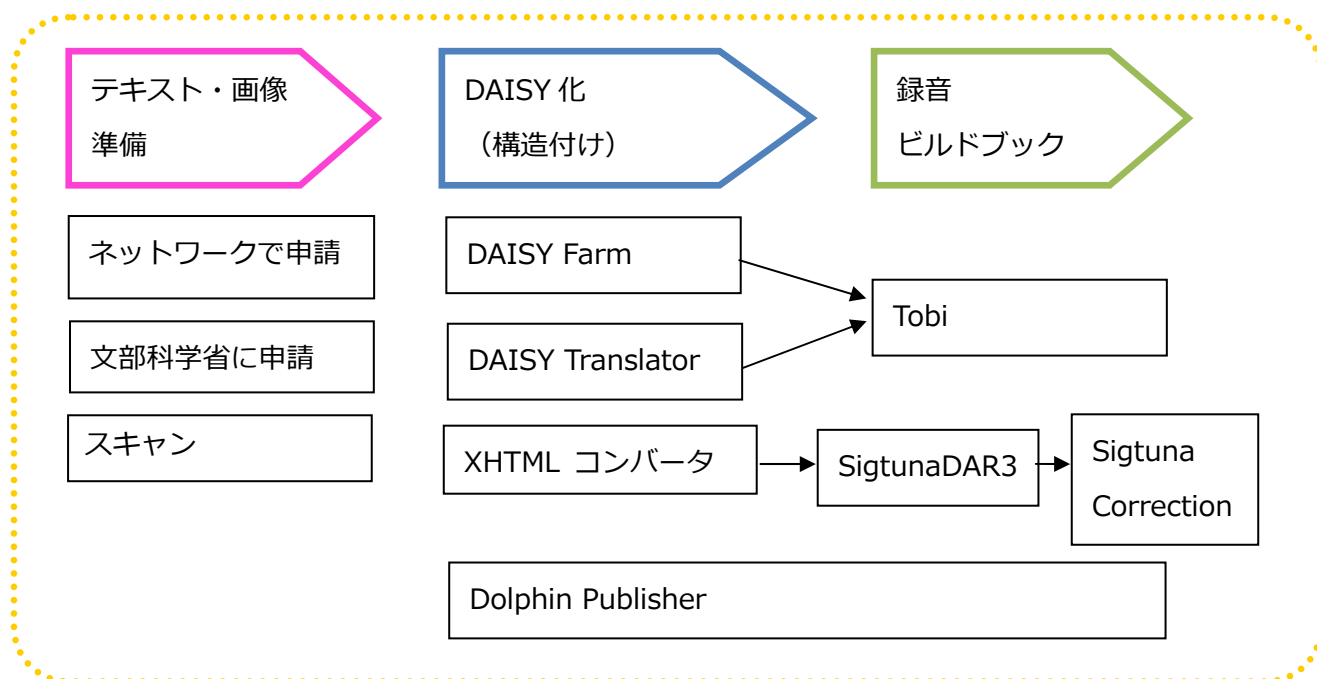
全体の流れ

DAISY 図書の製作を行うには、まず、テキストと画像を準備します。出版社からデータを手したり、原本をスキャンする方法などがあります。DAISY 教科書の製作においてはネットワークを通じてデータを申請する方法や、文科省に申請書を提出する方法があります。

DAISY 図書の製作は、様々な製作ツールで行うことができます。DAISY コンソーシアムが開発している無償のツールもありますし、企業が販売しているツールもあり、それぞれ特徴が違います。

このマニュアルでは、現在日本で主に使われている方法をご紹介します。その他のツールについては、DAISY コンソーシアムウェブサイト等からご確認ください。

製作の基本的な流れと、このマニュアルで紹介するツール



関連ウェブサイト

(公財) 日本障害者リハビリテーション協会(JSRPD) 「製作用ソフトウェア」

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/index.html>

NPO 法人 支援技術開発機構 (ATDO) 「DAISY 製作ツール」

<http://www.normanet.ne.jp/~atdo/tool.html#authoring>

DAISY コンソーシアム 「Tools and Services」 (英語)

<http://www.daisy.org/tools/production>

ソフトウェア等入手先

ソフトウェア

DAISY Farm

DAISY 3 のテキスト DAISY 製作ツール。Tobi で録音します。

無償でダウンロード可能です。

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/index.html>

DAISY Translator

DAISY 3 XML と、DAISY3 または 2.02 の合成音声の同期した DAISY の製作ツールです。Tobi で録音します。

無償でダウンロード可能な Word のアドインです。

http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/save_as_daisy.html

XHTML コンバータ

DAISY2.02 製作に必要な XHTML ファイルの製作ツール。SigtunaDAR3 で録音します。

無償でダウンロード可能です。

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/xhtmlconv.html>

Tobi

DAISY3 と EPUB 対応の録音ツール。DAISY Farm や DAISY Translator で作成したファイルを読み込んで、録音します。

無償でダウンロード可能です。

<http://www.normanet.ne.jp/~atdo/tool.html#tobi>

SigtunaDAR3

DAISY2.02 対応の録音ツール。XHTML コンバータで作成したファイルを読み込んで、録音します。

利用条件に合う場合は、(公財) 日本障害者リハビリテーション協会に申請して、無償で提供を受けることができます。

http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/sigtunadar3jp_a.html

Sigtuna Correction

SigtunaDAR3 で発生する問題を修正するソフトウェアです。無償でダウンロード可能です。

<http://daisy.step-abc.jp/memo2013/osirase-sigtuna-correction.html>

Dolphin Publisher

DAISY2.02 対応の、テキストの編集から録音まですべて行えるマルチメディア DAISY 編集ツールです。センテンスの長さの調節なども容易に行えるため、DAISY の編集にも活用できます。有償です。

<http://blog.normanet.ne.jp/atdo/index.php?q=node/106>

DAISY Pipeline

DAISY に関連する様々なファイルの変換ソフトです。DAISY 3 から DAISY2.02 への変換や、文字コードの変換（UTF-8 から Shift_JIS 等）等ができます。

たとえば、SigtunaDAR 3 は Shift_JIS 対応です。SigtunaDAR 3 で編集した図書の、センテンスの長さを変更したい場合など、Pipeline で文字コードを UTF-8 に変換して、DolphinPublisher で開くことができます。

また、Save as DAISY と Tobi で製作した DAISY3 図書を編集したい場合、Pipeline で DAISY2.02 に変換して、DolphinPublisher で開くことができます。

<http://www.normanet.ne.jp/~atdo/tool.html#Pipeline>

教科書デジタルデータ申請

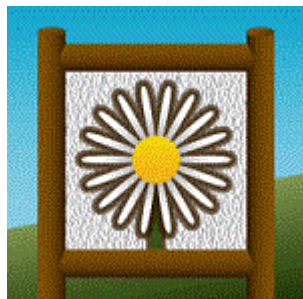
文部科学省

教科用特定図書等を製作するボランティア団体等について

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/kakudai/1294987.htm

マルチメディア DAISY 教科書製作にあたってのガイドライン

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/activities/daisykanren/daisytextGuideline.html>



はじめに

[DAISY Farmとは...](#)

[作例](#)

[DAISY Farmのインストール](#)

[DAISY Farmのユーザーインターフェース](#)

[作成の前に用意するもの](#)

[作成の流れ](#)

[Version 1.1.0の新機能](#)

プロジェクト

[プロジェクトとは...](#)

[プロジェクトの作成](#)

[プロジェクトを開く](#)

[書誌情報の入力](#)

[変換元テキストファイルを登録する](#)

[登録済みテキストファイルを編集する](#)

[テキストファイルの登録を解除する](#)

[使用する画像ファイルを登録する](#)

[画像ファイルの登録を解除する](#)

[ファイル名を変更する](#)

[テキストDAISY3図書を作成する](#)

[テキストDAISY3図書を削除する](#)

[プロジェクトの設定を変更する](#)

変換元テキストの書きかた

[特別な意味を持った文字](#)

[テキストDAISY3図書に必要な要素](#)

[図書名を明示するには](#)

[ファイルを分けたいときの書きかた](#)

[ページ区切りの書きかた \(ページ番号おまかせ\)](#)

[ページ区切りの書きかた \(ページ番号指定\)](#)

[見出し \(h1~h6\) の書きかた](#)

[文節区切りのルール](#)

[画像を挿入するには](#)

[番号付きリストを作成するには](#)

[簡条書きリストを作成するには](#)

[テーブルの書きかた](#)

[ルビの書きかた](#)

[エスケープの書きかた](#)

[強制改行の書きかた](#)

[文字参照による置き換え](#)

[コメントの書きかた](#)

[段落下げの書きかた](#)

[インライン引用の書きかた](#)

[斜体強調の書きかた](#)

[ボールド強調の書きかた](#)

Q & A

はじめに

DAISY Farmとは...

DAISY FarmはテキストDAISY3図書の作成ツールです。
簡単な文法規則で記述したテキストファイルからテキストDAISY3図書のデータ一式を作成できます。
テキストDAISY3の図書には画像を含めることも可能です。

DAISY Farmで作成したDAISY3を読み上げさせたいときは、テキスト読み上げに対応したDAISYプレイヤーで再生してください。

動作環境は以下の通りです。

■ 対応ハードウェア

- Windows PC

■ 対応OS

- Windows XP (SP3以降) 32bitのみ
- Windows Vista 32bit/64bit
- Windows 7 32bit/64bit

作例


以下のような画像を含むテキストDAISY3図書を作成できます。
ルビの表記もできます。

テキストDAISY3図書のサンプル

このサンプルはDAISY Farmで作成されました。

1. 桜

桜はバラ科サクラ属サクラ亜属に分類される落葉広葉樹です。



1. バラ目
1. バラ科
1. サクラ亜目

2. 梅

梅はバラ科サクラ属に分類される落葉広葉樹です。

DAISY Farmのインストール

次のウェブサイトよりダウンロードできます。

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/index.html>

DAISY Farmのzipファイルを解凍すると以下のファイルが現れます。

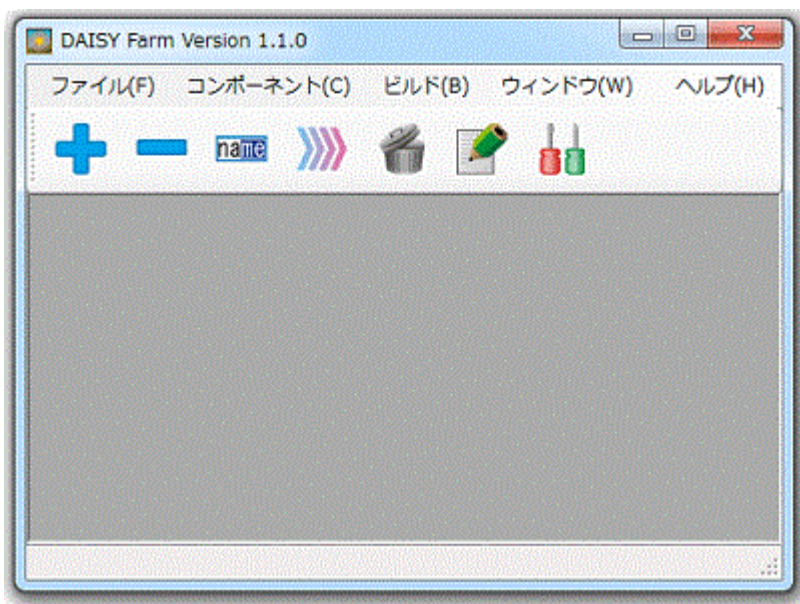


setup.exeを起動し、指示に従ってインストールを完了してください。






[ヘルプの先頭に戻る](#)

DAISY Farmのユーザーインターフェース

DAISY Farmを起動すると下図のような画面が表示されます。



各ボタンの役割は以下の通りです。

	[追加] ボタン	テキストファイルまたは画像ファイルをプロジェクトに追加します。
	[解除] ボタン	プロジェクトへのテキストファイルまたは画像ファイルの登録を解除します。
	[リネーム] ボタン	プロジェクトに追加済みのテキストファイルまたは画像ファイルをリネームします。
	[ビルド実行] ボタン	プロジェクトをビルドします。
	[生成ファイルの削除] ボタン	プロジェクトをビルドして生成されたDAISY3図書を削除します。



[編集] ボタン

選択したテキストファイルをメモ帳で開きます。



[設定] ボタン

プロジェクトの [設定] タブを表示します。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

作成の前に用意するもの

新しくテキストDAISY3図書を作成する際に用意するものは以下の通りです。

- 変換元のテキストファイル
- 図書で使用する画像ファイル一式

テキストファイルの書き方については[変換元テキストの書きかた](#)を参照してください。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

作成の流れ

DAISY FarmでDAISY3図書を作成する流れは以下の通りです。

1. プロジェクトファイルを作成する

新しくプロジェクトファイルを作成するか、もしくは既存のプロジェクトファイルを開きます。

2. 書誌情報を入力する

作成したいテキストDAISY3図書の書誌情報を入力します。

3. 変換元テキストファイルを指定する

変換する元となるテキストファイルを指定します。

4. 画像ファイルを指定する

図書で使用する画像ファイルを指定します。

5. 設定を変更する

必要に応じてプロジェクトの設定を変更します。

6. [ビルド実行] ボタンを押す

テキストDAISY3図書を作成します。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

Version 1.1.0の新機能

アプリケーションの変更点は以下の通りです。

- 変換元テキストファイルのShift_JIS以外の文字コードに対応
- 設定ダイアログを廃止し、プロジェクトウィンドウに設定タブに統合

また、新たに以下の文法規則に対応しました。

- 段落下げ
- 文字列のインライン引用
- 文字列の斜体強調
- 文字列のボールド強調

[ヘルプの先頭に戻る](#)

プロジェクト

プロジェクトとは...

プロジェクトとは、個々のテキストDAISY3図書を生成するために必要な情報の集まりです。プロジェクトファイルの拡張子は「.dfproj」になります。

プロジェクトファイルには以下の情報が含まれます。

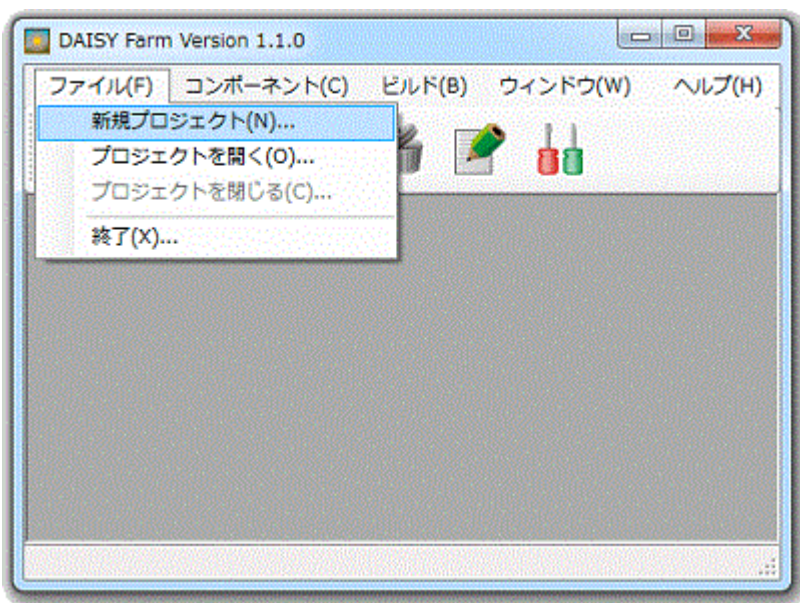
- テキストDAISY3図書を生成する場所（プロジェクトファイルが置かれているフォルダ）
- 生成するテキストDAISY3図書の書誌情報
- 変換元テキストファイルのファイル名
- 図書で使用する画像ファイルのファイル名
- プロジェクトの設定情報

なお、テキストDAISY3図書はプロジェクトファイルと同じフォルダ内に「daisy3book」というフォルダ名で作成されます。

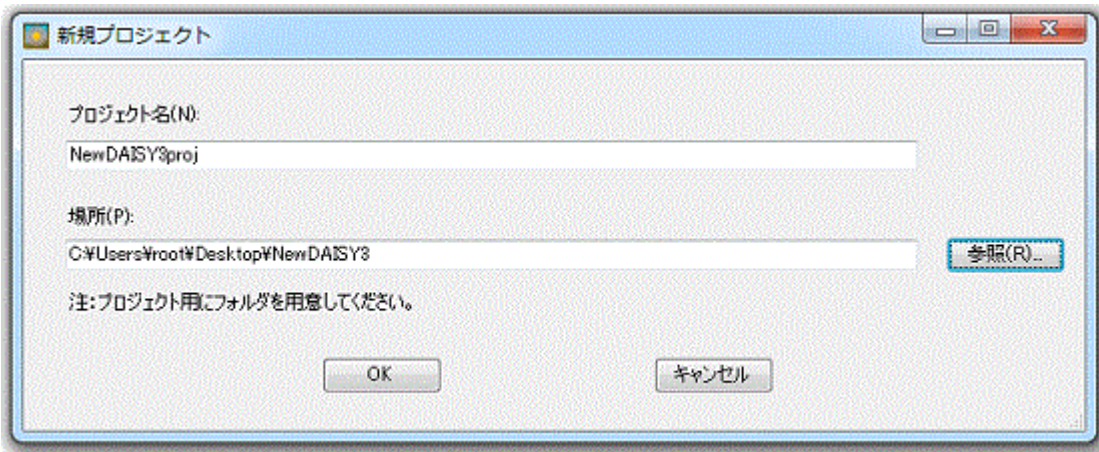
[ヘルプの先頭に戻る](#)

プロジェクトの作成

ファイルメニューから「新規プロジェクト...」を選択します。



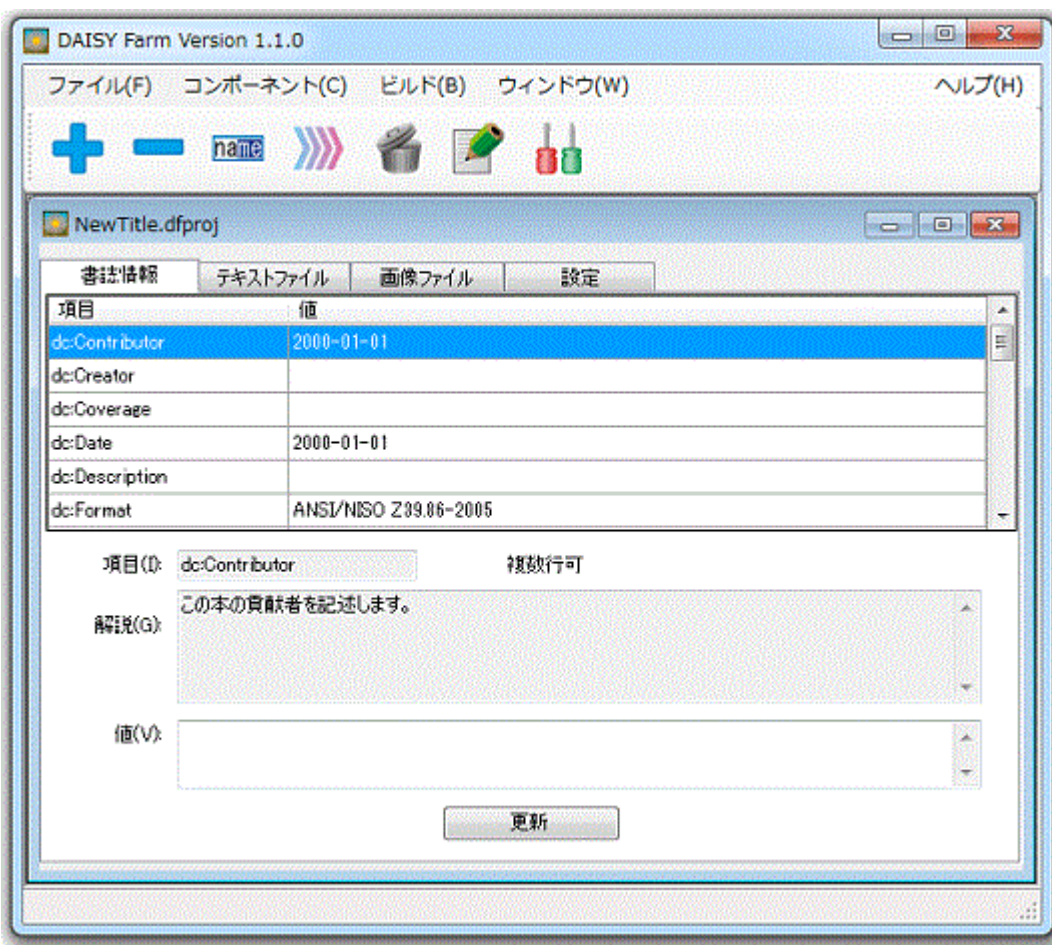
下図のようなダイアログが表示されます。



プロジェクト名を入力し、プロジェクトを保存する場所を指定します。

新規プロジェクト用に新しいフォルダを作成し、そのフォルダを保存場所に指定してください。

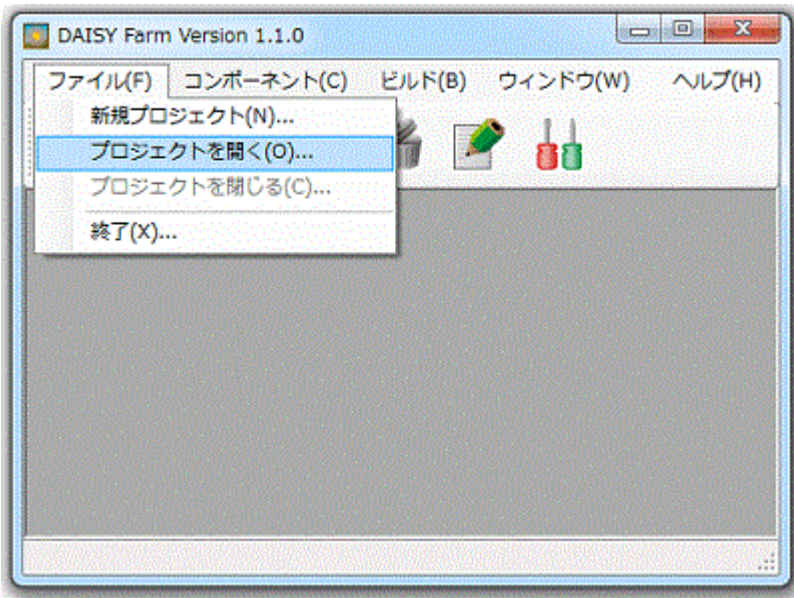
[OK] ボタンをクリックすると下図のような画面が表示されます。



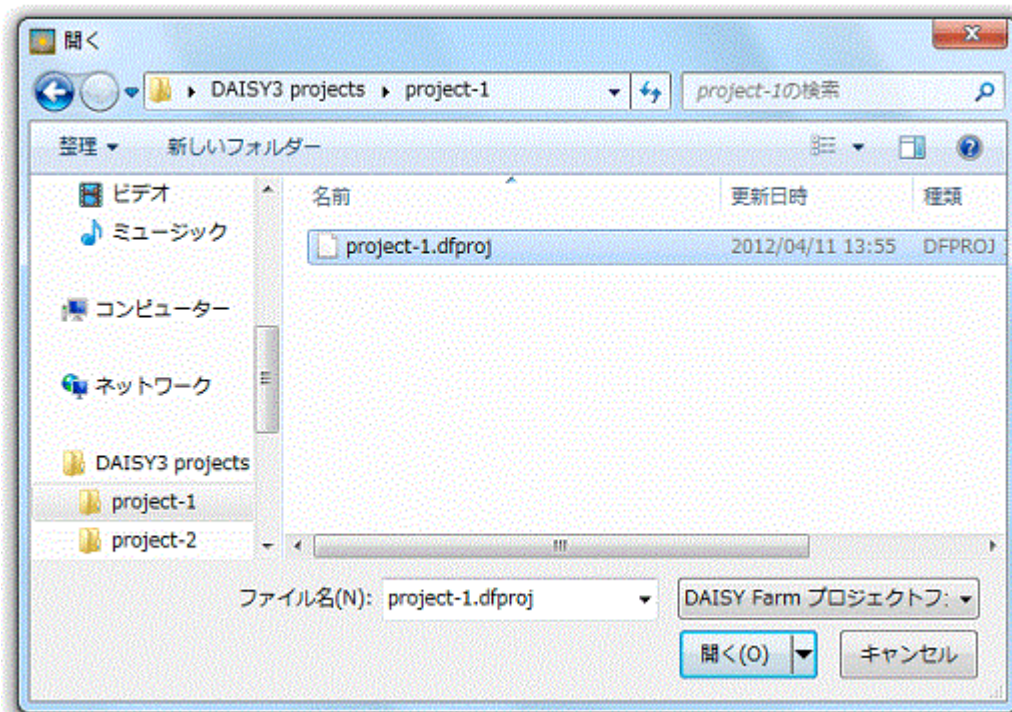
[ヘルプの先頭に戻る](#)

プロジェクトを開く

既存のプロジェクトファイルを開きたいときは、ファイルメニューから“プロジェクトを開く”を選択します。



【開く】ダイアログが表示されるので任意のプロジェクトファイルを選択して【開く】ボタンをクリックしてください。



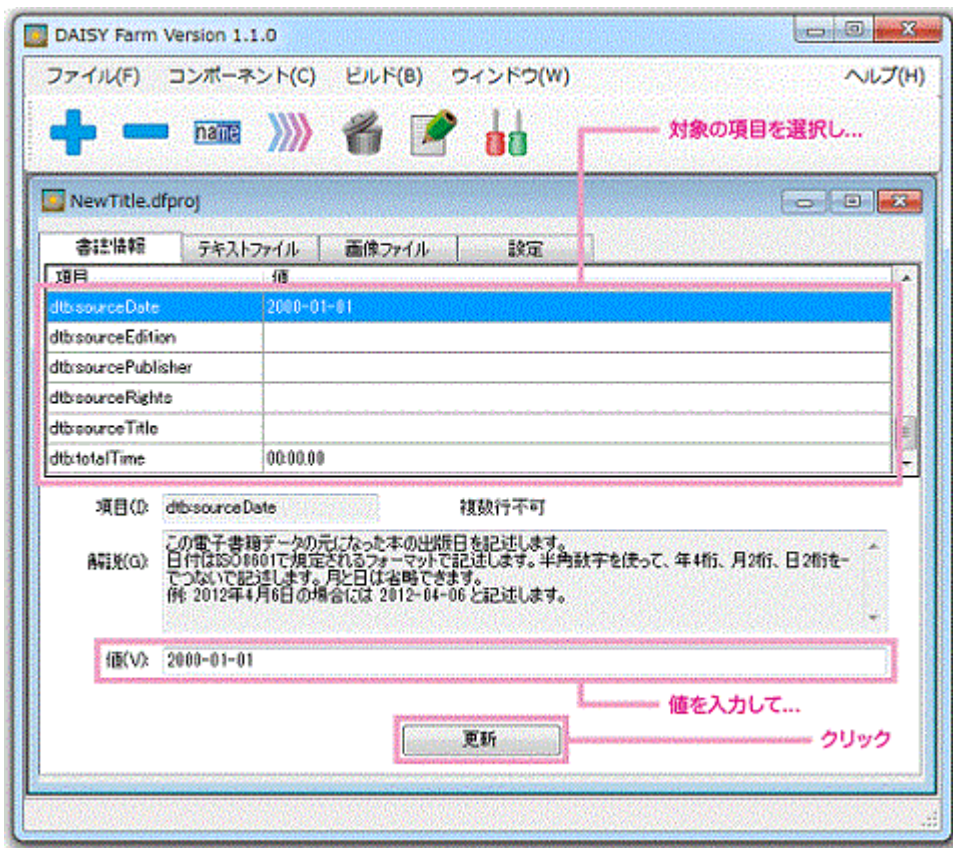
[ヘルプの先頭に戻る](#)

書誌情報の入力

テキストDAISY3図書を作成するためには書誌情報が必要です。

タブの【テキストファイル】または【画像ファイル】が選ばれている場合は【書誌情報】をクリックしてください。

テーブルで対象の項目を選び、入力フィールドに値を入力して【更新】ボタンをクリックします。



書誌情報の一欄は以下の通りです。

dc:contributor	この本への貢献者		
dc:creator	この本の著者名や知的内容に関する製作者名		
dc:coverage	この本が適用される範囲		
dc:date	この本の出版日	必須	
dc:description	この本の説明		
dc:format	電子図書データのフォーマット	必須	"ANSI/NISO Z39.86-2005"で固定
dc:identifier	この本固有の識別文字列。図書のISBN番号等	必須	
dc:language	この本の言語	必須	
dc:publisher	この本の出版社名	必須	
dc:relation	この本に関連する参照情報		
dc:rights	この本の権利		
dc:source	この本の派生元の参照情報		
dc:subject	この本の扱うトピック		
dc:title	この本のタイトル	必須	
dtb:multimediaContent	この電子図書データに含まれるメディア形式	必須	"text"で固定
dtb:multimediatype	この電子図書データのマルチメディア型式名	必須	"textNCX"で固定
dtb:produceddate	この電子図書データを最初に製作した日付		
dtb:producer	この電子図書データを製作した組織名		
dtb:revision	この電子図書データのバージョン番号		
dtb:revisiondate	この電子図書データのバージョンを製作した日付		
dtb:revisiondescription	この電子図書データのバージョンに関する説明		
dtb:sourcedate	この電子図書データの元になった本の出版日		
dtb:sourceedition	この電子図書データの元になった本の版の説明		
dtb:sourcepublisher	この電子図書データの元になった本の出版社名		

dtb:sourcerights	この電子図書データの元になった本の権利	
dtb:sourcetitle	この電子図書データの元になった本のタイトル	
dtb:totaltime	この電子図書データの総再生時間	必須 固定値 (00:00.00)

必須の項目が一つでも未入力の場合、テキストDAISY3図書の生成はできません。

項目によっては改行して複数個の値を指定できます。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

変換元テキストファイルを登録する

変換元テキストファイルをプロジェクトに登録します。

テキストファイルの登録には以下の二つの方法があります。

- ダイアログを使って登録する方法
- ドラッグ&ドロップで登録する方法

タブの「書誌情報」または「画像ファイル」が選ばれている場合は「テキストファイル」をクリックしてください。


テキストファイルの文字コードは以下のどれかにしてください。

- Shift_JIS
- UTF-8
- UTF-16 リトルエンディアン
- UTF-16 ビッグエンディアン

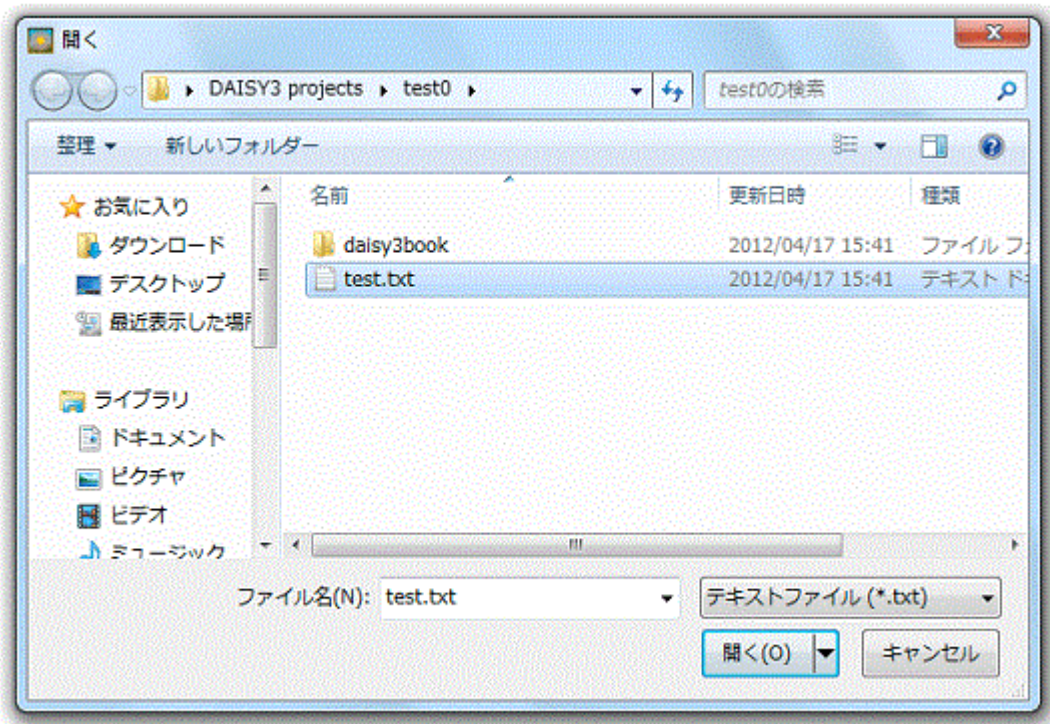
テキストファイルのファイル名は半角英数字にしてください。

■ ダイアログを使って登録する方法

1. 「追加」ボタンをクリックする

 「追加」ボタン

「開く」ダイアログが表示されます。

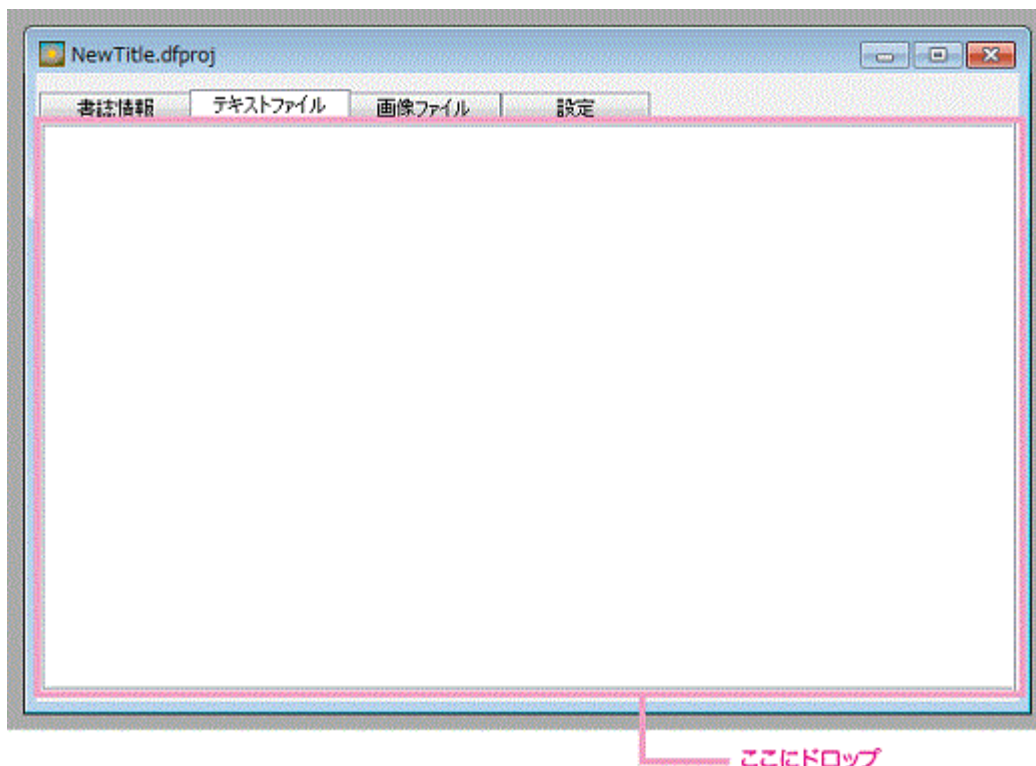


2. テキストファイルを選ぶ

登録したいテキストファイルを選んで「開く」ボタンをクリックします。

■ ドラッグ&ドロップで登録する方法

1. 登録ファイルを枠内にドラッグ&ドロップする



プロジェクトファイルとは違うフォルダにあるテキストファイルを登録した場合はプロジェクトファイルと同じフォルダにコピーされます。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

登録済みテキストファイルを編集する

登録したテキストファイルをダブルクリックするか、選択して [編集] ボタンをクリックするとメモ帳で編集できます。



[編集] ボタン

編集が完了したら、テキストファイルを上書きします。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

テキストファイルの登録を解除する

登録を解除するテキストファイルを選択して [解除] ボタンをクリックします。



[解除] ボタン

登録を解除してもテキストファイルはプロジェクトのフォルダ内に残ります。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

使用する画像ファイルを登録する

テキストDAISY3図書で表示させたい画像はすべてプロジェクトに登録します。

画像の登録には以下の二つの方法があります。

- ダイアログを使って登録する方法
- ドラッグ&ドロップで登録する方法

タブの [書誌情報] または [テキストファイル] が選ばれている場合は [画像ファイル] をクリックしてください。

画像のフォーマットはJPEGまたはGIFにしてください。

画像ファイルのファイル名は半角英数字にしてください。

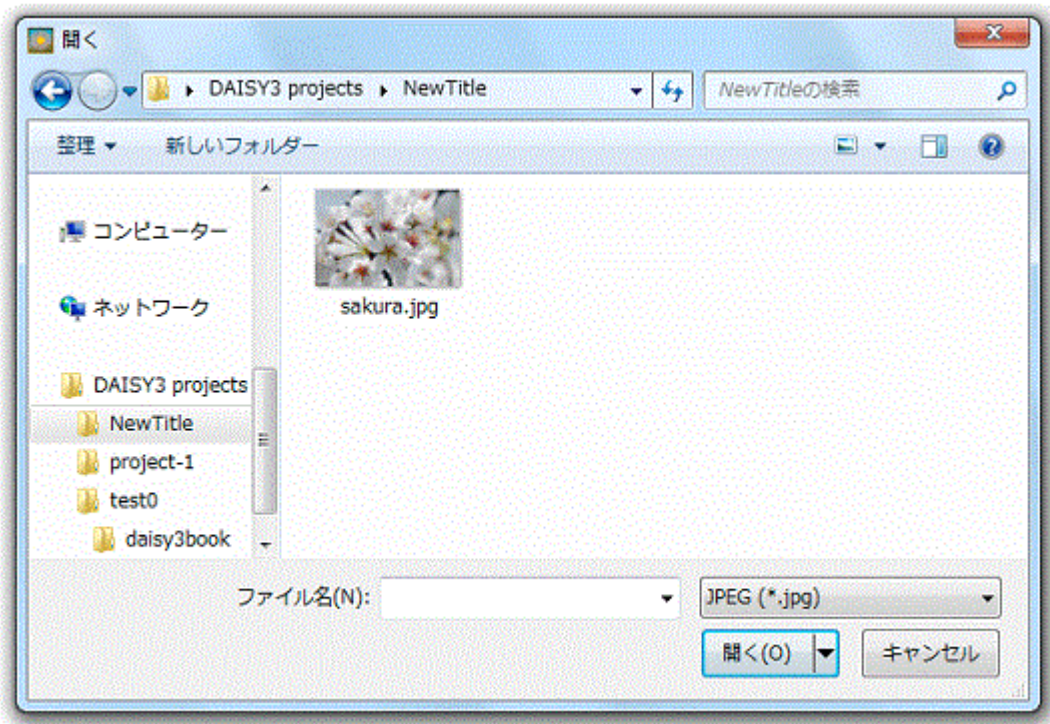
■ ダイアログを使って登録する方法

1. [追加] ボタンをクリックする



[追加] ボタン

[開く] ダイアログが表示されます。

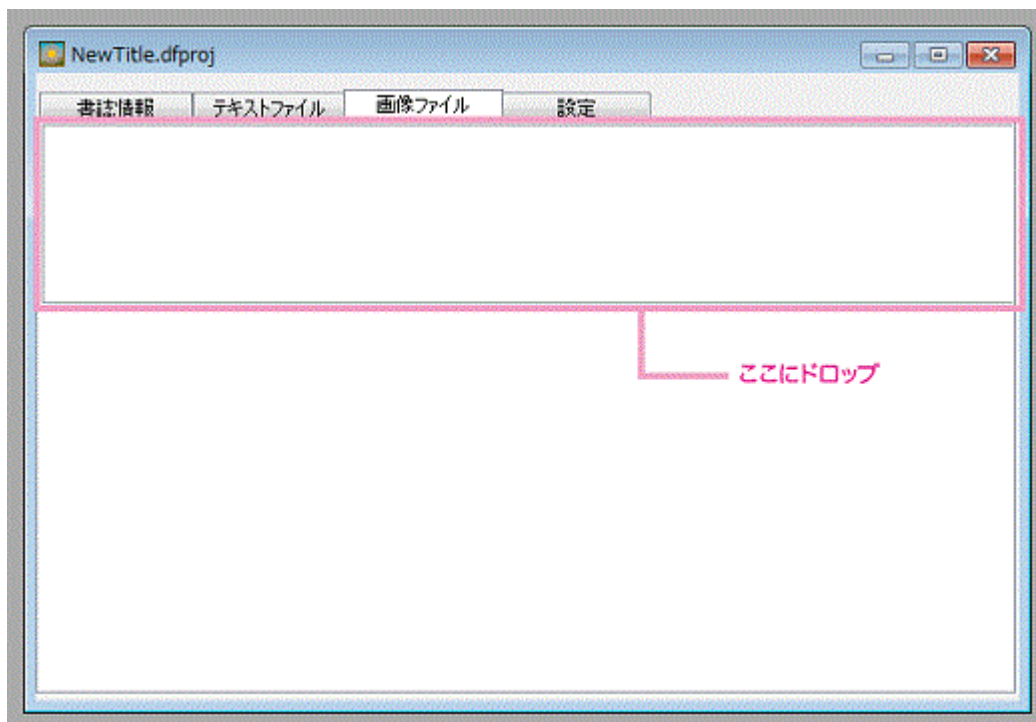


2. 画像ファイルを選ぶ

登録したい画像ファイルを選んで [開く] ボタンをクリックします。

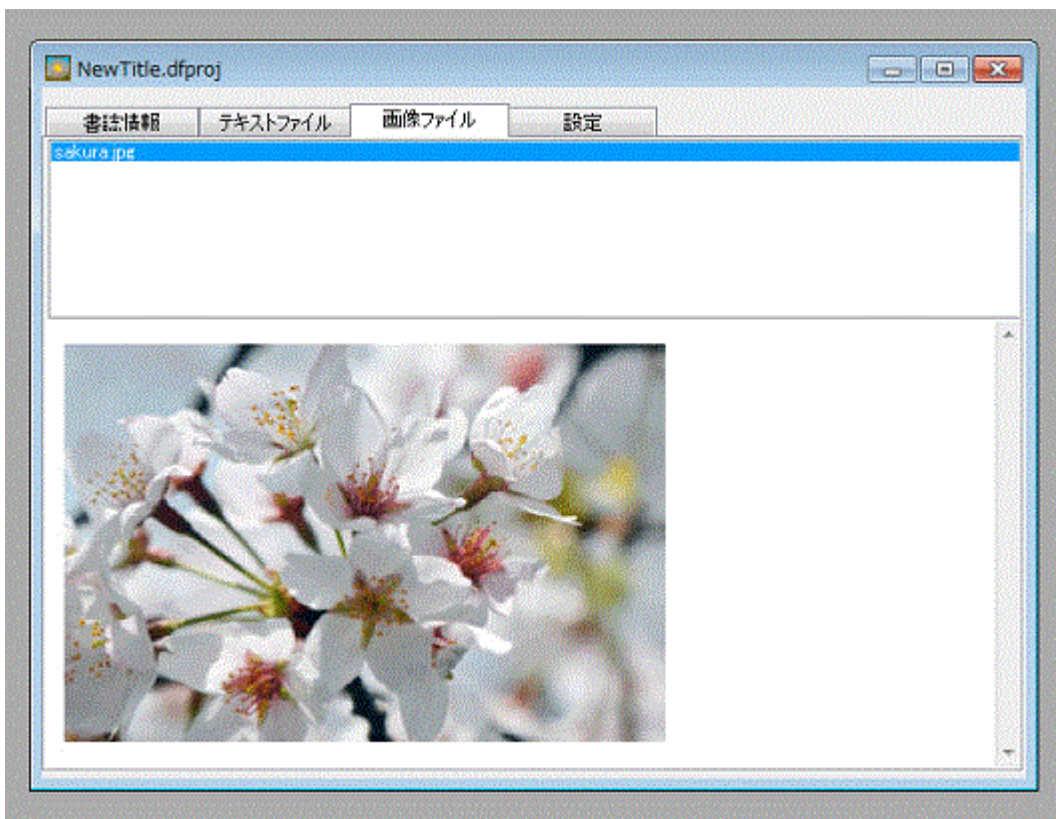
■ ドラッグ&ドロップで登録する方法

1. 画像ファイルを枠内にドラッグ&ドロップする



プロジェクトファイルとは違うフォルダにある画像ファイルを登録した場合はプロジェクトファイルと同じフォルダにコピーされます。


登録した画像を選択するとプレビューが表示されます。



[ヘルプの先頭に戻る](#)

画像ファイルの登録を解除する

登録を解除したい画像ファイルを選択して [解除] ボタンをクリックします。


 [解除] ボタン

登録を解除しても画像ファイルはプロジェクトのフォルダ内に残ります。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

ファイル名を変更する

登録したテキストファイルおよび画像ファイルを選択して [リネーム] ボタンをクリックするとファイル名を変更できます。


 [リネーム] ボタン

[ヘルプの先頭に戻る](#)

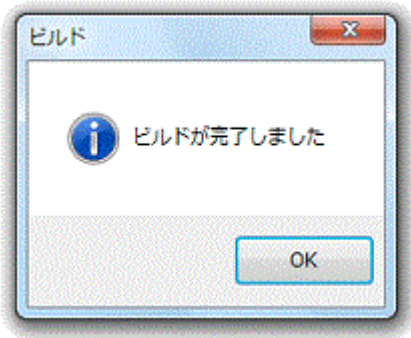
テキストDAISY3図書を作成する

準備が整ったらプロジェクトをビルドしてテキストDAISY3図書を作成します。

[ビルド実行] ボタンをクリックしてください。

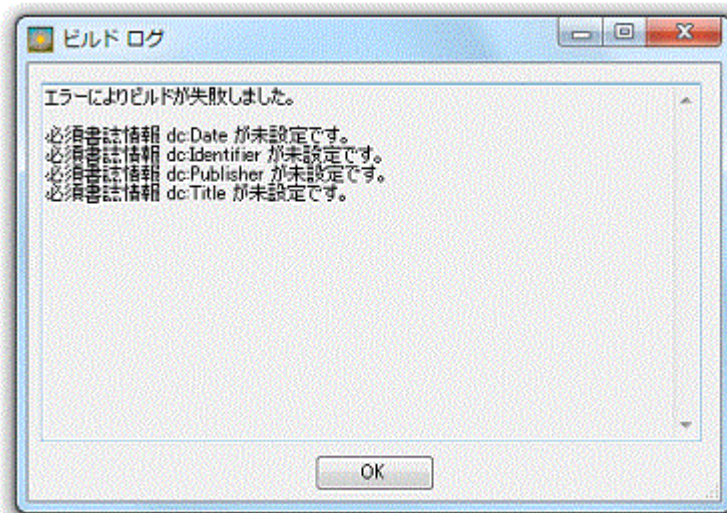
 [ビルド実行] ボタン

ビルドが成功するとダイアログが表示されます。



テキストDAISY3図書を構成するファイル一式はプロジェクトファイルと同じフォルダ内の「daisy3book」フォルダに格納されています。

なお、書誌情報の入力に不備があるときはエラーメッセージが表示され、テキストDAISY3図書は作成されません。



ファイルのはじめがh2になっていると、「警告：見出しレベルの指定がH2から始まっています。」というエラーメッセージが表示されます。2枚目以降のファイルのはじめがh2の場合には問題ありませんので、メッセージを無視していただいて構いません。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

テキストDAISY3図書を削除する

プロジェクトをビルドして作成したテキストDAISY3図書を削除する場合は [生成ファイルの削除] ボタンをクリックします。



[生成ファイルの削除] ボタン

プロジェクトのビルドを実行すると、常に最新の内容で新たなテキストDAISY3図書のファイル一式が作成されます。

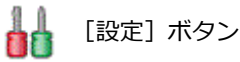
再度テキストDAISY3図書をビルドし直す場合でも、前もって以前のテキストDAISY3図書を削除しておく必要はありません。

[生成ファイルの削除] ボタンは意図的にテキストDAISY3図書を削除したいときにお使いください。

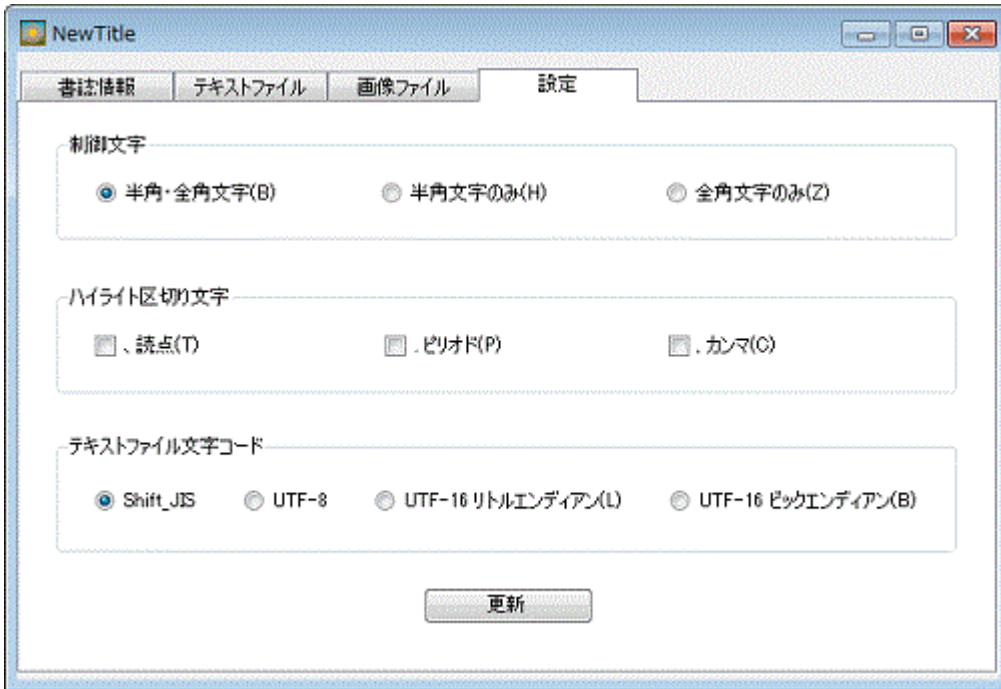
[ヘルプの先頭に戻る](#)

プロジェクトの設定を変更する

プロジェクトの設定を変更したいときは [設定] ボタンをクリックします。



設定を変更して [更新] ボタンをクリックしてください。



**[更新] ボタンをクリックするまでは設定の変更は反映されません。
なお、[更新] ボタンをクリックせずに他のタブに切り替えると、変更した設定は元に戻ります。**

テキストDAISY作成後、Tobiで録音をする場合には、文字コードは「UTF-8」にチェックを入れてください。

■ 制御文字

制御文字では変換元テキストの変換ルールに使える文字の種類を指定します。

[半角・全角文字]……………半角・全角どちらの文字も同じと見なされます。

[半角文字のみ]……………半角文字のみが変換ルールの指定で全角文字は通常のテキストの一部と見なされます。

[全角文字のみ]……………全角文字のみが変換ルールの指定で半角文字は通常のテキストの一部と見なされます。

■ ハイライト区切り文字

ハイライト区切り対象では、[文節の区切り](#)と見なされる文字を追加できます。

■ テキストファイル文字コード

変換元のテキストファイルの文字コードを指定します。

文字コードの指定が間違っていると正しいDAISY3図書が生成されません。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

変換元テキストの書きかた

特別な意味を持った文字

以下の文字および文字列はテキストファイルの内容をテキストDAISY3図書のXMLに変換する際にそれぞれ特別な意味を持ちます。

■ 行頭にそれだけを書いたときに特別な意味を持つ文字および文字列

=	続く文字列（改行まで）を図書のタイトルとします	図書名を明示するには
=	続く文字列（改行まで）を図書のタイトルとします	図書名を明示するには
&	次の行以降の変換結果を新しいファイルに保存します	ファイルを分けたいときの書きかた
&	次の行以降の変換結果を新しいファイルに保存します	ファイルを分けたいときの書きかた
~~	次の行以降を新しいページに割り振ります	ページ区切りの書きかた（ページ番号おまかせ）
~~	次の行以降を新しいページに割り振ります	ページ区切りの書きかた（ページ番号おまかせ）
~ページ番号	次の行以降を新しいページに割り振り、任意のページ番号を付与します	ページ区切りの書きかた（ページ番号指定）
~		
~ページ番号~	次の行以降を新しいページに割り振り、任意のページ番号を付与します	ページ区切りの書きかた（ページ番号指定）
~		

■ 行頭に書いたときに特別な意味を持つ文字および文字列

*	続く文字列（改行まで）をh1に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
**	続く文字列（改行まで）をh2に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
***	続く文字列（改行まで）をh3に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
****	続く文字列（改行まで）をh4に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
*****	続く文字列（改行まで）をh5に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
*****	続く文字列（改行まで）をh6に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
*	続く文字列（改行まで）をh1に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
**	続く文字列（改行まで）をh2に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
***	続く文字列（改行まで）をh3に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
****	続く文字列（改行まで）をh4に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
*****	続く文字列（改行まで）をh5に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
*****	続く文字列（改行まで）をh6に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
■	続く文字列（改行まで）をh1に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
□	続く文字列（改行まで）をh2に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
◆	続く文字列（改行まで）をh3に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
◇	続く文字列（改行まで）をh4に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
●	続く文字列（改行まで）をh5に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
○	続く文字列（改行まで）をh6に変換します	見出し（h1～h6）の書きかた
+	続く文字列（改行まで）を番号付きリストの第一階層に変換します	番号付きリストを作成するには
++	続く文字列（改行まで）を番号付きリストの第二階層に変換します	番号付きリストを作成するには

+++	続く文字列（改行まで）を番号付きリストの第三階層に変換します	番号付きリストを作成するには
+	続く文字列（改行まで）を番号付きリストの第一階層に変換します	番号付きリストを作成するには
++	続く文字列（改行まで）を番号付きリストの第二階層に変換します	番号付きリストを作成するには
+++	続く文字列（改行まで）を番号付きリストの第三階層に変換します	番号付きリストを作成するには
-	続く文字列（改行まで）を箇条書きリストの第一階層に変換します	箇条書きリストを作成するには
--	続く文字列（改行まで）を箇条書きリストの第二階層に変換します	箇条書きリストを作成するには
---	続く文字列（改行まで）を箇条書きリストの第三階層に変換します	箇条書きリストを作成するには
-	続く文字列（改行まで）を箇条書きリストの第一階層に変換します	箇条書きリストを作成するには
--	続く文字列（改行まで）を箇条書きリストの第二階層に変換します	箇条書きリストを作成するには
---	続く文字列（改行まで）を箇条書きリストの第三階層に変換します	箇条書きリストを作成するには

■ 段落の頭に書いたときに特別な意味を持つ文字

{	続く段落全体が一段下がり	で強調されます	段落を一段下げるには
{	続く段落全体が一段下がり	で強調されます	段落を一段下げるには

■ テーブルを作る際に意味を持つ文字

!	続く文字列を表のヘッダ行のセルテキストにします	テーブルの書きかた
!	続く文字列を表のヘッダ行のセルテキストにします	テーブルの書きかた
	続く文字列を表の通常のセルテキストにします	テーブルの書きかた
	続く文字列を表の通常のセルテキストにします	テーブルの書きかた

■ テキスト中の任意の箇所に書いたときに特別な意味を持つ文字および文字列

。	その箇所までを1個の文節にします	文節区切りのルール
。」	その箇所までを1個の文節にします	文節区切りのルール
▲	文節の終端を指定するときに使用します	文節区切りのルール
%	画像を挿入するときに使用します	画像を挿入するには
`	ルビを表示させたいときに使用します	ルビの書きかた
`	ルビを表示させたいときに使用します	ルビの書きかた
¥	変換ルールに割り当てられた文字を通常の文字として扱いたいときに使用します	エスケープの書きかた
¥	変換ルールに割り当てられた文字を通常の文字として扱いたいときに使用します	エスケープの書きかた
;	テキストを強制改行させたいときに使用します	強制改行の書きかた
;	テキストを強制改行させたいときに使用します	強制改行の書きかた
__	続く文字列（改行まで）をコメントと見なします	コメントの書きかた
___	続く文字列（改行まで）をコメントと見なします	コメントの書きかた

■ テキスト中の任意の文字列をはさんで書いたときに特別な意味を持つ文字および文字列

^	^と^ではさんだ文字列をインライン引用（<q>タグ）とします	引用の書きかた
^	^と^ではさんだ文字列をインライン引用（<q>タグ）とします	引用の書きかた
^^	^^と^^ではさんだ文字列を斜体強調（タグ）とします	斜体強調の書きかた

^^	^^と^ではさんだ文字列を斜体強調 (タグ) とします	斜体強調の書きかた
^^^	^^^と^ではさんだ文字列をボールド強調 (タグ) とします	ボールド強調の書きかた
^^^	^^^と^ではさんだ文字列をボールド強調 (タグ) とします	ボールド強調の書きかた

これらの指定はDAISYプレイヤーの種類によっては表現されない場合があります。

■ 変換時に自動的に置き換えられる文字

&	自動的に"&"という表記に置き換えられます	文字参照による置き換え
<	自動的に"<"という表記に置き換えられます	文字参照による置き換え
>	自動的に">"という表記に置き換えられます	文字参照による置き換え

上記に当てはまらない文字および文字列は通常の本文に変換されます。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

テキストDAISY3図書に必要な要素

テキストDAISY3図書に変換するために最低限必要となる要素は以下の通りです。

- 図書名
- 図書の原題（翻訳書の場合）
- 作者名
- 翻訳者名（翻訳書の場合）
- 本文

図書名は書誌情報に入力するだけでなく、テキストDAISY3図書の冒頭にも明記するのが慣例です。

記述例：

= マッチ売りの少女 ←……………図書名
 = The Little Match Gir ←……………図書の原題
 ■ マッチ売りの少女 ←……………図書名
 ■ The Little Match Girl ←……………図書名の原題
 □ ハンス・クリスチャン・アンデルセン作 ←……………作者名
 ◆ 結城浩訳 ←……………翻訳者名

ひどく寒い日でした。雪も降っており、すっかり暗くなり… ←……………本文

テキストDAISY3図書の表示例：



図書名を明示するには

行頭が“=”または“=”で始まるテキスト（改行まで）は図書の名前になります。

“=”または“=”で始まる図書名は変換元テキストファイルの冒頭に書いてください。

ファイルを分けたいときの書きかた

行頭に“&”または“&”を書くとそれ以降の変換結果が新たなファイルに書き出されます。

“&”または“&”の後ろには何も書かないでください。

長編作品では、章単位、あるいは数ページ単位でファイルを分けてください。
処理能力があまり高くない機器で動作するDAISYプレイヤーでは、1個のファイルに含まれるテキストが多いと処理にもたつく場合があります。

テキストDAISY作成後、Tobiで録音をする場合には、ファイルを分けしないでください。

ページ区切りの書きかた（ページ番号おまかせ）

行頭に“~~”または“~~”を書くとそれ以降の変換結果が新たなページに割り振られます。
ページ番号は1から順番に付与されます

“~~”または“~~”の後ろには何も書かないでください。

ページ区切りの書きかた（ページ番号指定）

ページを区切る際、ページ番号を指定するには“~~10~~”または“~~10~~”のように書きます（P.10にする場合）。

ページ番号は半角数字にしてください。

ページ番号に続く“~~”または“~~”の後ろには何も書かないでください。

見出し（h1～h6）の書きかた

行頭が“*”または“*”で始まるテキスト（改行まで）は見出しになります。
“*”または“*”を複数個書くことで見出しの階層を指定できます。
“*”が1個ならh1、2個ならh2といった具合です。

*テキスト …………… h1

**テキスト …………… h2

***テキスト …………… h3

他にも、行頭に“■□◆◇●○”のどれかを指定すると、それぞれh1～h6の見出しになります。割り当ては以下の通りです。

■ …………… h1

□ …………… h2

◆ …………… h3

◇ …………… h4

● …………… h5

○ …………… h6

[ヘルプの先頭に戻る](#)

文節区切りのルール

一連のテキストの中に“。”または“。””が出てきたら、そこまでを1個の文節の終わりとし、続くテキストを新たな文節とします。

なお、任意の位置で文節を分けたい場合は区切る箇所に“▲”を書きます。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

画像を挿入するには

画像を挿入したい場合は“%ffffff%aaaaa%”または“%ffffff%aaaaa%”と書きます。ffffffには画像のファイル名を、aaaaaには画像に対するALT記述のテキストを書いてください。

画像はテキストの途中に表示させることもできます。

ここに書く画像のファイル名は[使用する画像ファイルを登録する](#)で登録した画像ファイルの名前です。もし変換したテキストDAISY3図書で画像が正しく表示されない場合は、対になるファイル名に食い違いがないかを確認してください。

画像のフォーマットはJPEGまたはGIFにしてください。

記述例：

こちら%sakura.jpg%桜の花の写真%は桜の花の写真です。

テキストDAISY3図書の表示例：



番号付きリストを作成するには

行頭が“+”または“+”で始まるテキスト（改行まで）は番号付きリストになります。

“+”または“+”を複数個書くことでリストの階層（最大三階層）を指定できます。

記述例：

```
+ 魚類
+ 鳥類
+ 哺乳類
++ ネコ科
+++ ライオン
+++ トラ
+++ チーター
++ イヌ科
```

テキストDAISY3図書の表示例：

1. 魚類
2. 鳥類
3. 哺乳類
 1. ネコ科
 1. ライオン
 2. トラ
 3. チーター
 2. イヌ科

改行後に“+”または“+”で始まらない行があるとそのリストは終了したと見なされます。

箇条書きリストを作成するには

行頭が“-”または“-”で始まるテキスト（改行まで）は箇条書きリストになります。

“-”または“-”を複数個書くことでリストの階層（最大三階層）を指定できます。

記述例：

```
- 魚類
- 鳥類
- 哺乳類
-- ネコ科
--- ライオン
--- トラ
--- チーター
-- イヌ科
```

テキストDAISY3図書の表示例：

- 魚類
- 鳥類
- 哺乳類
 - ネコ科
 - ライオン
 - トラ
 - チーター
 - イヌ科

改行後に“-”または“-”で始まらない行があるとリストは終了したと見なされます。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

テーブルの書きかた

“!”または“!”に続くテキストは表のヘッダ行のセルテキストになります。

“|”または“|”に続くテキストは通常のセルテキストになります。

記述例：

```
!ヘッダA!ヘッダB!ヘッダC
|セルA2|セルB2|セルC2
|セルA3|セルB3|セルC3
```

テキストDAISY3図書の表示例：

ヘッダA	ヘッダB	ヘッダC
セルA2	セルB2	セルC2
セルA3	セルB3	セルC3

[ヘルプの先頭に戻る](#)

ルビの書きかた

テキストにルビを振りたい場合は“` tttttttt ` rrrrrrrr `”または“` tttttttt ` rrrrrrrr `”と書きます。

ttttttttはルビを振るテキスト、rrrrrrrrにはルビのテキストを書いてください。

記述例：

```
`柿本人麻呂`かきのもとひとまる`は`飛鳥時代`あすかじだい`の`歌人`かじん`です。
```

テキストDAISY3図書の表示例：

かきのもとひとまる あすかじだい かじん
柿本人麻呂は飛鳥時代の歌人です。

なお、ルビの表示に対応していないDAISYプレイヤーでは以下のように表示されます。

柿本人麻呂（かきのもとひとまる）は飛鳥時代（あすかじだい）の歌人（かじん）です。

エスケープの書きかた

変換ルールに割り当てられた文字を通常の文字として表示させたい場合、直前に“¥”または“¥ ”を書きます。

記述例：

"文中に"¥%"を表記したいときは¥ ¥%"と書きます。 "¥ ¥"自体を表記するときは"¥ ¥ ¥"と書きます。

テキストDAISY3図書の表示例：

"¥%"と書くと文中に"%"を表記できます。"¥"自体を表記するときは"¥ ¥"と書きます。

強制改行の書きかた

テキスト中に";"または"; "を書くと、その位置で強制改行されます。
段落を分けずにテキストを改行させたい場合に使用してください。

記述例：

強制的に改行させたい箇所に";"または"; "を書くと;その位置で改行されます。

テキストDAISY3図書の表示例：

強制的に改行させたい箇所に";"または"; "を書くと
その位置で改行されます。

文字参照による置き換え

テキスト中の"&"、"<"、">"は、テキストDAISY3図書のXML上ではそれぞれ以下のように置き換えられます。

- & …………… &
- < …………… <
- > …………… >

コメントの書きかた

"__"または"___"に続けて書いたテキスト（改行まで）はコメントになります。

なお、コメントはテキストDAISY3図書のXMLには書き出されません。

段落下げの書きかた

“{”または“{”で始まる段落は一段下げられます。

記述例：

ホームズは引き出しから少し色あせた巻紙を取り出し、そのひもをほどいて、私に小さな紙を手渡した。青みのある灰色で、半切、ひどい字がのたくっていた。

{もはや鶏肉は順調にすべてロンドンへ出荷が終わった。狩場の主任のハドソンは蠅取紙の注文の一切を必ず受けると知らせた。あなたの雌雉が危ないので主任に命じて高飛びを助けて落ちないようにしろ。

この謎に満ちた手紙を読み終わって顔を上げると、私の目に、こちらの表情を見てほくそ笑むホームズの姿が映った

テキストDAISY3図書の表示例：

ホームズは引き出しから少し色あせた巻紙を取り出し、そのひもをほどいて、私に小さな紙を手渡した。青みのある灰色で、半切、ひどい字がのたくっていた。

もはや鶏肉は順調にすべてロンドンへ出荷が終わった。狩場の主任のハドソンは蠅取紙の注文の一切を必ず受けると知らせた。あなたの雌雉が危ないので主任に命じて高飛びを助けて落ちないようにしろ。

この謎に満ちた手紙を読み終わって顔を上げると、私の目に、こちらの表情を見てほくそ笑むホームズの姿が映った。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

インライン引用の書きかた

“^”または“^”ではさんだテキストはインライン引用（<q>タグ）になります。

記述例：

一連のテキストの中の^特定の箇所^をインライン引用として表現できます。

テキストDAISY3図書の表示例：

一連のテキストの中の"特定の箇所"をインライン引用として表現できます。

インライン引用を指定してもDAISYプレイヤーの種類によっては表現されない場合があります。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

斜体強調の書きかた

“^^”または“^^”と“^”または“^”ではさんだテキストは斜体強調（タグ）になります。

記述例：

一連のテキストの中の^^特定の箇所^を斜体として表現できます。

テキストDAISY3図書の表示例：

一連のテキストの中の特定の箇所を斜体として表現できます。

斜体強調を指定してもDAISYプレイヤーの種類によっては表現されない場合があります。

斜体強調の終了は“^”または“^”が一個です。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

ボールド強調の書きかた

“^^^”または“^^^”と“^”または“^”ではさんだテキストはボールド強調（タグ）になります。

記述例：

一連のテキストの中の^^^特定の箇所^をボールドとして表現できます。

テキストDAISY3図書の表示例：

一連のテキストの中の特定の箇所をボールドとして表現できます。

ボールド強調を指定してもDAISYプレイヤーの種類によっては表現されない場合があります。

ボールド強調の終了は“^”または“^”が一個です。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

Q&A

• DAISY Farmで作成できるDAISY図書の規格はどれですか？

テキストDAISY3図書です。

DAIAY2および2.02のテキストDAISY図書は作成できません。

また、DAISY Farm単体では音声DAISYおよびマルチメディアDAISYの図書は作成できません。

• 変換元となるテキストファイルの文字コードは何にすればいいですか？

以下のどれかにしてください。

- Shift_JIS
- UTF-8
- UTF-16 リトルエンディアン
- UTF-16 ビッグエンディアン

なお、ビルド実行をする前に、[プロジェクトの設定](#)内の [テキストファイルの文字コード] を選択してください。

- **画像のフォーマットはどうすればいいですか？**

以下のどちらかにしてください。

- **JPEG**
- **GIF**

- **長編作品は本文の途中でファイルを分割するべきでしょうか？**

はい。

処理能力があまり高くない機器で動作するDAISYプレイヤーでは、1個のファイルに含まれるテキストが多いと処理にもたつく場合があります。

とは言え機器によって条件が異なるので、ファイル分割の目安は決まっていません。

そこで章の単位、あるいは数ページ単位でファイルを分けると良いでしょう。

[ヘルプの先頭に戻る](#)

Word から DAISY を作ってみよう！

DAISY Translator V2 利用の手引

DAISY Translator 操作手順

1. [ダウンロード](#)
2. [インストール](#)
3. [DAISY スタイルのインポート](#)
4. [スタイルのクリア](#)
5. [タイトルの作成](#)
6. [見出しの作成](#)
7. [ページの作成](#)
 - 7.1. [自動ページ](#)
 - 7.2. [カスタムページ](#)
8. [Word 文書の保存](#)
9. [DAISY に変換 \(Save as DAISY\)](#)
 - 9.1. [合成音声 \(TTS\) の入ったマルチメディア DAISY](#)
 - 9.2. [DAISY XML の作成](#)

参考情報

1. [DAISY の再生](#)
 - 1.1. [無償の DAISY 再生ソフト](#)
 - 1.2. [DAISY 再生ソフトの情報を掲載しているウェブサイト](#)
2. [音声合成に関して](#)
 - 2.1. [音声合成エンジンのインストール](#)
 - 2.2. [音声の変更](#)
3. [FAQ](#)

Microsoft[®]



掲載内容は下記のマニュアルをもとに、最近のソフトウェアの改訂を反映したものです。

「WordからDAISYを作ってみよう！－DAISY Translator V2 利用の手引き－」

2010年発行

著者・発行者：マイクロソフト株式会社、特定非営利活動法人支援技術開発機構（ATDO）

はじめに

DAISY（デイジー）は、誰もが読めるアクセシブルな電子図書の無償で公開されている国際標準規格であり、この規格を用いると文字・音声・画像を同時に再生できるマルチメディア図書を作成することができます。また、優れたナビゲーション、検索、ブックマーク等の機能で、ストレスなく読みたいところをすぐに読むことができます。世界各国で、印刷された文書や Web に置かれた電子出版物を読むことに困難のある人々（ディスレクシア、視覚障害、知的障害、パーキンソン病、本を持って読むのが困難なモビリティ障害などで読書が困難な人々等）が活用しています。

Save As DAISY Translator Add-in（略称 DAISY Translator）は、Microsoft® Word 2010、Word 2007、Word 2003 もしくは Word XP の文書から、合成音声とテキスト・画像の入った DAISY 3 または DAISY2.02 規格のマルチメディア、もしくは DAISY 3 規格の XML を作成することができます。

DAISY Translator は、Microsoft Word®の組み込みソフトとして、マイクロソフト株式会社（<http://www.microsoft.com/japan/enable/>）と国際非営利法人である DAISY コンソーシアム（<http://www.daisy.org/>）が共同で開発した無償のオープンソースソフトウェアです。

DAISY Translator 日本語版の普及によって、Web のアクセシビリティの確保と同様に、文書作成者が読むことに困難のある人々のニーズに若干の配慮（合理的配慮）をすることで、あらゆる文書が完成と同時に DAISY 形式でも提供される文化が、日本でも広く定着することを期待します。

DAISY コンソーシアム理事 河村 宏

この「手引」では、身近な文書を誰にでもアクセシブルにするために、Save As DAISY Translator Add-in Version 2.1.1.5 日本語版を使って、手軽に DAISY 3 規格のマルチメディア、もしくは DAISY 3 規格の XML を製作する手順をご紹介します。日本語版は下記リンクから入手できます。

1. ダウンロード

Save as DAISY Translator 2.1.1.5 日本語版は、(財)日本障害者リハビリテーション協会 DAISY 研究センターのウェブサイトからダウンロードできます。

http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/save_as_daisy.html



DAISY_Transltor 日本語版 (32bit 版) と DAISY_Transltor 日本語版 (64bit 版) があります。Word が 32bit 版の場合は、32bit 版をインストールしてください。Word が 64bit 版の場合は、64bit 版をインストールしてください。

Word2007 以前は、全て 32bit です。

OS の bit 数と Office の bit 数は異なる場合があります。

bit 数の確認の方法は、次のウェブサイトをご確認ください。

「インストールされている Office プラットフォーム バージョンの確認」

http://office.microsoft.com/ja-jp/word-help/HA010361023.aspx#_Toc307215943

Save as DAISY Translator 英語版は DAISY コンソーシアムのウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.daisy.org/project/save-as-daisy-microsoft/>

Save as DAISY Translator バージョン 2.1.1.5 日本語版は、英語版のメニューを日本語に翻訳しましたが、ソフトウェア自体は変更していません。そのため、メニューやスタイルの中には、日本語の文章ではあまり使用しないものも含まれています。

2. インストール

DaisyAddinForWordSetup.exe をダブルクリックして、インストールを開始します。



音声合成について

Save As DAISY Translator を使用して、合成音声の入った DAISY 図書を製作する場合は、パソコンに音声合成エンジンがインストールされている必要があります。

音声合成に関しては、「音声合成に関して」をご確認ください。

注：

対応 OS : Windows®8、Windows® 7、Windows Vista®、Windows XP®

対応アプリケーション : Microsoft Word 2010、Word 2007、Word 2003、Word XP

(.Net Framework 3.0 と Java run time 1.5、Microsoft Office の PIA と、Microsoft Office 互換機能パック (Microsoft Word 2003 または Word XP を使用する場合) が必要ですが、自動的にインストールされます)

インストールを開始すると、使用しているコンピュータの OS によってユーザー制御画面で「プログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？」や「発行元を確認できませんでした。このソフトウェアを実行しますか？」というメッセージが出る場合があります。その場合は、「はい」や「実行」を選択します。

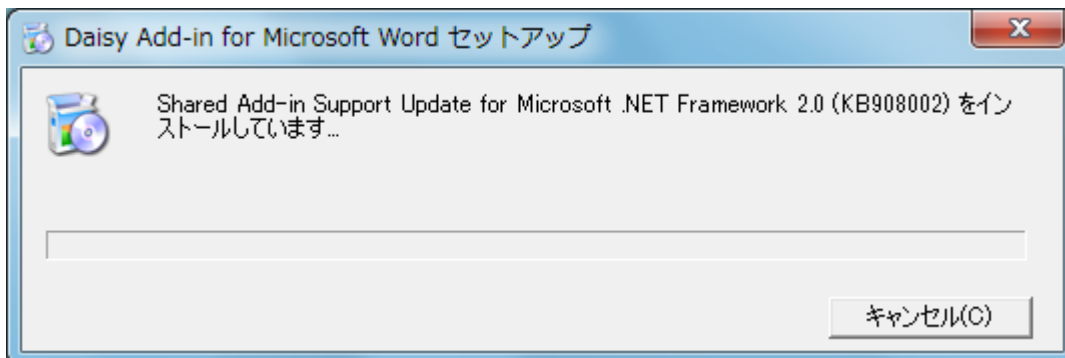


必要なコンポーネントのインストール画面が表示されるので、「インストール」を選択します。

注：表示される内容は、コンピュータの環境によって異なります。必要なコンポーネントがすべて揃っている場合はこの画面は表示されません。



必要なコンポーネントのインストールが始まります。



Save As DAISY のセットアップ画面が表示されるので、「次へ」を選択します。



使用許諾契約書が表示されるので、「ソフトウェアライセンス条項に同意します」のチェックボックスにチェックをいれて、「次へ」を選択します。



次にインストール範囲の設定が表示されるので、すべてのユーザーで使用する場合は、「このコンピュータのすべてのユーザー」にチェックを入れて「次へ」を選択します。



インストール先が表示されるので、特に変更しない場合は、そのまま「次へ」を選択します。
(デフォルトの保存先は C:¥Program Files¥Sonata¥DAISY Translator¥)



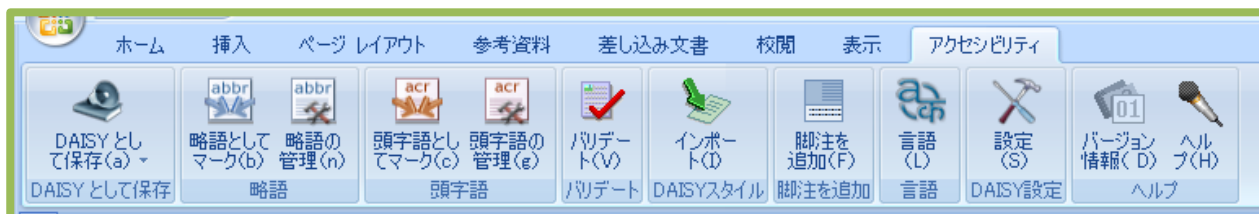
インストールの準備完了画面が出たら、「インストール」を選択します。



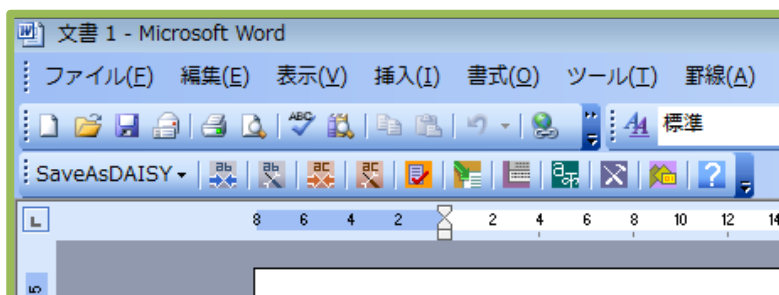
これでインストール完了です！「終了」を選択します。



インストール後に Word を起動すると、「アクセシビリティ」というメニューが、表示されます。



Word 2003 や Word XP の場合は、SaveAsDAISY のメニューが表示されます。



表示されない場合は、「Q7. 「アクセシビリティ」メニューが表示されません」をご確認ください。

3. DAISY スタイルのインポート

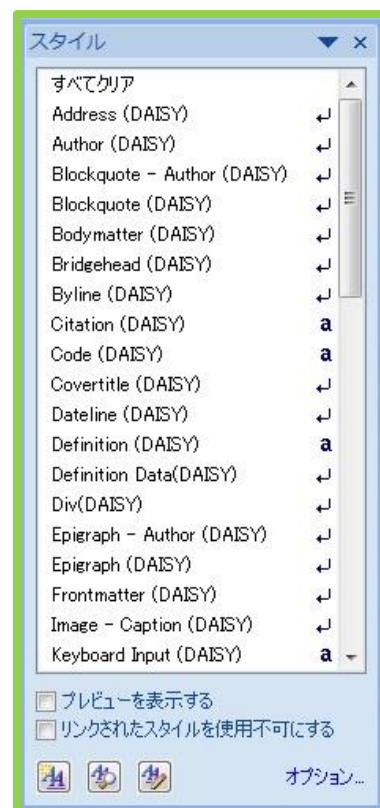
「アクセシビリティ (Y) 」メニューを開いて、「インポート (I) 」を選択します。



スタイルのリストに、DAISY スタイルが追加されます。

* スタイルリストの表示方法

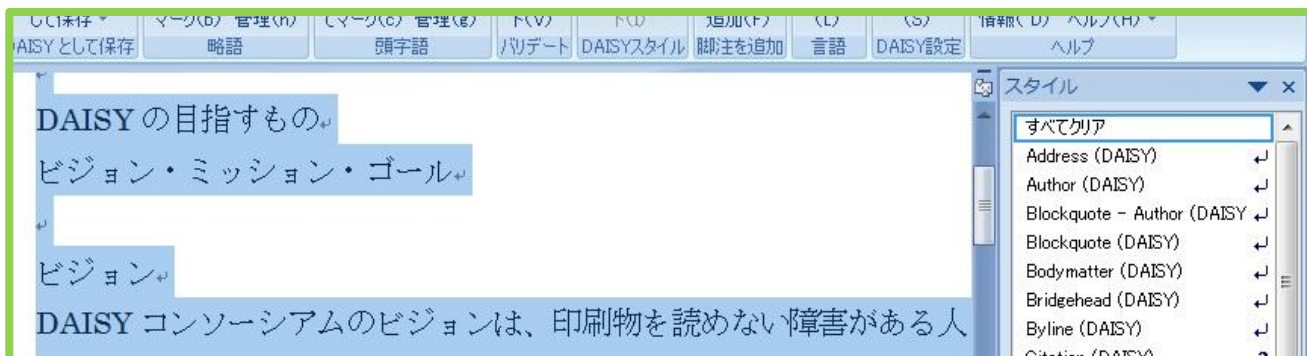
- ショートカットキーは、**Alt + Ctrl + Shift + S**
- Word 2007 や Word2010 のアイコンは、
「ホーム」メニューの「スタイル」の右下をクリック
- Word 2003 や Word XP の場合は、
「書式 (O) 」メニューの「スタイルと書式 (S) 」



4. スタイルのクリア

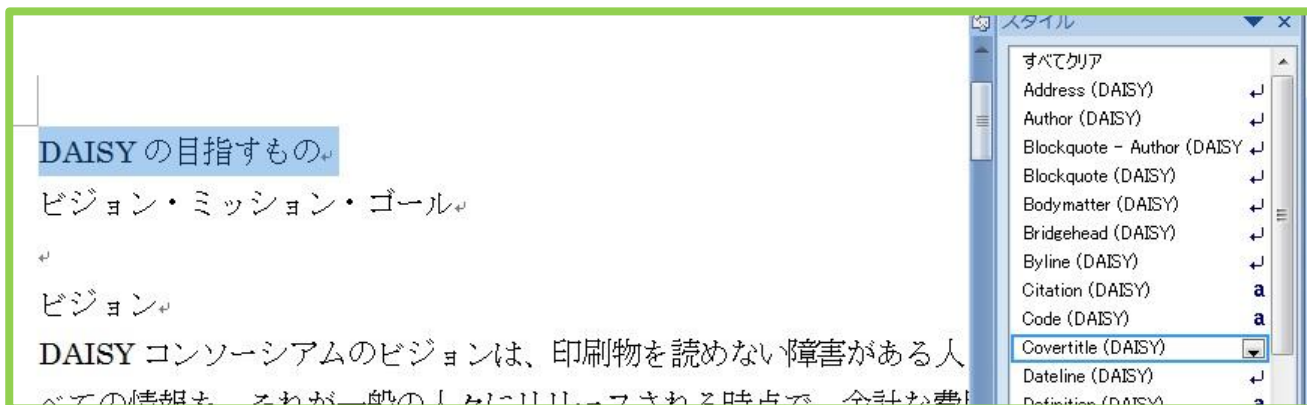
文書内のすべてのテキストを選択 (**Ctrl + A**) して、スタイルリストの「すべてクリア」を選択します。

注： Word の文書を DAISY として保存するには、見出し等のスタイルをつけて階層構造をつくりま
す。それによって、DAISY を再生したときに、ナビゲーションが可能となります。
ウェブサイト等からテキストをコピーした際に、何らかのスタイルがすでについていることがありま
す。最初に、すべてのスタイルをクリアしてから作業をはじめると問題が発生しません。



5. タイトルの作成

一番最初のテキスト (タイトル) を選択して、スタイルのリストから、「**Covertitle (DAISY)**」を選択します。一番最初のテキストがタイトルでない場合は、一番最初にタイトルのテキストを追加してください。



6. 見出しの作成

次に見出しのスタイルをつけます。見出しには、1～6の階層があります。

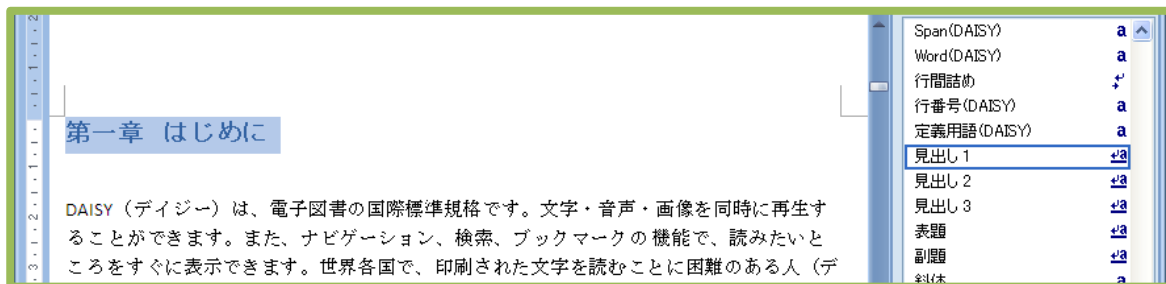
各章は、「見出し1」になります。節は、章の子見出しなので、「見出し2」になります。項は、節の子見出しなので、「見出し3」になります。

まず、章の見出しのテキストを選択し、スタイルのリストの「見出し1」を選択します。

次に、節の見出しのテキストを選択し、スタイルのリストの「見出し2」を選択します。

同じ手順で、すべての見出しにスタイルをつけます。

注：ここでつけた見出しが、DAISY 図書の見出しとなって、再生するときにジャンプできるようになります。



(見出しの階層構造の例)

中学 数学1(表題 (DAISY))

第一章 正の数、負の数(見出し1)

第一節 正の数、負の数 (見出し2)

第1項 符号のついた数(見出し3)

例1 (見出し4)

例2 (見出し4)

第2項 数の大小(見出し3)

第3項 基本のたしかめ(見出し3)

第二節 加法と減法(見出し2)

第1項 加法(見出し3)

第2項 減法(見出し3)

第3項 加法と減法の混じった式の計算(見出し3)

第二章 文字と式(見出し1)

7. ページの作成

7.1. 自動ページ

Word 文書のページ区切りで、ページ番号を自動的につけることができます。

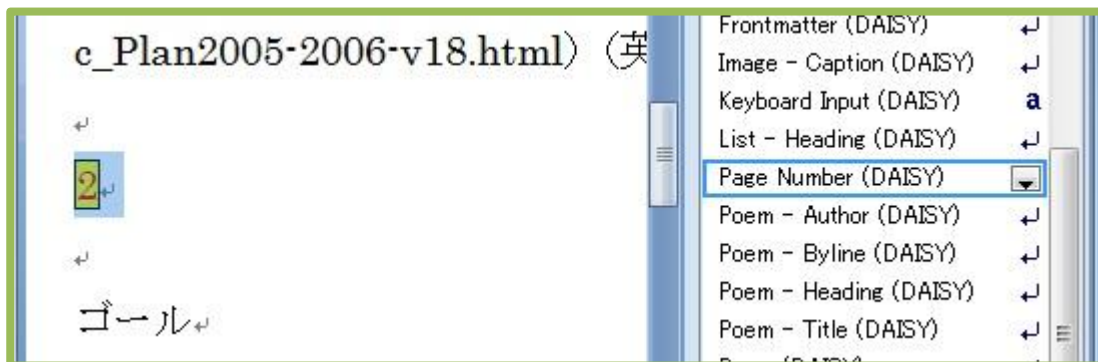
「アクセシビリティ」メニューの「設定」を開いて、「自動」のチェックボックスを選択します。



7.2. カスタムページ

Word 文書に自分でページ番号を入力し、ページのスタイルをつけてページを設定することができます。

Word 文書にページ番号を半角で入力しておきます。（注：全角の数字は認識されません。）
ページ番号を選択して、スタイルリストの「Page Number (DAISY)」を選択します。



「アクセシビリティ」メニューの「設定」を開いて、「カスタム」のチェックボックスを選択しておく、と、「ページ番号 (DAISY)」スタイルの場所がページとして認識されます。

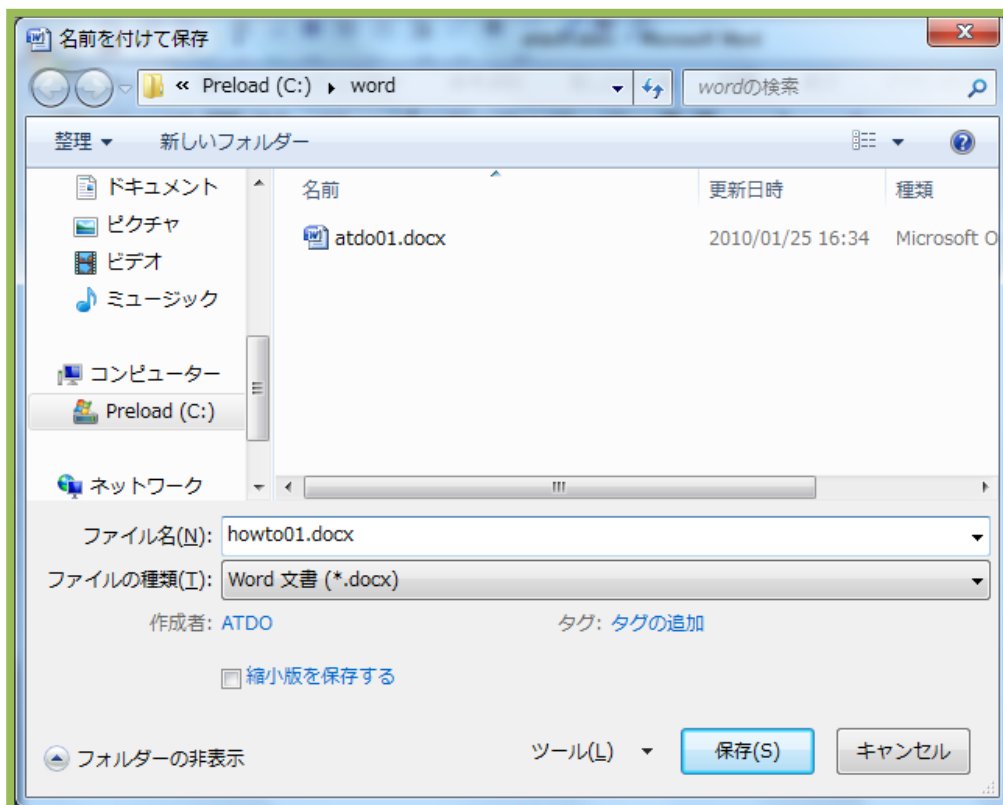
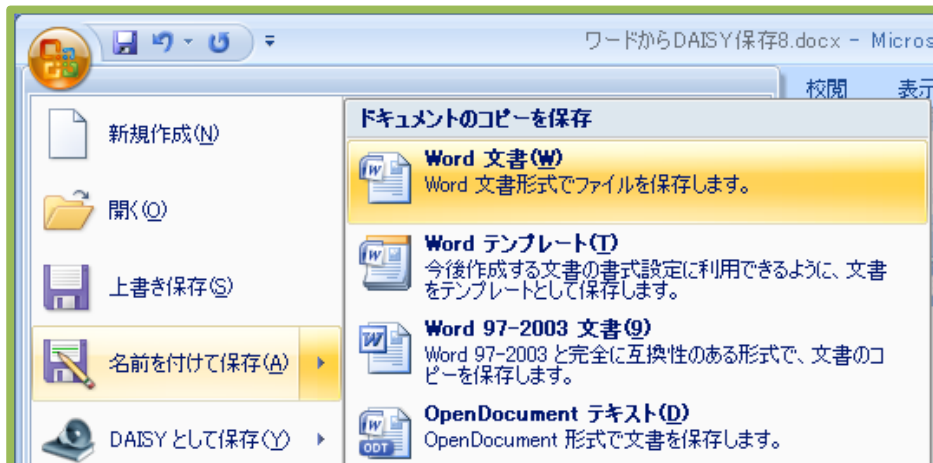


注： DAISY 図書のページは、ページ内容のはじめにつけます。再生ツールでページジャンプをしたときに、ページ内容がその後続く必要があるためです。一般的には、前のページ内容の最後に次のページ番号をつけるようにします。

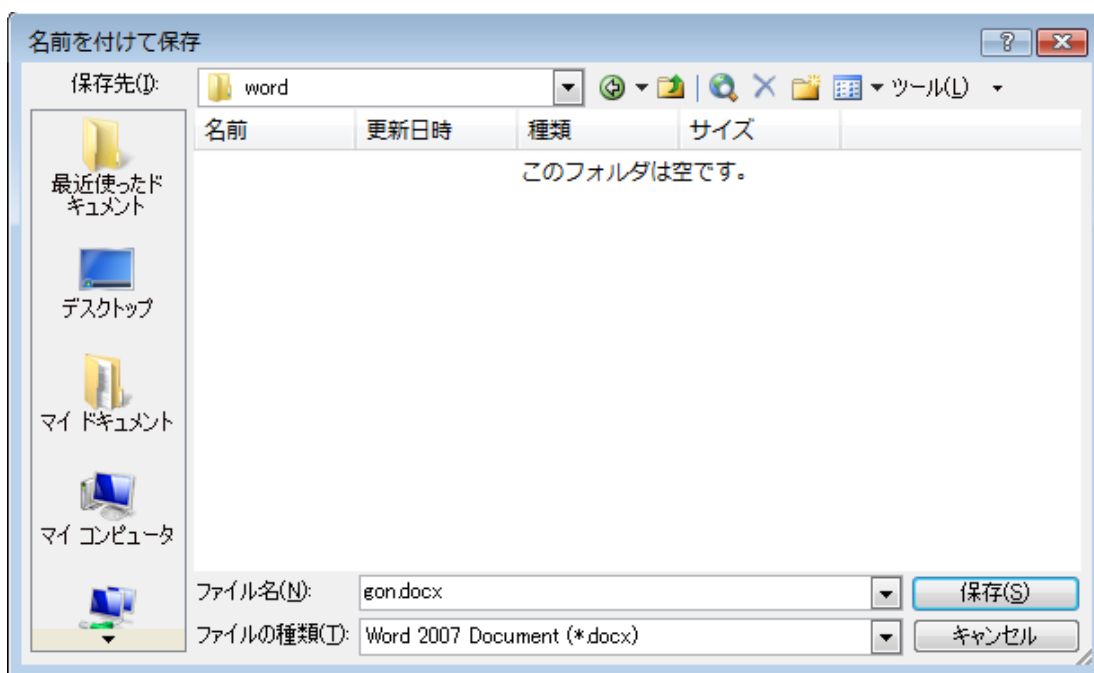
8. Word 文書の保存

「.docx」のフォーマットで保存します。

「Office メニュー」の「名前をつけて保存 (A)」から「Word 文書 (W)」を選び、名前を付けて保存します。



Word 2003 と Word XP の場合は、「ファイル」メニューの「名前を付けて保存」を開き、「ファイルの種類」で「Word 2007 Document (*.docx)」を選択します。



これで準備完了です！

9. DAISY に変換 (Save as DAISY)

「アクセシビリティ」メニューを開いて、「DAISY として保存」を選択します。

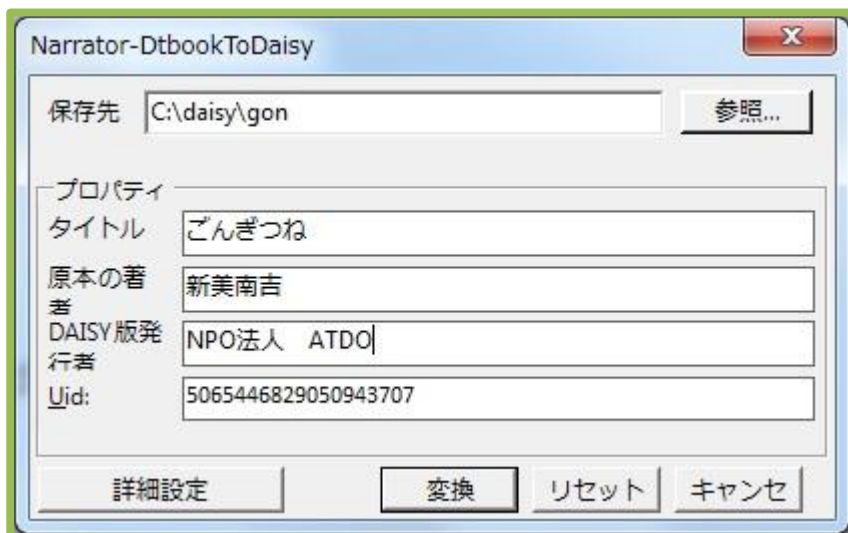
「合成音声 (TTS) の入ったマルチメディア DAISY」と、「DAISY 3 規格の XML」が作成できます。

9.1. 合成音声 (TTS) の入ったマルチメディア DAISY

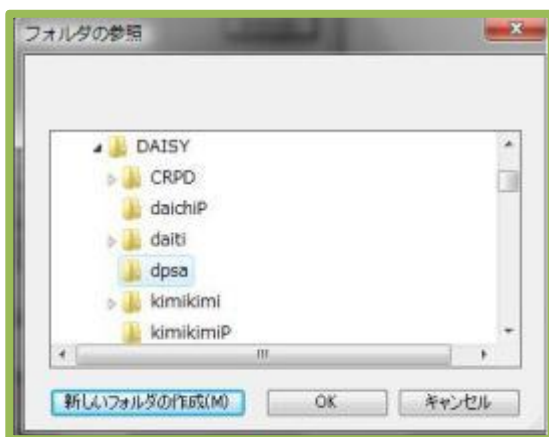
「音声とテキストの DAISY (A) (一つの docx から)」の「DAISY pipeline TTS Narrator」を選択します。



文書の情報を入力します。



「保存先」で、「参照」ボタンを選択し、DAISY を保存するためのフォルダを作成します



注：1つのフォルダには、1つの DAISY ファイルセット（テキスト・画像データ、音声データ、NCX、OPF、SMIL 等）が入ります。DAISY を作成する際には、毎回新しいフォルダを作成します。DAISY を保存する専用のフォルダ（左図では「DAISY」）を一つ作り、その中に、新たに作成するファイルセットごとのフォルダ（左図では「dpsa」）を作ると、わかりやすいです。フォルダ名は、半角英数にします。

“タイトル” タイトル（題名）を入力します。

“原本の著者” 文書（または原本）の著者名を入力します。

“DAISY 版の出版社” DAISY 版の出版者を入力します。

“Uid” 発行者で指定している DAISY の ID を入力します。特にない場合はそのままにします。

設定ができれば「**変換**」をクリックして、変換を開始します。

合成音声 (TTS) の入ったマルチメディア DAISY の完成です！

合成音声 (TTS) の入ったマルチメディア DAISY を作成した場合は、すぐに DAISY 再生ソフトで再生することができます。再生に関しては参考情報の「1. DAISY の再生」を参照してください。Tobi 等で開いて肉声を録音することもできます。



9.2. DAISY XML の作成

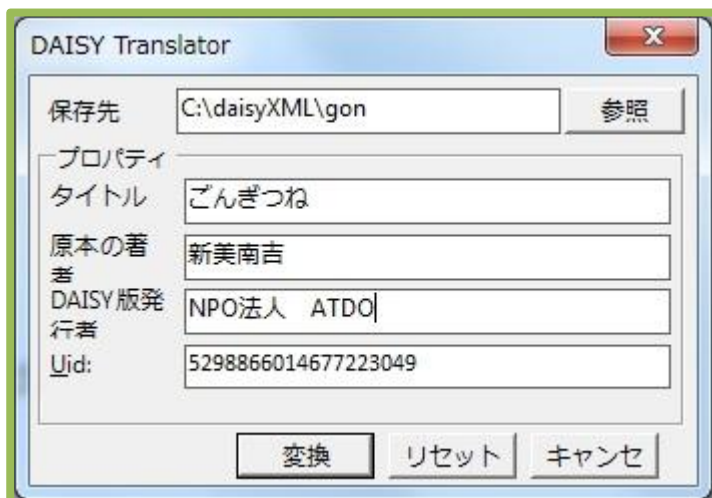
音声の入っていない DAISY XML を作成する場合は、「DAISY として保存」メニューから、「DAISY XML(一つの docx から)」を選択します。

DAISY XML は、様々なフォーマットのソースファイルとして、利用することができます。

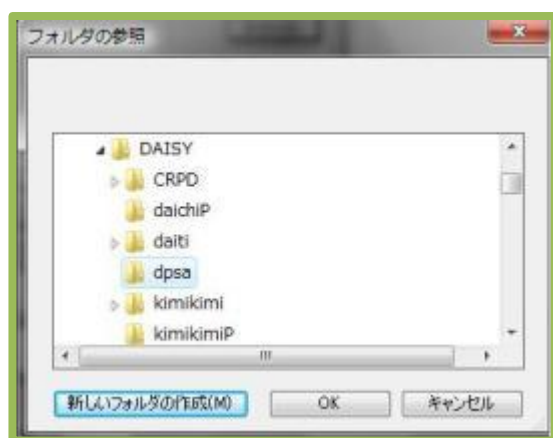
Tobi 等で読み込んで肉声を録音することもできます。



文書の情報を入力します。



「保存先」で、「参照」ボタンを選択し、DAISY を保存するためのフォルダを作成します。



注：1つのフォルダには、1つの DAISY ファイルセット（テキスト・画像データ、音声データ、NCX、OPF、SMIL 等）がはいります。DAISY を作成する際には、毎回新しいフォルダを作成します。DAISY を保存する専用のフォルダ（左図では「DAISY」）を一つ作り、その中に、新たに作成するファイルセットごとのフォルダ（左図では「dpsa」）を作ると、わかりやすいです。

“タイトル” タイトル（題名）を入力します。

“著者” 文書（または原本）の著者名を入力します。

“出版社” DAISY 版の出版者を入力します。

“UId” 発行者で指定している DAISY の ID を入力します。特にない場合はそのままにします。

設定ができれば「**変換**」をクリックして、変換を開始します。

注：複数のワードファイルから、一つの DAISY を作成する場合は、「**複数の docx から**」を選択します。

参考情報

1. DAISY の再生

1.1. 無償の DAISY 再生ソフト

DAISY 図書を再生するには、再生ツールが必要です。再生ツールは世界中に様々なものがあります。パソコンがあれば、AMIS という無償のソフトをインストールすることができます。下記のサイトからダウンロードできます。

- (財) 日本障害者リハビリテーション協会 DAISY 研究センター AMIS3.1 日本語版

http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/amis3_1_3.html

- ATDO ウェブサイト DAISY 再生ソフト AMIS3.1 日本語版

<http://www.normanet.ne.jp/~atdo/amis31.html>



インストールしたら、AMIS を起動して、「ファイル」の「開く」から DAISY 図書を開きます。AMIS の使用方法は、「ヘルプ」の「ヘルプコンテンツ」で確認できます。

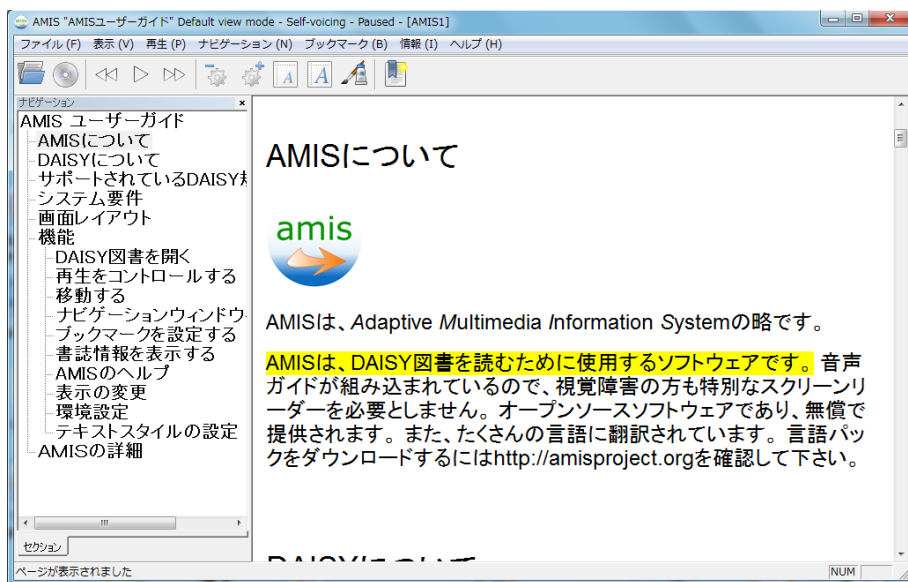
1.2. DAISY 再生ソフトの情報を掲載しているウェブサイト

- (財) 日本障害者リハビリテーション協会 DAISY 研究センター

<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/playback.html>

- DAISY コンソーシアム (英語)

<http://www.daisy.org/tools/tools.php?Cat=splayback>



2. 音声合成に関して

2.1. 音声合成エンジンのインストール

DAISY Translator を使用して音声の入った DAISY 文書を作成するには、音声合成エンジンが必要です。

Windows8 以降は、日本語の音声合成エンジンがあらかじめ搭載されています。Windows7 以前の OS を使用している場合は、音声合成エンジンのインストールが必要です。

マイクロソフトでは、障害のある方の IT サポートをする方や、障害のある方に、日本語音声合成エンジン(ドキュメントトーカ 日本語音声合成エンジン (クリエートシステム開発株式会社 製))の CD-ROM を無償(数量限定)で提供しており、非営利目的で DAISY 製作を行う方も提供の対象になります。

希望される方は、ホームページよりお申込みください。

マイクロソフト (送料は無料です)

<http://www.microsoft.com/japan/enable/7narrator/>

提供された CD-ROM をインストールすることで、「たかし」「けいこ」「太郎」「花子」「小太郎」「花ちゃん」「ロボ太郎」「ロボ子」の音声が使用できるようになります。

インストールの方法、製品の詳細については、

マイクロソフトの Web サイト <http://www.microsoft.com/japan/enable/7narratorset/>

クリエートシステム開発株式会社の Web サイト <http://www.createsystem.co.jp/>

CD-ROM 内の Readme.txt をご参照ください。

注意：

64ビットのパソコンにインストールする場合は、32ビット版と64ビット版の両方をインストールする必要があります。

CDをパソコンに挿入して、インストールではなくて、「開く」で、CDの中を開いてください。

CDの中の「x64」「Engine」の「setup.exe」からインストール。

CDの中の「Win32」「Engine」の「setup.exe」からインストール。

以上、2つのインストールをしてください。

2.2. 音声の変更

次の手順で音声合成の設定画面を開きます。

「スタート」メニューの「コントロールパネル」を開きます。

次に、Windows 7 と Windows Vista では、

「コンピューターの簡単操作」 - 「音声認識」 - 「音声合成」 - 「音声合成」タブを開きます。

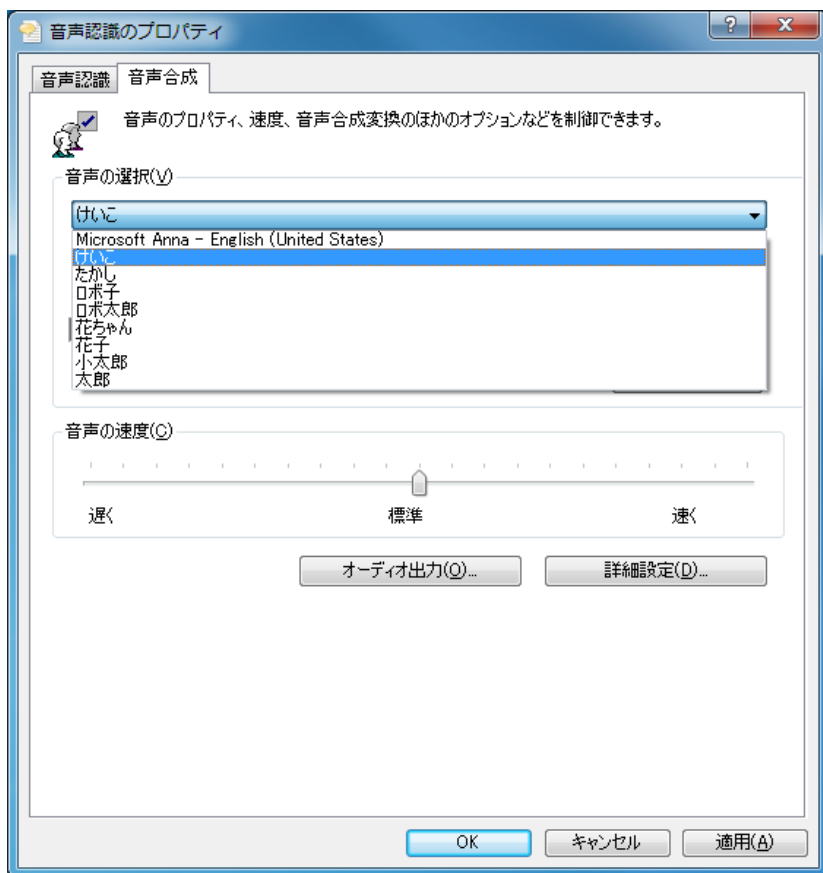
カテゴリ表示にしてない場合は、「音声認識」 - 「音声合成」 - 「音声合成」タブを開きます。

Windows XP では、

「サウンド、音声、およびオーディオ デバイス」 - 「音声認識」 - 「音声合成」タブを開きます。

クラシック表示の場合は、「音声認識」 - 「音声合成」タブを開きます。

「音声の選択」のプルダウンメニューを開くと、パソコンにインストールされている合成音声のリストが表示されますので、使用したい音声を選んで「OK」を選択します。



3. FAQ

Q1. 見出しができません

見出しのテキストの最後には、必ず、「Enter」で入る改行が必要です。

見た目にはわかりませんが、「Shift +Enter」で入る改行が入っていると、見出しとして認識されません。

また、同じ行内に、見出しと見出し以外のテキストがあると、見出しとして認識されません。

見出しのテキストの最後には「Enter」で改行を入れてください。

Q2. 表題をつけた見出しが、再生ソフトの見出しのリストに表示されません

Save As DAISY で製作した場合に、表題のスタイルをつけた見出しが、再生ソフトの見出しのリストに表示されない場合は、表題のすぐ下に同じテキストを追加して、「見出し1」のスタイルをつければ、再生の際に見出しリストに表示されます。

Q3. 出来上がった DAISY 文書にタイトルが複数付いています

再生ソフトによって、DAISY として保存する際に入力したタイトル、表題のスタイルをつけたタイトル、と複数のタイトルが表示されることがありますが、問題はありません。

Q4. 黄色くハイライトするテキストの長さを変更したいです

Save As DAISY v2.1.1.5 の仕様では、センテンスは句点で区切られます。

句点以外のところで区切りたい場合は、スタイルリストの「Span」を使います。

例えば、「Word から DAISY 保存をします。」というセンテンスで、「Word から」を選択して、スタイルリストの「span」を選ぶと、「Word から / DIASY 保存をします。」というように、センテンスを分けることができます。

逆に、切りたくないところで切れてしまった場合は、2つのセンテンスを選択して「Sent」のスタイルを選ぶと、再生したときに、ひとかたまりになります。

Q5. 自動ページ設定で、ページが見つからないところがあります

ページの最初に改行が入っていると、ページとして認識されないことがあります。確認して、改行が入っている場合は、改行を削除してから、再度 DAISY として保存をしてください。

Q6. 合成音声の読み間違いを修正したいです

合成音声の読み間違いがあった場合は、コントロールパネルで、合成音声の辞書登録をしてから、再度 Word 文書を開いて DAISY として保存することで、修正できます。

次の手順で音声合成の設定を開きます。まず、「スタート」メニューの「コントロールパネル」を開きます。

●Windows 7 と Windows Vista では、

「コンピューターの簡単操作」 - 「音声認識」 - 「音声合成」 - 「音声合成」タブを開きます。カテゴリ表示にしてない場合は、「音声認識」 - 「音声合成」 - 「音声合成」タブを開きます。

●Windows XP では、

「サウンド、音声、およびオーディオ デバイス」 - 「音声認識」 - 「音声合成」タブを開きます。クラシック表示の場合は、「音声認識」 - 「音声合成」タブを開きます。

次に、選択した音声の右下の「設定」を選択すると、エンジンの設定ダイアログが開きます。

「登録したい単語」に、読み間違いのあった単語を入力します。

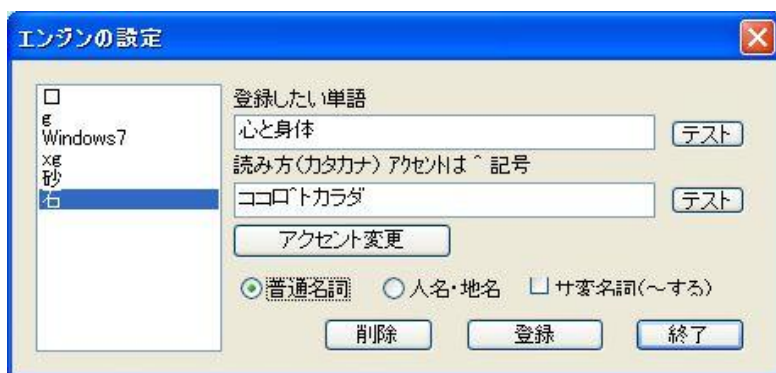
「読み方 (カタカナ)」に、カタカナで正しい読みを入力します。「テスト」ボタンを押して、正しく読むか確認します。

アクセントを変更したい場合は、「アクセント変更」ボタンを押します。

入力できたら、「登録」ボタンを押して、終了です。

設定を変更したら、再度、ワードファイルを開いて、「アクセシビリティ」メニューの

「DAISY として保存」の「音声とテキストの DAISY」の「DAISY PipelineTTS Narrator」で DAISY 保存をして、変更が反映されるか確認します。



Q7. 「アクセシビリティ」メニューが表示されません

アドインが無効になってしまっている可能性があります。

次のウェブサイトを参照して、アドインを有効にしてください。

「Office プログラムでアドインを有効または無効にする」

<http://office.microsoft.com/ja-jp/word-help/HA010034127.aspx>

アドインを有効にしてもメニューが表示されない場合、%APPDATA%\Microsoft\Templatesにある Normal.dotm を削除して Word を再起動すると修正される場合があります。

Q8. 画像を挿入したい

Word ファイルを開いて、画像を挿入したい位置にカーソルを合わせ、「挿入」メニューの「図」から挿入したい画像ファイルを選択してください。この手順で画像を挿入すると、DAISY 変換時のエラーが起こることがありません。

Tobi

Tobi は、DAISY 3 または EPUB3 図書に、人の声を録音したり、音声の編集をするためのソフトです。DAISY コンソーシアムが開発を行い、オープンソースで、無償で提供されています。

DAISY XML、DAISY 3 ファイルセット、EPUB 等を開いて、肉声を録音して、DAISY 3 や EPUB3 に出力できます。

また、合成音声の入った DAISY 3 を開いて、音声の編集をすることができます。

ここでは、DAISY Farm または Save As DAISY Translator (略称 DAISY Translator) で作成した DAISY ファイルセットを開いて録音する手順を紹介します。



1. インストール
2. DAISY ファイルを準備
3. Tobi を起動
4. DAISY ファイルを Tobi で開く
5. 録音
6. 音声の編集
7. DAISY3 にエクスポート

FAQ

1.インストール

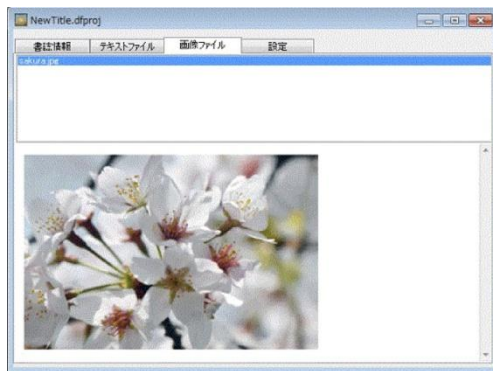
下記 URL から Tobi のホームページを開き、「Install / Update」より、インストールします。

<http://www.daisy.org/project/tobi>

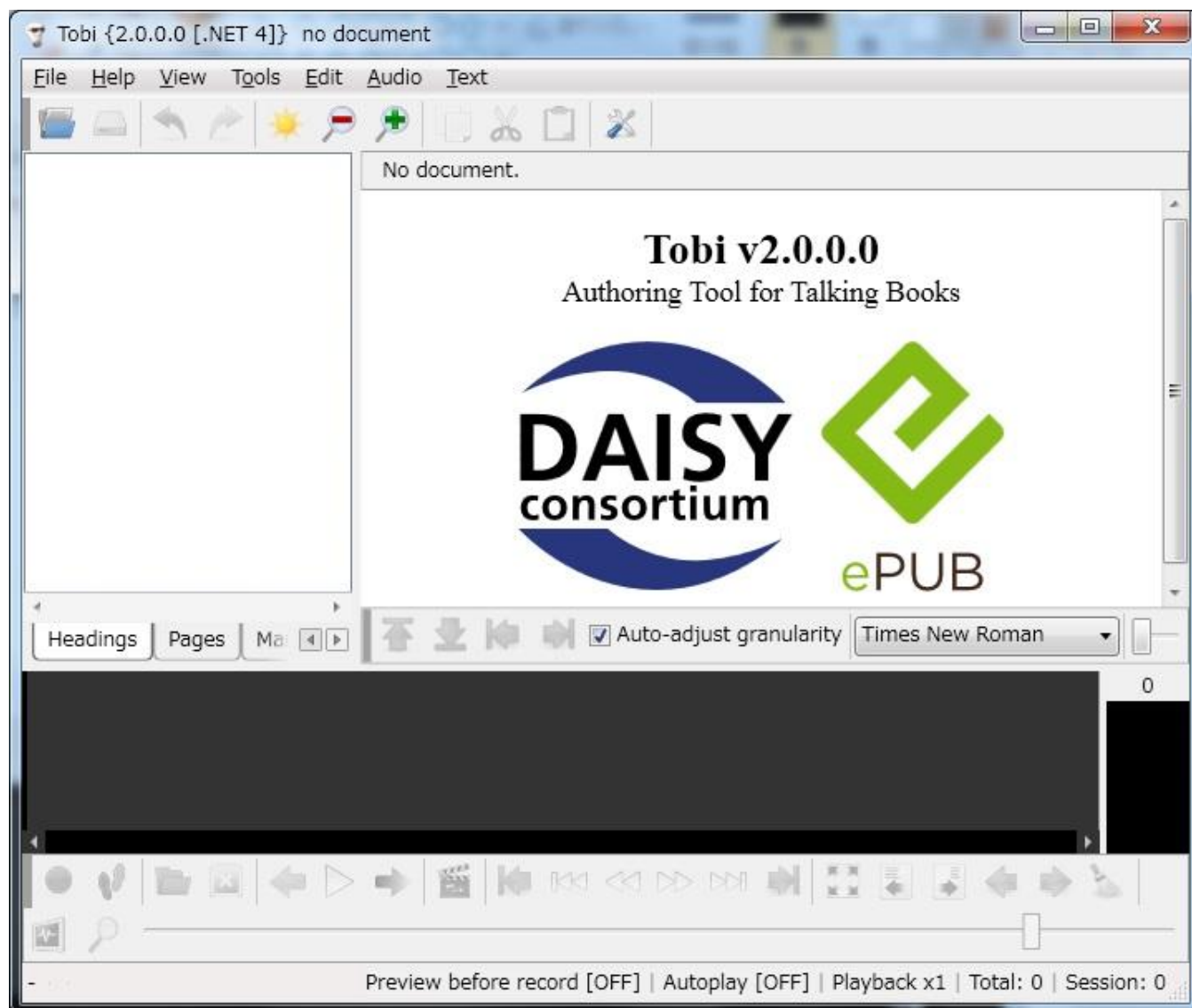
2. DAISY ファイルを準備

Tobi で録音するには、DAISY ファイルを事前に準備する必要があります。

「テキスト DAISY3 作成ソフトウェア DAISY Farm 1.1」または「Word から DAISY を作ってみよう！」を参照して、DAISY ファイルを作成します。



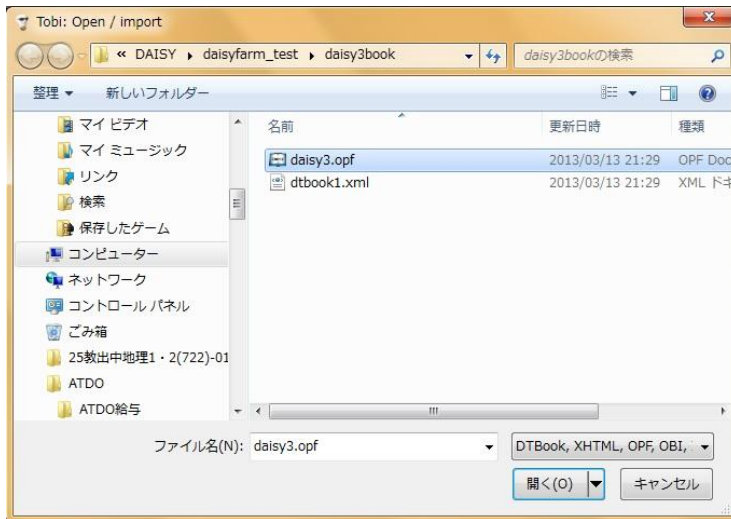
3. Tobi を起動



4. DAISY ファイルを Tobi で開く

[File> open/import]で、作った DAISY 図書のフォルダを開きます。

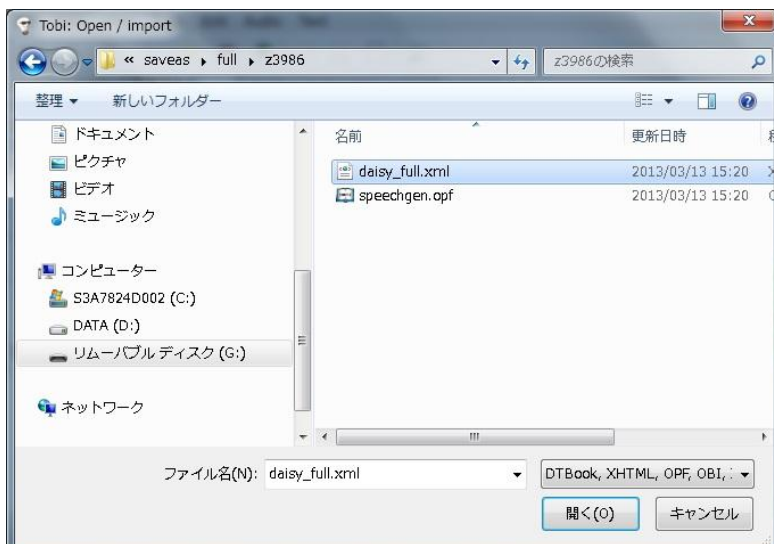
DAISY Farm で準備した場合は、プロジェクトフォルダ内の「daisy3book」フォルダから、[daisy3.opf]を選択します。



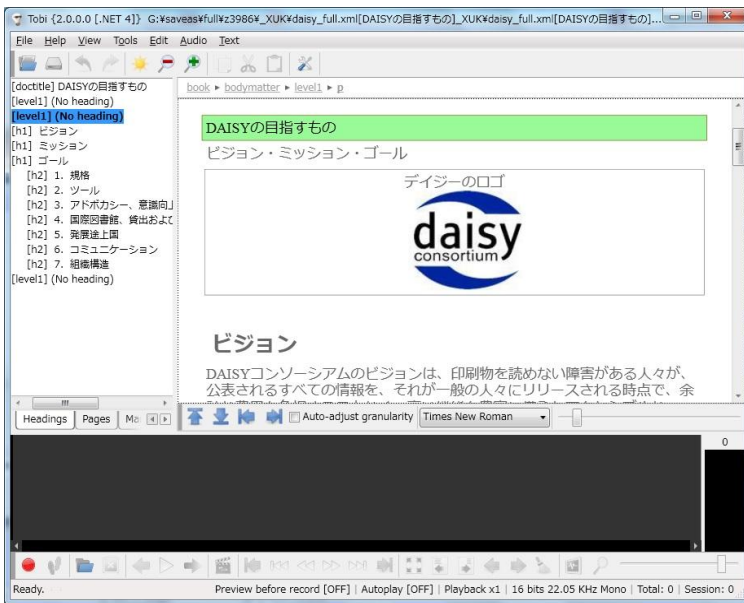
DAISY Translator で準備した場合は、「z3986」フォルダ（DAISY3）から開きます。

[.xml]のファイルを開けば、音声のっていない状態で開くことができるので、すぐに録音をはじめることができます。

[speechgen .opf]ファイルを開くと、合成音声の入った状態で開くことができるので、一部だけ修正することもできます。



プロジェクトが開きます。



5. 録音

パソコンにマイクを接続します。

録音音声のモニタリングをして、音量などを調節します。

[Audio> Recording> Start monitoring [CTRL] M]でモニタリングを開始します。

(* 入力音量の調節は、コンピューターのマイクの入力音量の設定画面から行います。)

調節が完了したら、[Audio> Recording> Start monitoring [CTRL] M]でモニタリングを終了します。

(* マイクが認識されていない場合は、[Audio> Audio Settings]の Recording で接続しているマイクを選択します)

録音準備完了です！



録音したいテキストを選択してハイライトします。

録音ボタンを押して、録音開始（ショートカットはCtrl + R）



次のセンテンスへ移動するボタンを押しながら、どんどん録音をしていきます。（ショートカットはShift + Ctrl + R）




録音を停止するには、停止ボタンを押します（ショートカットはCtrl + R）

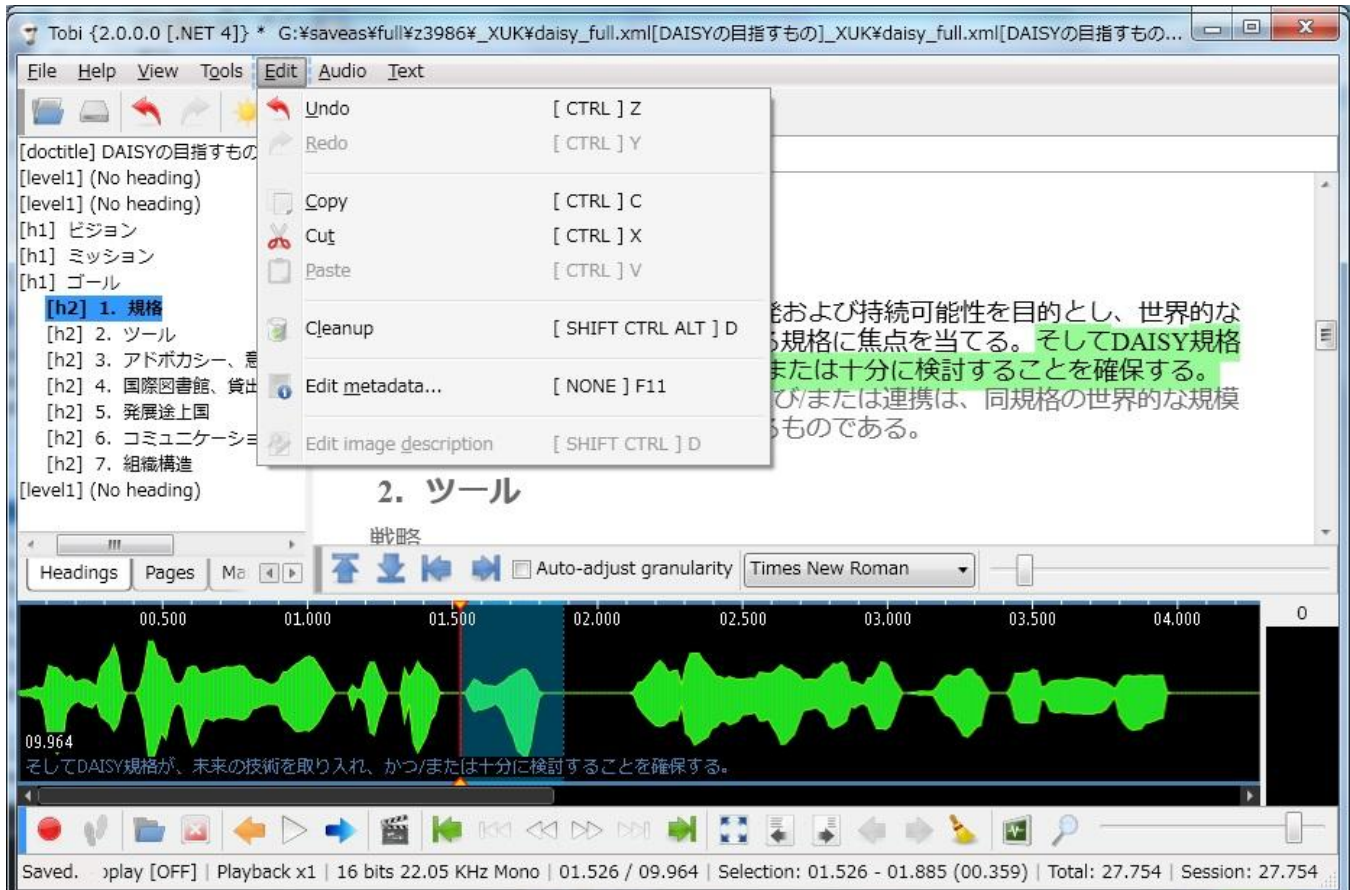


The screenshot shows a software window titled "Tobi {2.0.0.0 [.NET 4]} * G:%saveas%full%23986%_XUK%daisy_full.xml[DAISYの目指すもの]_XUK%daisy_full.xml[DAISYの目指すもの...". The window contains a document editor with a menu bar (File, Help, View, Tools, Edit, Audio, Text) and a toolbar. The document content includes a table of contents on the left and a main text area. The main text area shows a heading "1. 規格" followed by a paragraph: "DAISYコンソーシアムは、長期開発および持続可能性を目的とし、世界的な規模での採用の可能性が最大である規格に焦点を当てる。そしてDAISY規格が、未来の技術を取り入れ、かつ/または十分に検討することを確保する。W3CおよびISOとの協力活動、および/または連携は、同規格の世界的な規模での採用の可能性を最大限に広げるものである。". A green highlight is applied to the sentence: "そしてDAISY規格が、未来の技術を取り入れ、かつ/または十分に検討することを確保する。". Below the document editor is an audio player interface with a large display showing "05.703". The status bar at the bottom indicates "Recd Stop the current recording [CTRL] R [OFF] | Autoplay [OFF] | Playback x1 | 16 bits 22.05 KHz Mono | 05.703 | Total: 15.080 | Session: 15.080".

6. 音声の編集

音声の編集は、波形を選択して、「edit」メニューから、コピー、切り取り、貼り付けなどの作業ができます。

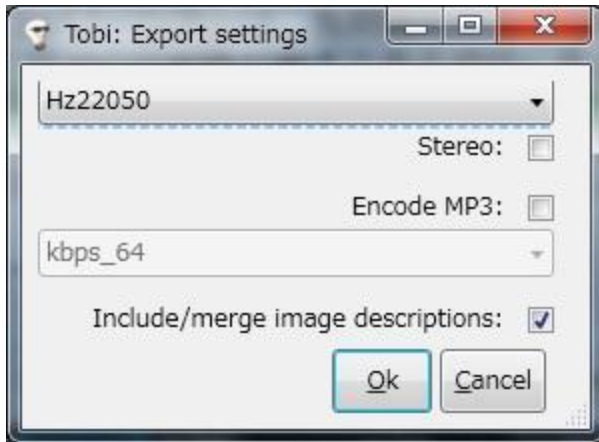
選択の解除は、[Ctrl + D]もしくは、アイコン  でおこないます。



7. DAISY3 にエクスポート

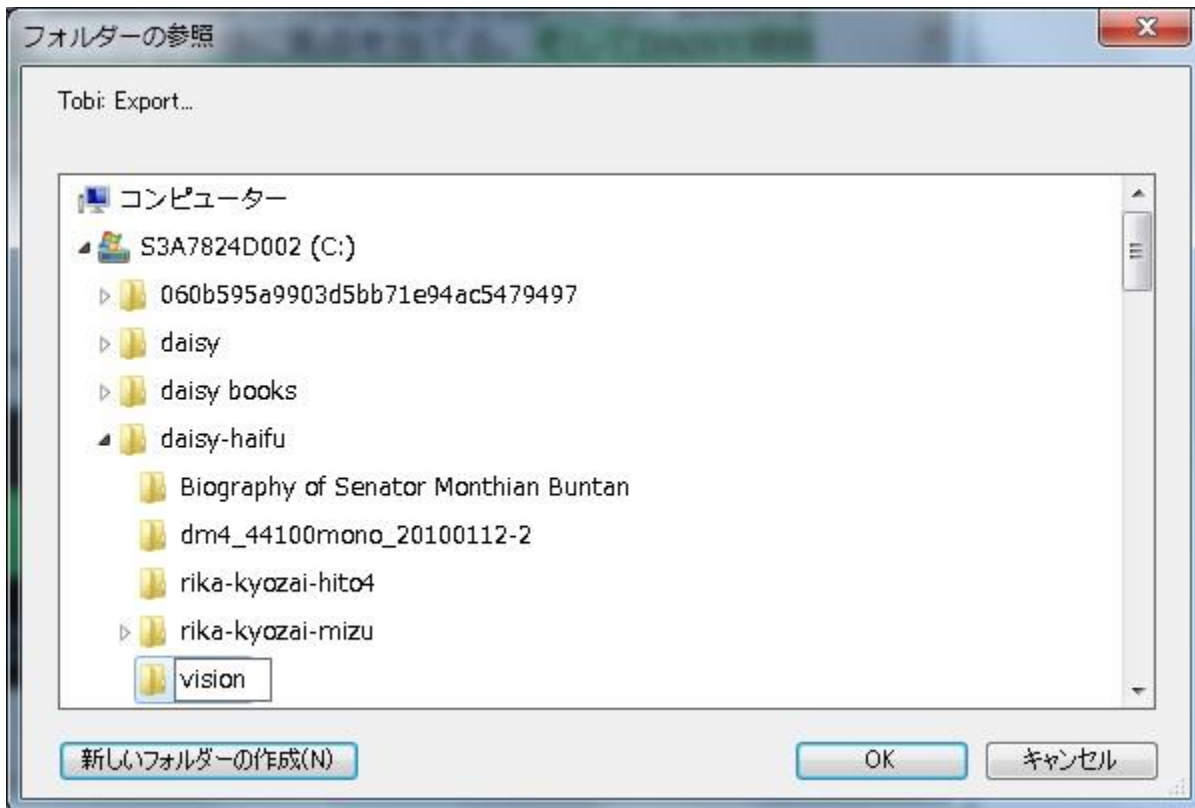
File メニューの Export を選択します。

出力する音声ファイルフォーマットの設定画面が表示されます。設定して OK を押します。

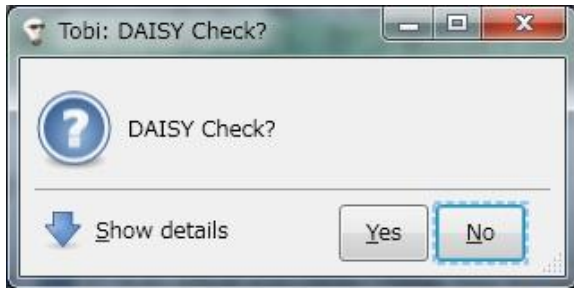


DAISY 3 の保存先フォルダを作成します。（完成した DAISY 図書が入ります）

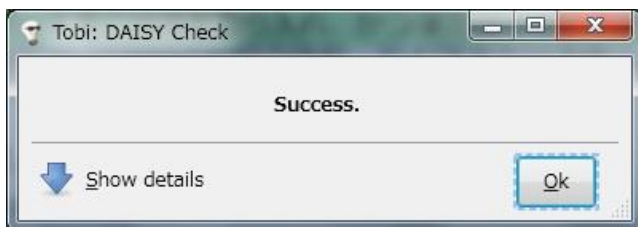
OK を押すと、変換が始まり、DAISY 3 図書が完成します。



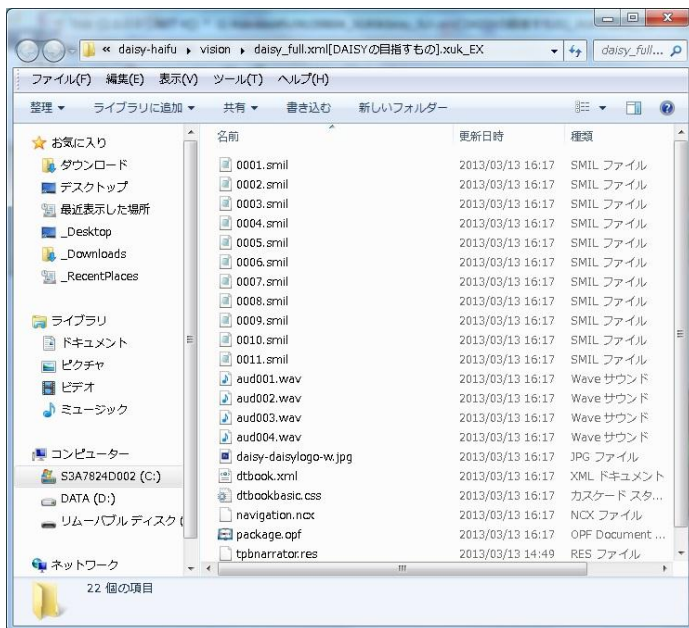
DAISY チェックの画面が表示されます。「Yes」を選択すると、DAISY 規格にあっていないか確認することができます。



チェックが完了すると、「Success」と表示されますので、「OK」を押します。



完成した DAISY 図書のフォルダが表示されます。



出来上がった図書は、DAISY 3 規格のもので、AMIS3.13 等で、再生することができます。

AMIS3.13 <http://www.normanet.ne.jp/~atdo/amis31.html>

その他の再生ツール <http://www.normanet.ne.jp/~atdo/tool.html>

FAQ

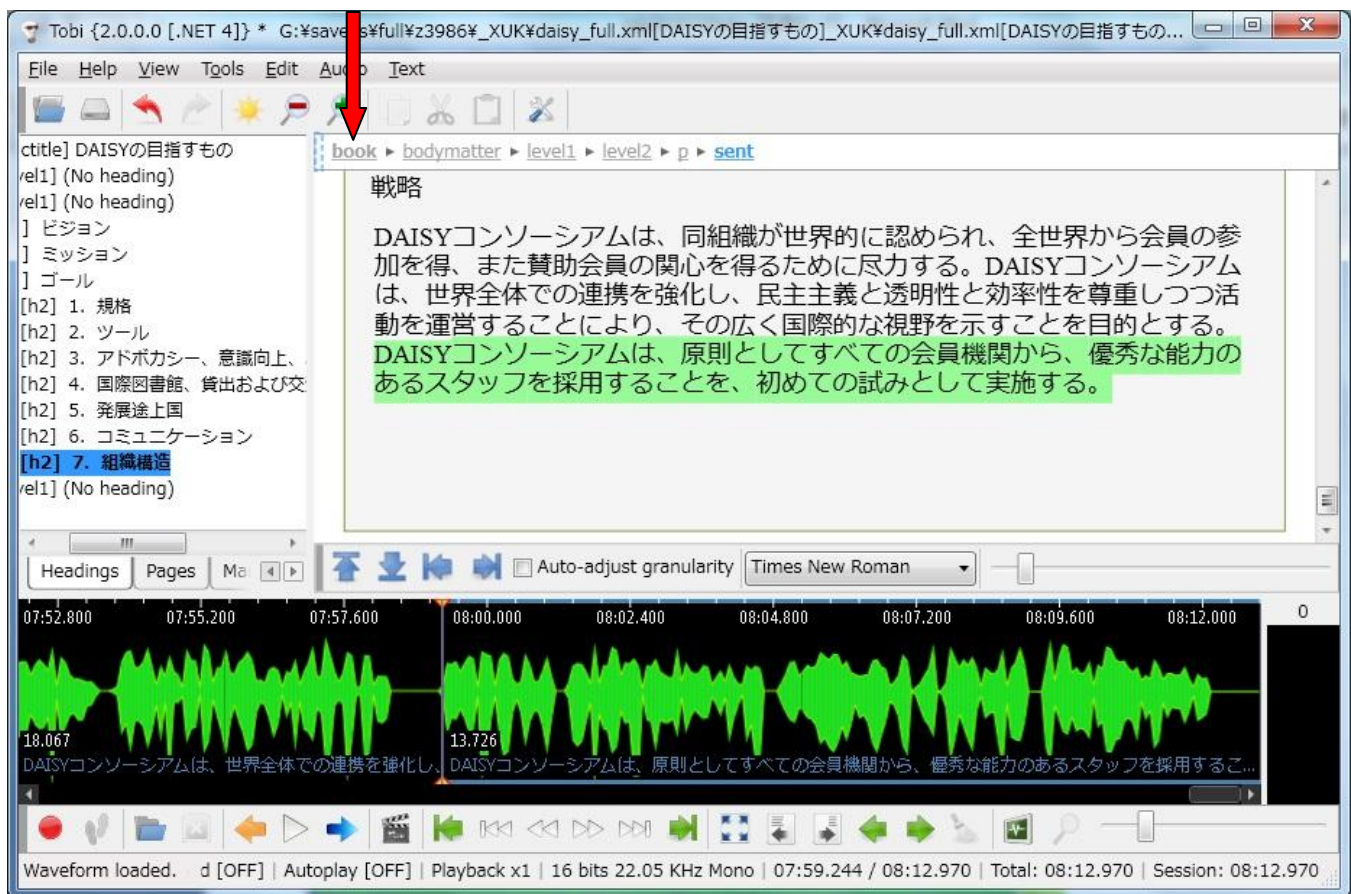
Q1. 図書全体を再生したい。

A. メイン画面上部の設定で、選択範囲の変更ができます。

「book」を選択すると、図書全体が選択されます。右に行くほど、選択範囲は小さくなり、一番小さい単位は、1 センテンスです。

図書全体を再生して確認したいときは、「book」をクリックして、図書全体を選択してから、再生ボタンを押して再生します。

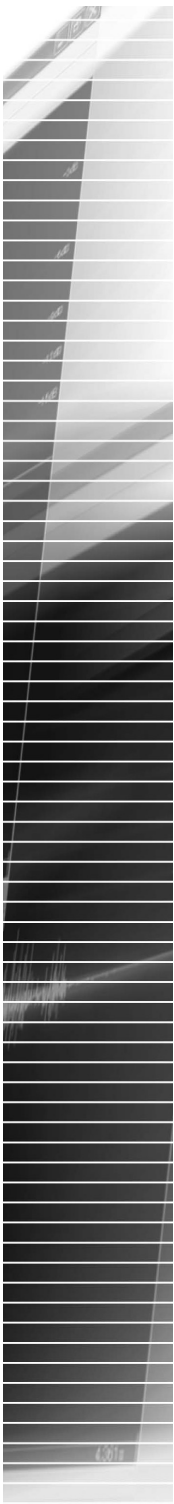
図書内の録音音声すべてを削除する際にも、「book」を選択した後、「Ctrl + A」ですべてを選択して、「delete」キーで削除することができます。



(c) ATDO 2013

クリーンアップ

C O N T E N T S



XHTML Converter

1. 変換用ファイルを作成する
 2. XHTMLファイルに変換する
- EX. XHTML Converter マニュアル
- EX-1. 変換ルール
 - EX-2. 画面説明

Sigtuna DAR 3 JP

1. 新規作成
2. QA Player
3. 録音準備
 - 3-1. 録音設定
 - 3-2. キャリブレーション
4. 録音
5. 編集
 - 5-1. 結合
 - 5-2. 分割
 - 5-3. 削除
 - 5-4. 音声エディター
6. クリーンアップ
7. 書誌情報
8. エクスポート

■XHTML Converter

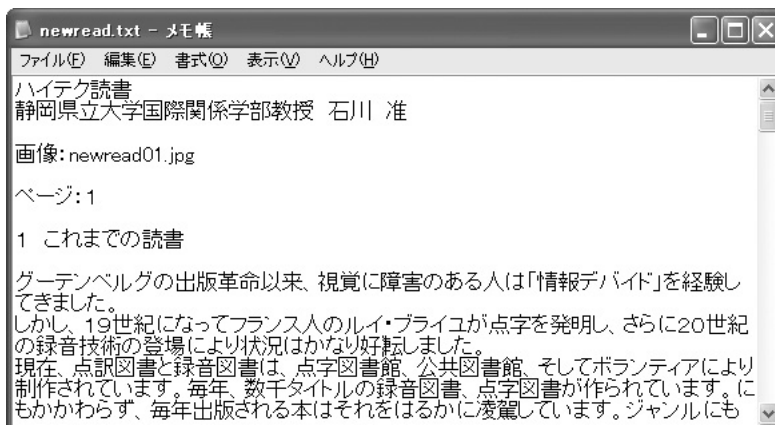
マルチメディアDAISYを製作するには、まずXHTMLファイルを作成する必要があります。
ここではXHTML自動作成ソフトウェア「XHTML Converter」を使ってマルチメディアDAISY用のXHTMLファイルを作成します。

■「XHTML Converter」はDAISY研究センターのホームページよりダウンロードすることができます。
XHTML Converter <http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/software/xhtmllconv.html>

1. 変換用ファイルを作成する

■「XHTML Converter」で変換する為に、ルールに従ってテキストに記号を付けます。

- (1) テキストファイルを用意します。見出しやパラグラフ（段落）で改行して見やすくしておきます。画像やページが入る位置には印を入れておくと良いでしょう。



■画像を入れる位置は、その画像に関連する文章より後ろに入れると良いでしょう。
ページは、そのページが始まる部分に入れます。

■「ハイテク読書」のテキストファイルは、CDの「kyouzai」フォルダの中の「newread.txt」ファイルです。
画像が入る位置には「画像：ファイル名」、ページが入る位置には「ページ：番号」がついています。

- (2) 画像を表示させる為に、画像ファイルを用意します。画像変換のソフトを使って、画像のサイズを調整しておきましょう。サイズの大きい画像は、画面からはみ出したり、DAISYを再生する際に読み込みに時間が掛かり、再生が詰ってしまいますので、サイズを縮小しておきます。

■画像変換のソフトは、パソコンやデジカメに同梱されているものや市販のソフトウェアがあります。フリーソフトでもたくさんありますので、下記をご参考下さい。

Vector（フリーソフトのライブラリサイト）

<グラフィック変換> <http://www.vector.co.jp/vpack/filearea/win/art/graphics/conv/index.html>

■「ハイテク読書」の画像ファイルは、CDの「kyouzai」フォルダの中の「newread01.jpg」および「newread02.jpg」ファイルです。

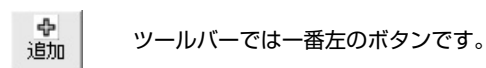
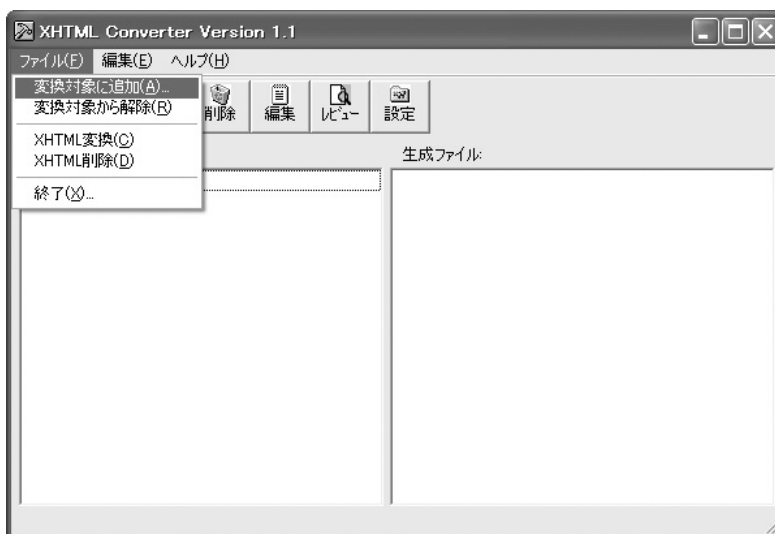
(3) 適当なフォルダを作り、テキストファイルと画像ファイルを同じ場所に保存しておきます。



(4) デスクトップにある「XHTML Converter」のアイコンをダブルクリックします。



(5) メニューバーから「ファイル」→「変換対象に追加」をクリックします。



(6) 「ファイルを開く」ダイアログが表示されます。作成したテキストファイルをクリックし、「特殊文字をエスケープ」にチェックを入れ、「開く」ボタンをクリックします。

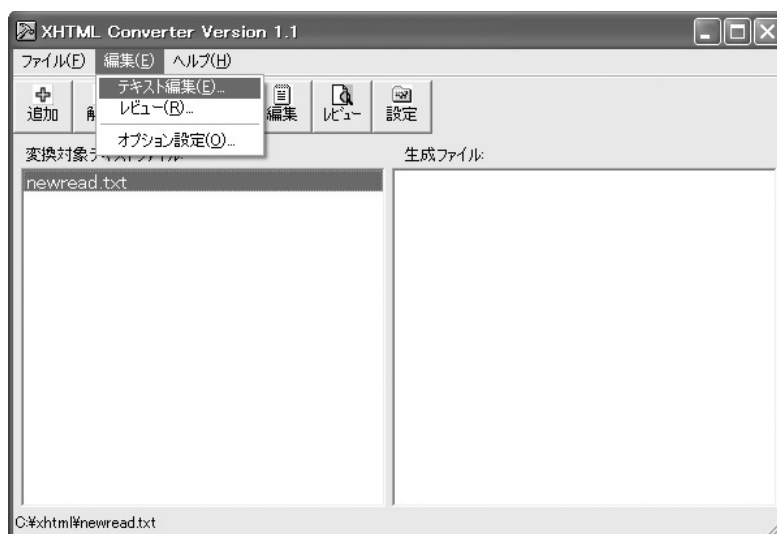
■XHTML Converter



■「特殊文字をエスケープ」にチェックを入れると、文章中に変換ルールで使われている記号がある場合に、エスケープ（対象除外）記号 ¥ をその記号の前に自動的に付けます。

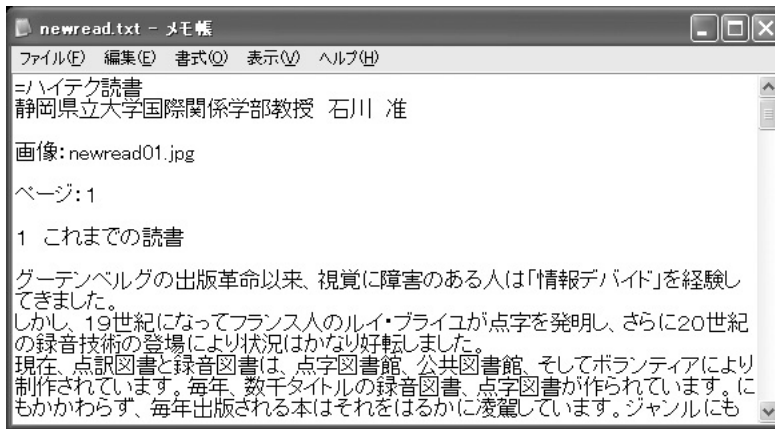
■変換用の記号をすでに付けているテキストを開く場合は、「特殊文字をエスケープ」にチェックは入れません。

- (7) 「変換対象テキストファイル」エリアに追加されたテキストファイルをクリックし、メニューバーから「編集」→「テキスト編集」をクリックします。



ツールバーでは右から3番目のボタンです。

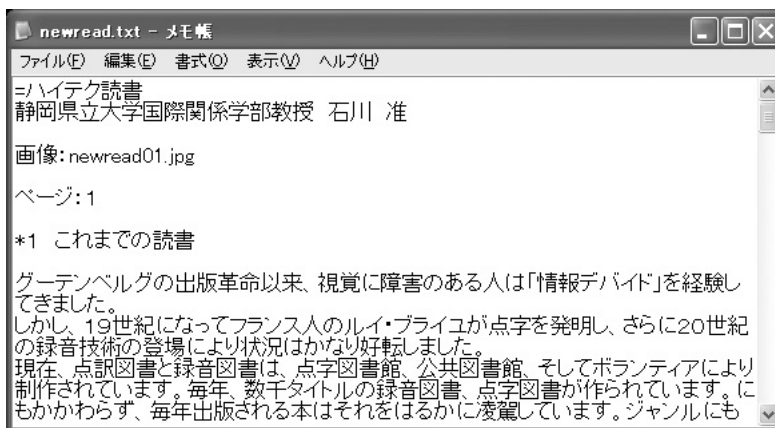
- (8) テキストにXHTML変換に必要な記号を入力していきます。まず、タイトルに = を付けます。



■DAISY図書の場合、先頭の見出しは必ずその図書のタイトルになります。

■記号は、半角、全角ともに使用できます。

- (9) 見出しに * を付けます。レベル1なら * 、レベル2なら ** 、のようにレベル数に併せて付け、レベル6まで使用することができます。
ただし、タイトルに付ける必要はありません。



「ハイテク読書」の見出しは、

見出し	レベル	記号
ハイテク読書	1 (タイトル)	=
1 これまでの読書	1	*
2 ハイテク読書術	1	*
ハイテク読書の利点	2	**
ハイテク読書の欠点	2	**
(1) OCRソフトが文字を誤認識する	3	***
(2) コンピュータが誤読する	3	***
(3) 自分では誤りを校正できない	3	***
3 情報バリアフリー	1	*
4 結論	1	*

このようにレベル（階層）が付いています。

■XHTML Converter

DAISYでは見出しにレベル（階層）を設定することができます。図書には、大見出しの中に多数の中見出しがあり、その1つの中見出しの中には多数の小見出しがあります。図書の持つ構造をDAISYでは、レベル1～6の6つのレベルを使ってあらわします。

例えば、

図書名（タイトル）		レベル1
目次		レベル1
第1章		レベル1
第2章		レベル1
第2章1節	—————>	レベル2
第2章2節	レベルで表すと	レベル2
第2章2節1項		レベル3
第2章2節2項		レベル3
第3章		レベル1

となります。

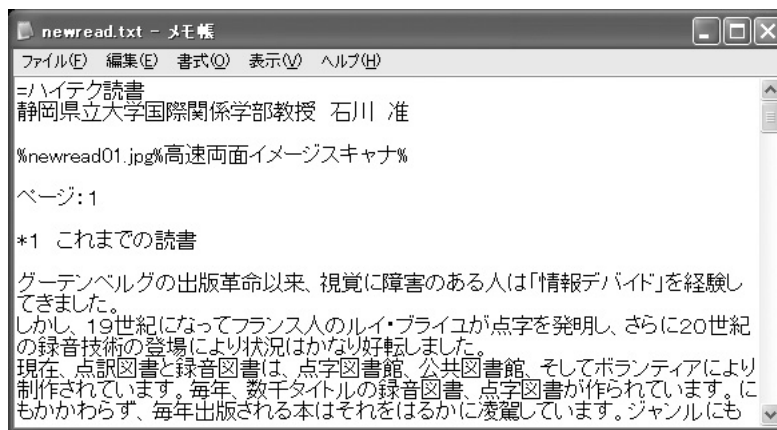
(10) 画像を入れる位置に記号を付けます。

%ファイル名%オルトテキスト%

上記のように記述しますので、テキストの「画像：newread01.jpg」の部分は、

%newread01.jpg%高速両面イメージスキャナ%

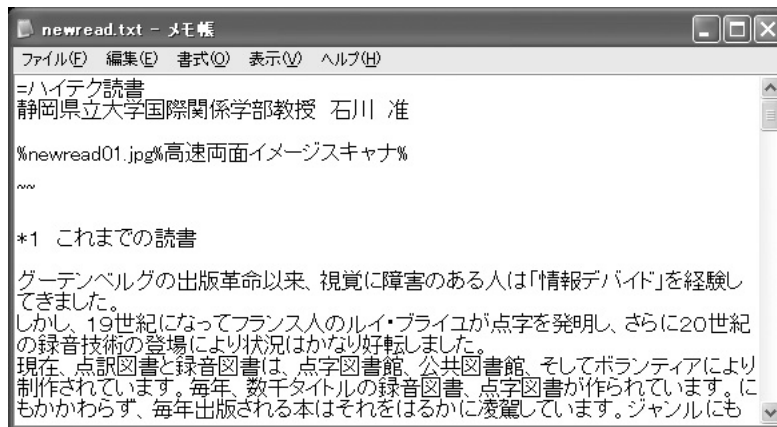
このように記述します。



「画像：newread02.jpg」の部分も同様に記述します。

■ ファイル名には画像のファイル名を記述します。JPEG、BMP、GIF、PNGファイル等が使えます。オルトテキストには、その画像を簡単に説明するテキスト文章を記述します。

- (11) ページを入れる位置に記号を付けます。 ~ (チルダ2個) を付けます。



テキストの「ページ：1」の部分に ~ を付けます。7ページまであります。

■ ページ番号は自動的に先頭から順番に付けられます。

- (12) テキストイベントの区切り (DAISY再生時にハイライト表示される区切り) は、 。 もしくは 。 で自動で区切られます。また、パラグラフ (段落) の末尾でも区切られます。

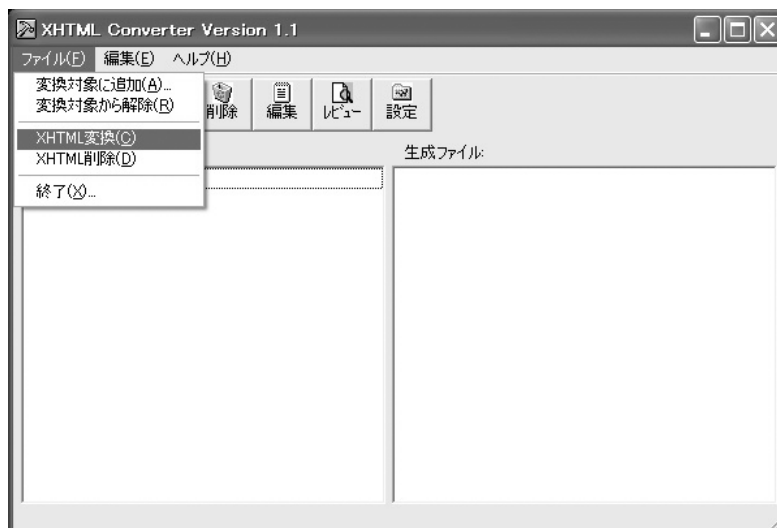
■ 追加で 、 (読点) . (ピリオド) , (カンマ) で区切ることも可能です。「編集」メニューの「オプション設定」から設定します。

■ 任意の場所で区切りたい場合は、 ▲ を付けることにより、その部分で区切ることも可能です。

- (13) 以上で、変換用ファイルの準備ができました。上書き保存をしてメモ帳を閉じます。次にXHTMLファイルに変換します。

2. XHTMLファイルに変換する

- (1) メニューバーから「ファイル」→「XHTML変換」をクリックします。

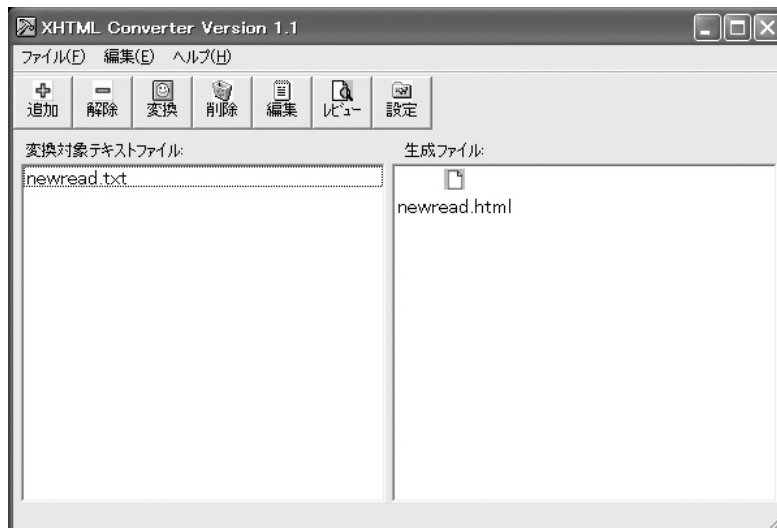


■XHTML Converter



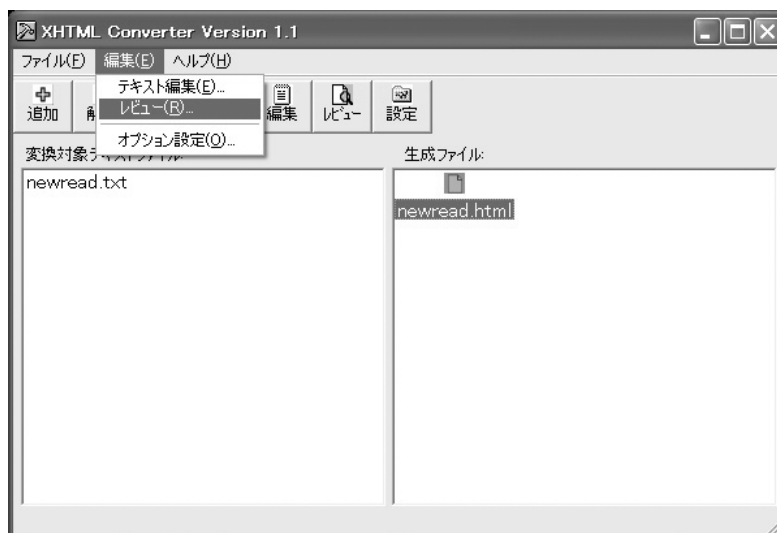
ツールバーでは左から3番目のボタンです。

(2) 変換されたXHTMLファイルが「生成ファイル」エリアに表示されます。



■XHTMLファイルは、テキストファイルと同じ場所に保存されます。

(3) XHTMLファイルを確認します。「生成ファイル」エリアのXHTMLファイルをクリックし、メニューバーから「編集」→「レビュー」をクリックします。

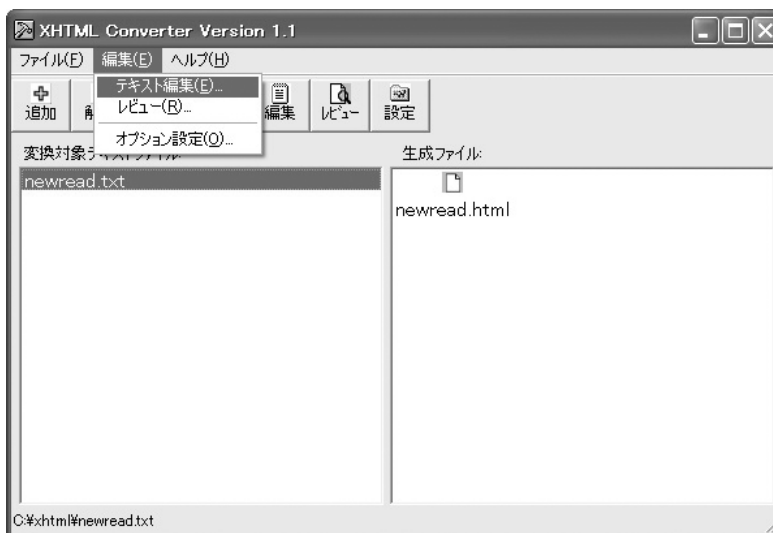


ツールバーでは右から2番目のボタンです。

(4) 表示されたXHTMLファイルを確認します。問題が無ければ、XHTMLファイルの完成です。



(5) 修正が必要な場合、XHTMLファイルを閉じて「XHTML Converter」に戻ります。
 「変換対象テキストファイル」エリアのテキストファイルをクリックし、メニューバーから「編集」
 →「テキスト編集」をクリックします。



ツールバーでは右から3番目のボタンです。

■XHTML Converter

(6) テキストファイルが表示されますので、修正後、上書き保存をして閉じます。

「XHTML Converter」にて再度「XHTML変換」を行います。

■問題が解消されるまで (5)、(6) を繰り返し、XHTMLファイルの完成となります。

(7) 以上でマルチメディアDAISY用XHTMLファイルの完成です。次に「Sigtuna DAR 3」を使って録音・編集を行い、マルチメディアDAISYを製作します。

EX. XHTML Converter マニュアル

EX-1. 変換ルール

■ タイトル

行頭の = もしくは = の後ろに、タイトル文字列を記述します。

XHTML宣言文が追加され、タイトルの見出しが自動生成されます。

変換テキスト

=ハイテク読書

XHTML表示例

ハイテク読書

■ 見出し(レベル1～レベル6)

行頭の * もしくは * が1つならレベル1、2つならレベル2のように処理を行ない、レベル6までの生成が可能です。

また、■□◆◇●○ の記号を見出しの各レベルに割り当てることも可能です。

変換記号			レベル
*	*	■	レベル1
**	**	□	レベル2
***	***	◆	レベル3
****	****	◇	レベル4
*****	*****	●	レベル5
*****	*****	○	レベル6

変換テキスト

*ハイテク読書
**ハイテク読書
***ハイテク読書
****ハイテク読書
*****ハイテク読書
*****ハイテク読書

XHTML表示例

ハイテク読書

ハイテク読書

ハイテク読書

ハイテク読書

ハイテク読書

ハイテク読書

■

本文中から 。 もしくは 。」 を見つけて文節を自動的に判断し、文節をとで挟み込んだXHTML記述を自動生成します。また、パラグラフ（段落）の末尾でも区切られます。

任意にの区切りを入れたい場合には区切り位置に▲を入れます。

■XHTMLの表示は変わりませんが、DAISYを製作する際に、テキストが黄色くハイライト表示される区切りとなります。

■ 画像

画像を表示する場合にはテキストに %ファイル名%オルトテキスト% あるいは %ファイル名%オルトテキスト% のように記述します。

■ファイル名には画像のファイル名を記述します。JPEG、BMP、GIF、PNGファイル等が使えます。オルトテキストには、その画像を簡単に説明するテキスト文章を記述します。

■ 画像ファイルは変換用テキストファイルと同じフォルダ（場所）に置いてください。

変換テキスト

%newread01.jpg%高速両面イメージスキャナ%

XHTML表示例



■ 強制改行

テキストに `;` ; もしくは `;` ; を記述することにより、その部分で改行されます。

変換テキスト

グーテンベルグの出版革命以来、 ; 視覚に障害のある人は「情報デバインド」を経験してきました。

XHTML表示例

グーテンベルグの出版革命以来、
視覚に障害のある人は「情報デバインド」を経験してきました。

■ 水平線

テキストに `-----` を記述することにより、その行に水平線が引かれます。

変換テキスト

ハイテク読書

1 これまでの読書

XHTML表示例

ハイテク読書

1 これまでの読書

■ ページ番号

本文中の `~~` もしくは `~` を記述することにより、ページ番号を生成します。

また、任意の番号をページ番号として指定する場合には、本文中に `~番号~` および `~番号` と記載します。

番号の部分は、半角文字でページ番号の数値を記述します。

一度、ページ番号が任意に指定されると、以降のページ番号は指定されたページ番号を起点に計算されます。

■ ページ番号は連続する必要はありませんが、論理的に間違っているページ番号は付けることができません。
例えば、4ページの後に2ページを付けた場合、エラーとなります。

変換テキスト

~~
~~
~4~
~~

XHTML表示例

1
2
4
5

■ 特殊ページ番号

page-frontのクラス設定がされた特殊ページ記述の指定をするには、`~=内容~` もしくは `~=内容~` のように指定します。

page-specialのクラス設定がされた特殊ページ記述の指定をするには、`~*内容~` もしくは `~*内容~` のように指定します。

■ 現在、DAISY再生用ソフトウェアでは特殊ページ番号を指定しての移動はできませんが、前後1つずつの移動は可能です。

■ ファイル分け

行頭の `&` および `&` でXHTMLファイルを分けることができます。
この記号から後ろの行はタイトル文字列としてXHTMLの宣言部分に記述されます。
指定がない場合は、前のページのタイトル文字列を継承します。

■ 長文の図書をDAISY化する場合は、章などでファイルを分けると良いでしょう。

■ ルビ

``ルビの対象文字列`ルビ文字列`` もしくは ``ルビの対象文字列`ルビ文字列`` と記述することで、ルビを振ることができます。

変換テキスト

ハイテク`読書`どくしょ`

XHTML表示例

ハイテク^{どくしょ}読書

■ ルビを使用する場合は、オプション設定にて「XHTML 1.1」を選択してください。

■ リンク

リンクの参照を表現するには `^` もしくは `^` の記号を用います。
URIを `^` もしくは `^` で囲い、参照の終了位置を `^` もしくは `^` で示します。
URIの終了位置が省略された場合には行末で参照が終了したものとみなされます。

リンクのアンカーを表現するには `#` もしくは `#` の記号を用います。
アンカー名を `#` もしくは `#` で囲い、アンカーの終了位置を `#` もしくは `#` で示します。
アンカーの終了位置が省略された場合には行末でアンカーが終了したものとみなされます。

■ リンクを使用すると、DAISY再生用ソフトウェアによっては正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。

変換テキスト

^ http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/ ^ DAISY研究センター ^

XHTML表示例

DAISY研究センター

■ リスト

行頭が + もしくは + で始まる場合には、順序リストを生成します。

空行もしくは + もしくは + 以外の文字で始まる行により、順序リストは終了します。

複数の + もしくは + を並べることで、リストを入れ子にすることができます。入れ子のレベルは3階層までとします。

変換テキスト

```
+リスト1
+リスト2
++リスト2.1
++リスト2.2
+リスト3
```

XHTML表示例

```
1.リスト1
2.リスト2
  1.リスト2.1
  2.リスト2.2
3.リスト3
```

行頭が - もしくは - で始まる場合には、順序無しリストを生成します。

空行もしくは - もしくは - 以外の文字で始まる行により、順序無しリストは終了します。

複数の - もしくは - を並べることで、リストを入れ子にすることができます。入れ子のレベルは3階層までとします。

変換テキスト

```
-リスト1
-リスト2
--リスト2.1
--リスト2.2
-リスト3
```

XHTML表示例

```
*リスト1
*リスト2
  *リスト2.1
  *リスト2.2
*リスト3
```

■ 順序リストと、順序無しリストを入れ子にすることも可能です。この場合には-+のように記号を入れ子にして記述します。

■ テーブル

行頭が `|` もしくは `|` で始まり、各セルを `|` もしくは `|` で区切るとテーブルを生成します。

! もしくは ! を使用するとヘッダとして生成します。

変換テキスト

```
!セルA1!セルB1!セルC1
|セルA2|セルB2|セルC2
|セルA3|セルB3|セルC3
```

XHTML表示例

```
セルA1   セルB1   セルC1
セルA2   セルB2   セルC2
セルA3   セルB3   セルC3
```

■ XHTMLの直接記述

\$ もしくは \$ で囲った範囲はそのままXHTMLに出力されます。変換ルールでは記述できないXHTMLを生成したい場合に用います。

■ エスケープ

変換ルールで使われる記号を、文字として使用したい場合があります。

この場合には ¥ もしくは ¥ を記号の前に記述します。

¥¥ 自体を表現するには ¥ とし、 ¥¥ 自体を表現するには ¥ とします。

特殊文字一覧	
全角	半角
=	=
&	&
~	~
*	*
■□◆◇●○	
。	
▲	
%	%
`	`
#	#
^	^
+	+
-	-
!	!
;	;
\$	\$
¥	¥
—	—

■XHTML Converter

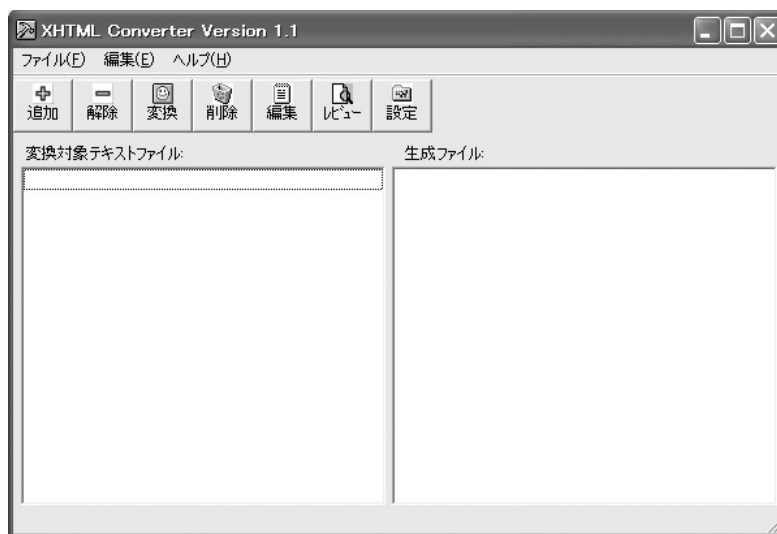
■ コメント

___ もしくは __ から行末まではコメントとして扱われます。
また _ もしくは _ で囲った範囲はコメントとして扱われます。

■ コメントは表示への影響はありません。ソースプログラムにメモ書きとして記述されます。

EX-2. 画面説明

ウィンドウの上部にはメニューとツールバーが置かれています。
ウィンドウの左部には変換対象のテキストファイルが列挙され、ウィンドウの右部には生成されたXHTMLファイルが列挙されます。



■ ファイルメニュー

変換対象に追加

変換対象のテキストファイルを追加します。



ツールバーでは一番左のボタンです。

■ ウィンドウ左部の「変換対象テキストファイル:」エリアにテキストファイルをドラッグドロップすることで追加することもできます。

変換対象から解除

追加済みのテキストファイルを解除します。

事前にウィンドウ左部の「変換対象テキストファイル:」エリアのテキストファイルを選択しておきます。



ツールバーでは左から2番目のボタンです。

XHTML変換

追加済みのテキストファイルをXHTML変換します。



ツールバーでは左から3番目のボタンです。

■ XHTMLファイルはテキストファイルと同じフォルダ内に、.txtの拡張子を.htmlの拡張子に置き換えたファイル名で生成されます。

XHTML削除

変換済みのXHTMLファイルを削除します。



ツールバーでは左から4番目のボタンです。

終了

XHTML Converterを終了します。

■ 編集メニュー

テキスト編集

変換対象のテキストファイルを編集します。

テキストエディタ（通常はメモ帳）が起動します。

事前にウィンドウ左部の「**変換対象テキストファイル:**」エリアのテキストファイルを選択しておきます。



ツールバーでは左から5番目のボタンです。

■ ウィンドウ左部の「変換対象テキストファイル:」エリアのテキストファイルをダブルクリックすることでも開くことができます。

レビュー

変換済みのXHTMLファイルを表示します。

ブラウザ（通常はInternet Explorer）が起動します。

事前にウィンドウ右部の「**生成ファイル:**」エリアのXHTMLファイルを選択しておきます。

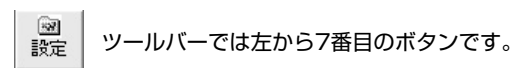


ツールバーでは左から6番目のボタンです。

■ ウィンドウ右部の「生成ファイル:」エリアのXHTMLファイルをダブルクリックすることでも開くことができます。

オプション設定

XHTMLファイルで使用するスタイルシート(CSSファイル)等を設定します。



スタイル：

無し

スタイルシートは設定しません。

横書き

読みやすいよう、行間、文字間を広げた横書き用のスタイルです。

縦書き

縦書き用のスタイルです。

■ 半角は縦書きにはなりません。全角のみ縦書きになります。

横書き (チェック)

横書き用のスタイルで、で囲んだ部分をハイライト表示したスタイルです。

■ 間隔のチェック用にのみ使用してください。このスタイルを用いたDAISY図書は製作できません。

縦書き (チェック)

縦書き用のスタイルで、で囲んだ部分をハイライト表示したスタイルです。

■ 間隔のチェック用にのみ使用してください。このスタイルを用いたDAISY図書は製作できません。

横書き (プレイヤー)

横書き用のスタイルで、DAISY再生用ソフトウェアで再生した時にハイライト位置を固定したスタイルです。

■ 上記の選択肢以外のスタイルシートを使用する場合には、CSSファイル名を直接入力してください。事前にCSSファイルをインストールフォルダ (通常は、C:¥Program Files¥XHTML Converter) にコピーしておく必要があります。

生成XHTMLバージョン

通常はXHTML 1.0を選択してください。ルビを使用した場合にのみXHTML 1.1を選択してください。

SPANタグ区切り対象

自動的に。(句点)の位置でSPANタグで区切りますが、これ以外の区切り文字、(読点)、(ピリオド)、(カンマ)の箇所でSPANタグを区切りたい時に選択します。

■ ヘルプメニュー

マニュアル

XHTML Converterのマニュアルです。

目次

マニュアルの目次です。

XHTML Converterについて

バージョン情報です。

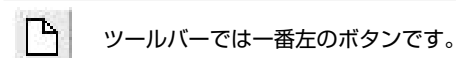
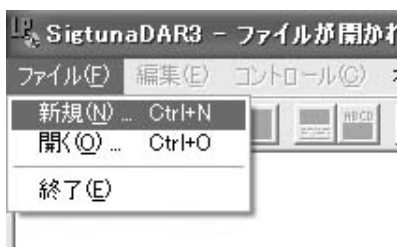
事前に作成したXHTMLファイルを読み込み、マルチメディアDAISY図書を製作します。

1. 新規作成

- (1) デスクトップにある「Sigtuna DAR 3 JP 3.0」のアイコンをダブルクリックします。



- (2) メニューバーから「ファイル」→「新規」をクリックします。



- (3) 「新しいプロジェクトの作成」ダイアログが表示されます。「シンクロされた図書」をクリックし、「OK」ボタンをクリックします。

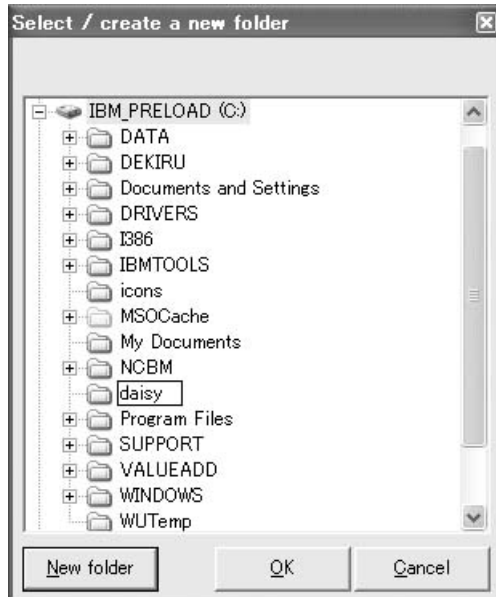


- (4) 「プロジェクトの保存先を選択してください。」ダイアログが表示されます。「タイトル」欄に、図書名「ハイテク読書」と入力します。



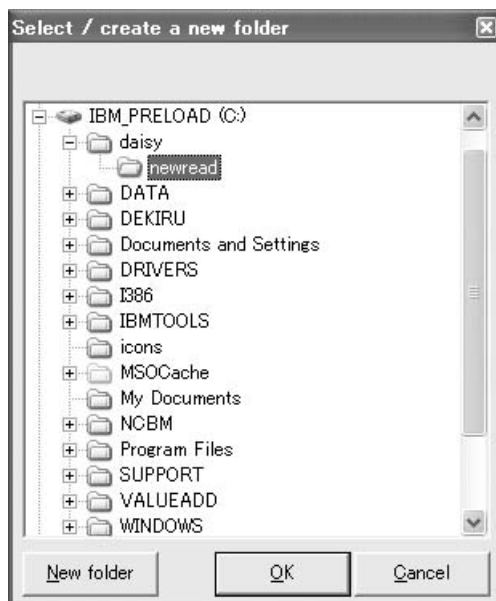
■ここで入力するタイトルは、XHTMLファイルと同じタイトルを付けます。

- (5) 「パスの選択」 ボタンをクリックします。「ハードディスクドライブ」をクリックし、「New folder」 ボタンをクリックします。「ハードディスクドライブ」のルートに「New folder」が作成されますので、「daisy」と入力します。



■ フォルダはハードディスクドライブの階層の浅い場所に作ります。ハードディスクドライブが2つ以上ある場合は、「Cドライブ」以外のハードディスクドライブにフォルダを作った方が良いでしょう。

- (6) 「Enter」キーで確定し、再度「New folder」ボタンをクリックします。「daisy」フォルダの中に「New folder」が作成されますので、「newread」と入力します。「Enter」キーで確定し、「OK」ボタンをクリックします。



■ 次に製作するプロジェクトからは「daisy」フォルダの中に「New folder」を作ります。

■ プロジェクトフォルダ名は半角英数でわかりやすい名前を付けます。「 」(スペース)は使わずに、代わりに「-」(ハイフン)、「_」(アンダーバー)を使います。その他の記号は使わないようにします。

- (7) 「プロジェクトの保存先を選択してください。」 ダイアログに戻りますので、「OK」 ボタンをクリックします。



■「手動で文字セットを選択する」は、変更する必要はありません。自動で日本語の文字セット「shift_jis」が選択されます。英語の図書を作成する場合には、チェックを入れて、リストから「iso-8859-1」または「Windows-1252」を選択します。

- (8) 「新しいDAISY 2.02プロジェクトの作成」 ダイアログが表示されます。左下の「追加」 ボタンをクリックします。



- (9) 「プロジェクトにドキュメントを追加する」 ダイアログが表示されます。作成したXHTMLファイルをクリックし、右下の「開く」 ボタンをクリックします。



■XHTMLファイルはCDの「kyouzai」フォルダの中にもあります。「newread.html」ファイルです。

(10) 「追加するドキュメント」エリアにXHTMLファイルが追加されました。



■ 複数のXHTMLファイルを追加する場合は、(8) (9) の手順を繰り返します。追加したファイルを削除したり、順番を入れ替えることができます。

(11) MDFファイルを選択します。「現在のMDFファイル」エリアの中の「span.mdf」をクリックし、右側の「選択」ボタンをクリックします。



■ 初回製作時のみ必要な作業です。設定が保存されますので、次回、別タイトル製作時は「span.mdf」が選択されています。

(12) 「現在のMDFファイル:」のすぐ下に「span.mdf」が表示されていることを確認して、右下の「終了」ボタンをクリックします。



■Sigtuna DAR 3 JP

(13) 「ハイテク読書」のプロジェクトが表示されます。この画面を「メイン画面」と呼びます。



■ エラーが表示される場合は、XHTMLファイルに問題があります。XHTMLファイル作成の手順を確認してファイルを再変換します。

「ハードディスクドライブ」の「daisy」フォルダの中の「newread」フォルダを削除してから、再度(1)より新規作成をしてください。

■ 製作途中で終了する時は、メニューバーから「ファイル」→「終了」をクリックします。自動で保存されていますので、いつでも終了することができます。

再開する時は、「Sigtuna DAR 3 JP 3.0」を開き、メニューバーから「ファイル」→「開く」をクリックします。

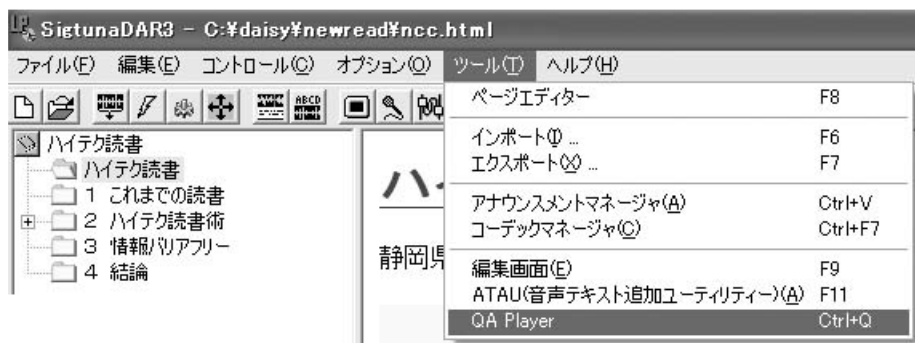
「ファイルを開く」ダイアログが表示されますので、作成した「newread」の中の、「ncc.html」をクリックして、「開く」ボタンをクリックします。

2. QA Player

(1) DAISY再生用ソフトウェア「LpPlayer」の機能限定版です。

テキストのチェックや、イベントシンクロ（黄色いハイライト）の確認をします。

(2) メニューバーから「ツール」→「QA Player」をクリックします。





ツールバーでは一番右のボタンです。

(3) 「LpPlayerQA」が開きます。



(4) 「→」右矢印キー、もしくは左下の右から2番目のボタン「次のイベント」を使って、イベントシンクロを確認します。



■ チェック後、修正が必要な場合は、XHTMLファイルを修正します。変換用テキストファイルを修正し、再度XHTML変換をしてください。

変換後、「ハードディスクドライブ」の「daisy」フォルダの中の「newread」フォルダを削除してから、再度、新規作成をしてください。

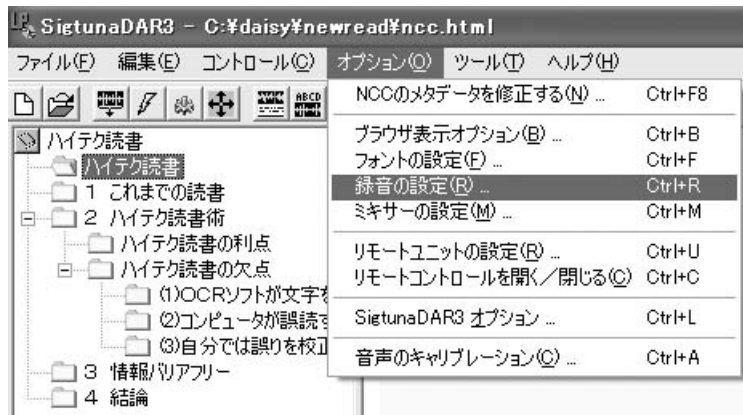
■ テキスト文章、見出しのレベル、ページ、画像等、XHTMLファイルに関する修正は「Sigtuna DAR 3 JP」上ではできません。メニューの中に変更可能な項目がありますが、変更してはいけません。

(5) プロジェクトの最後まで確認したら、「LpPlayerQA」を閉じて「メイン画面」に戻ります。

3. 録音準備

3-1. 録音設定

(1) メニューバーから「オプション」→「録音の設定」をクリックします。



ツールバーでは右から5番目のボタンです。

(2) 「録音の設定」ダイアログが表示されます。

■ 「データフォーマット」タブ (音声デバイス設定)



■ サンプル周波数

人間の声で録音する場合、「22050 Hz」に設定します。

■ 「44100 Hz」ですと音楽CD品質になります。しかし人間の声でしたら「22050 Hz」で十分です。

■ チャンネル

「モノラル」に設定します。

■ 録音コーデック

「PCM 16 bits」に設定します。

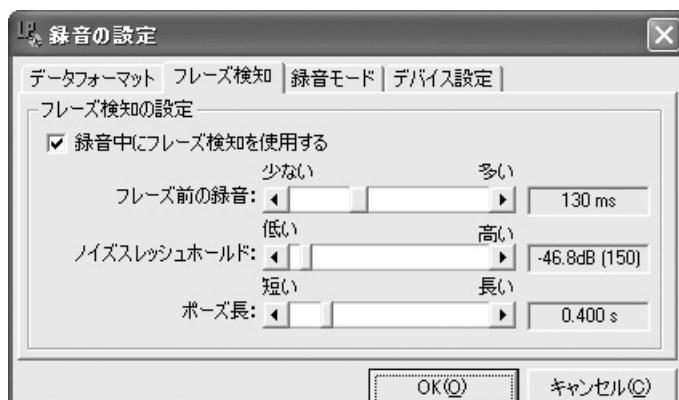
■ マスタープロジェクトは「PCM 16 bits」で製作します。完成後に音声を圧縮することができます。「ADPCM2 4bits」にも設定できますが、DAISY独自の音声フォーマットですので互換性がありません。最新のDAISY規格では採用されていないので、今後リリースされるプレイヤーが再生をサポートしないことが多くなります。

また、完成後に他の音声フォーマットに変換することができません。

■ テープスピード

マイクで録音しますので、「等倍速」になっていることを確認します。

■ 「フレーズ検知」タブ（フレーズ検知の設定）



■ 録音中にフレーズ検知を使用する

チェックが入っていることを確認します。

■ 「フレーズ検知」を使用しない場合、1つのテキストイベントに対して1つのフレーズになります。

■ フレーズ前の録音

フレーズ検知でフレーズが分割される位置の変更ができます。

「少ない」にすると、フレーズの先頭の無音がより少なくなります。

「多い」にすると、フレーズの先頭の無音がより多くなります。

■ 通常は、「130 ms」で問題ありませんが、実際に録音を行った時に、フレーズの終わりに次の音声が入ってしまう場合は、「多い」で調節します。

■ ノイズスレッショールド

バックグラウンドのノイズ（雑音）のレベルを設定します。

この後に行う「キャリブレーション」で自動で設定されます。

■ ポーズ長

朗読者が設定した秒数よりも長い時間黙っていると（息継ぎ等）、その部分でフレーズが分割されます。

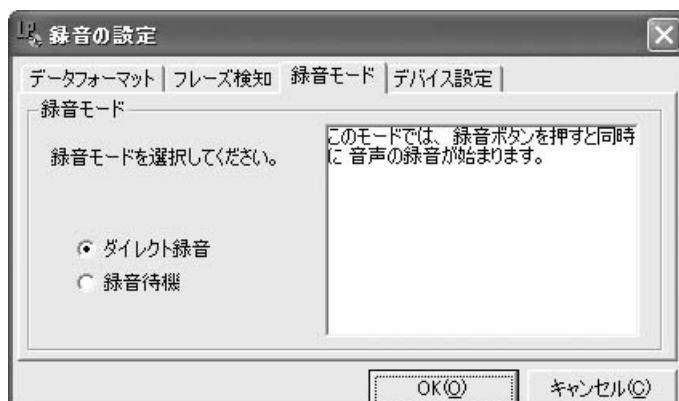
朗読する速度は朗読者によって異なりますので、朗読者に合わせて調節します。

「0.400 s」前後が標準です。

「短い」にすると、より細かくフレーズが分割されます。

「長い」にすると、より大まかにフレーズが分割されます。

■ 「録音モード」タブ



■ ダイレクト録音

「録音」ボタンをクリックすると同時に録音が始まります。

通常はこのモードを選択します。

■ 録音待機

「録音」ボタンをクリックしても音声を認識するまでは待機状態になり録音が始まりません。

使用する音声デバイスによって誤差がありますので、通常は「ダイレクト録音」を選択してください。

■ 「デバイス設定」タブ



■ 音声デバイス

複数の音声デバイスがある場合、使用したい音声デバイスが選択できます。

■ バッファ数、バッファサイズ

デフォルトのまま、変更する必要はありません。

■ パソコンによっては、内蔵の音声デバイスで十分な録音ができない場合があります。その場合は外付け(USB接続)の音声デバイスを使用してください。

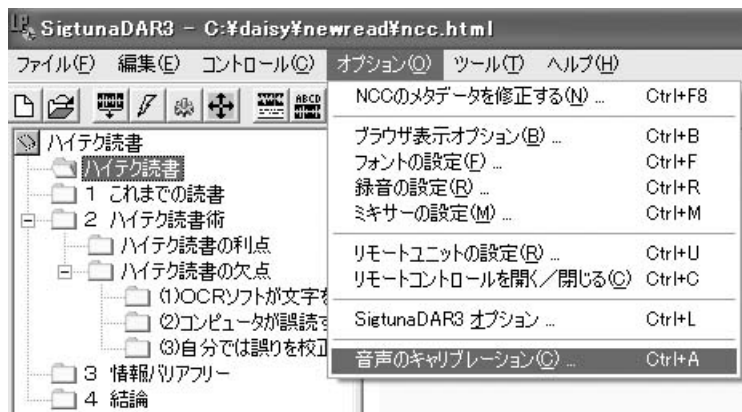
以上で「録音設定」が終了しました。

「OK」ボタンをクリックします。

1度設定すると保存されますので、変更が無い限り、次回は設定の必要はありません。

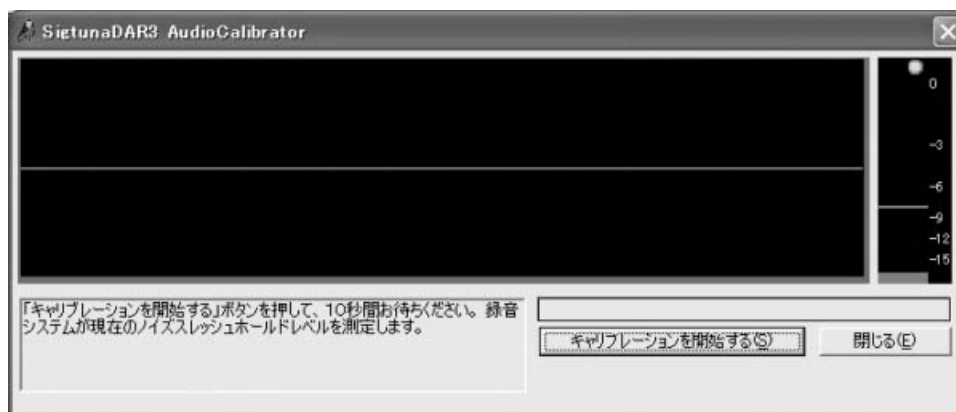
3-2. キャリブレーション

- (1) マイクをマイク入力端子に接続します。マイクにスイッチが付いている場合はオンにします。
- (2) メニューバーから「オプション」→「音声のキャリブレーション」をクリックします。



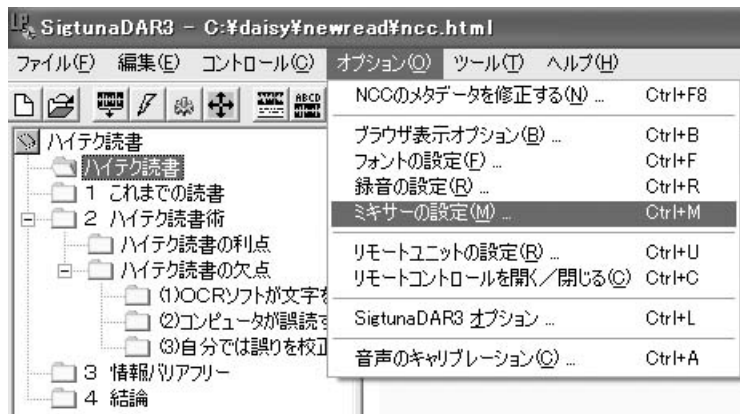
ツールバーでは右から2番目のボタンです。

- (3) 「SigtunaDAR3 AudioCalibrator」ダイアログが表示されます。



■Sigtuna DAR 3 JP

- (4) 最初に「録音レベル」の設定をします。メニューバーから「オプション」→「ミキサーの設定」をクリックします。



画面右下のボタンでも可能です。

- (5) 「Recording Control」ダイアログが表示されます。



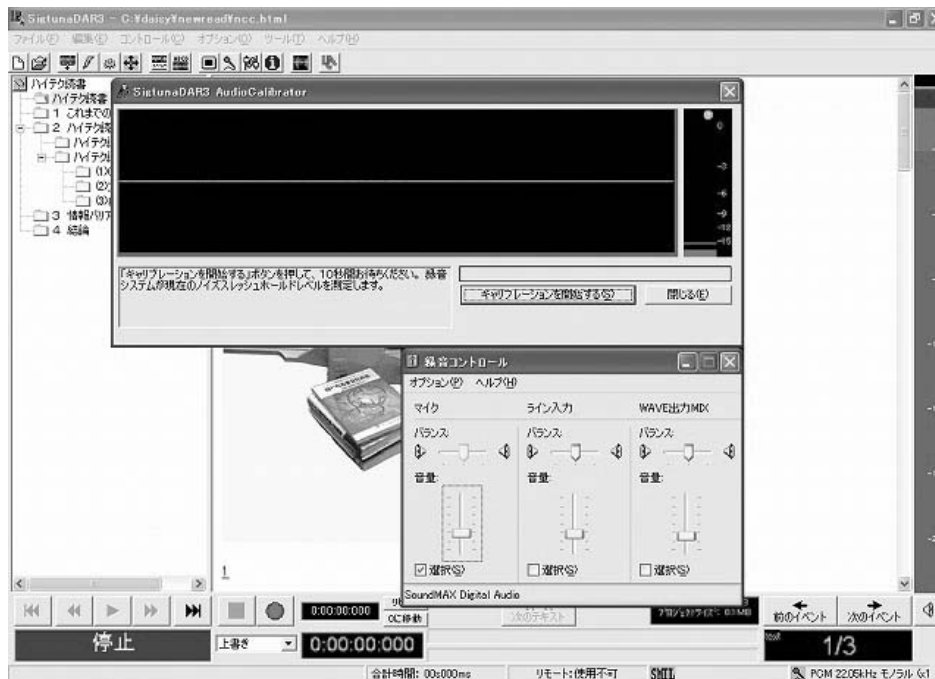
■パソコンによって「Recording Control」の名称は異なります。

- (6) 「Microphone」の「選択」をクリックし、チェックを入れます。

■パソコンによって「Microphone」の名称は異なります。また、「選択」ではなく「ミュート」になっている場合は、「Microphone」のチェックを外し、その他の入力「ミュート」にチェックを入れてください。「Microphone」が表示されていない場合は、「Recording Control」ダイアログのメニューバーから「オプション」→「プロパティ」をクリックし、「表示するコントロール」の中の「Microphone」にチェックを入れます。

- (7) 「SigtunaDAR3 AudioCalibrator」ダイアログが隠れてしまったので、タスクバーにある「SigtunaDAR3 AudioCalibrator」をクリックし表示します。

■ 「SigtunaDAR3 AudioCalibrator」と「Recording Control」の画面が重ならないように、ウィンドウを移動します。



- (8) これから録音する原稿を読んでテストをします。実際に録音する調子で読みます。

■ テスト中、「SigtunaDAR3 AudioCalibrator」で波形が表示されない場合は、「Microphone」が選択されていない、ボリュームが小さすぎる、マイクが接続されていない等の原因が考えられます。再度「Recording Control」の設定を確認してください。

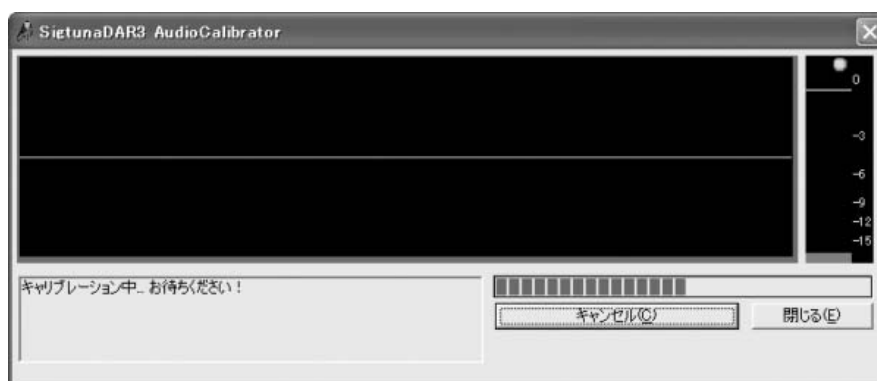
- (9) 録音レベルが最大で「-3」を超えない程度（-6 ~ -3の範囲）に「Recording Control」の「Microphone」のレベルを調節します。



■ 声量で調節してはいけません。普通の状態を読むことを心がけます。範囲に入らない場合は、「Recording Control」で調節します。

■Sigtuna DAR 3 JP

- (10) 「キャリブレーションを開始する」 ボタンをクリックし、10秒間待ちます。実際に録音する体勢で、10秒間黙っています。(マイクのスイッチはオンです。)



- (11) 完了すると、「DCオフセット値」および「ノイズスレッシュホールドレベル」が表示されます。



■ 「ノイズレベルの低い場所を見つけることができませんでした。」というメッセージが表示された場合は、周りのノイズ（雑音）が大きすぎる、マイクの接触が悪い、録音レベルが低い等が考えられます。再度設定しなおし、キャリブレーションを行ってください。

- (12) 数値は自動で設定されますので、「閉じる」ボタンをクリックします。「Recording Control」ダイアログも閉じます。

■ 録音レベルや周りのノイズ（雑音）がそれまでとは変化した時（マイクの位置を少しずらした、マイクまでの距離が変わった、疲れて声が小さくなった、大きくなった、途中で休憩した等）は、必ずキャリブレーションを行ってください。

- (13) 「録音設定」、「キャリブレーション」が正しく行われると、録音準備の完了です。録音を開始します。

4. 録音

- (1) NCCアイテム（見出し）ごとに録音をします。NCCアイテム「**ハイテク読書**」をクリックします。
- (2) メイン画面の下、コントロールボタンの「**録音**」ボタンをクリックします。すぐに録音が始まりますので、黄色くハイライトしている部分「**ハイテク読書**」と読みます。そして、コントロールボタンの「**次のテキスト**」ボタンをクリックし、ハイライトを次のテキストイベントへ移し、ハイライトしている部分のみ読みます。

■ページの部分に音声は必要ありませんので、すぐに「次のテキスト」もしくは「停止」ボタンをクリックします。

録音を続けていき、そのNCCアイテムの最後まで読むと、「次のテキスト」ボタンがクリックできなくなりますので、「停止」ボタンをクリックします。



■録音中、画面右の「VU メーター」に録音レベルが表示されています。クリップ（赤色）になった場合は、「録音レベル」を再度調節し、「キャリブレーション」を行ってください。

■録音中に間違えた場合は、録音を止めずに1秒くらいの無音を挿み、そのイベントの先頭から再度読み直します。無音を入れることによりフレーズが分割されますので、編集でその間違えたフレーズを削除します。編集は後でまとめて行いますので、読み直した箇所をチェックしておくとい良いでしょう。

■録音後に、NCCアイテムに含まれるすべての音声を削除したい場合は、そのNCCアイテムを選択し、メニューバーから「編集」→「現在のNCCアイテム中のすべての音声の削除」をクリックします。

(3) 録音した音声を確認したい時は、画面下のコントロールボタンを使います。



「先頭へジャンプ」

現在のNCCアイテムの最初へジャンプします。



「巻き戻し」

ボタンを押している間、巻き戻しされます。



「再生」

現在の位置から再生します。



「早送り」

ボタンを押している間、早送りされます。



「最後尾へジャンプ」

現在のNCCアイテムの最後へジャンプします。



「停止」

再生、録音を停止します。



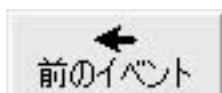
「録音」

録音を開始します。



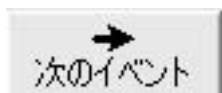
「次のテキストイベントをシンクロする」

ハイライトを次へ移動します。録音中で、次にテキストイベントがある場合のみクリックすることができます。



「前のイベントへ移動」

前のフレーズへ移動します。



「次のイベントへ移動」

次のフレーズへ移動します。

(4) 音声の確認後、すでに音の入っているところに再録音する場合は、「録音ボタン」の下、「録音モードの切り替え」で、「挿入モード」を選択します。



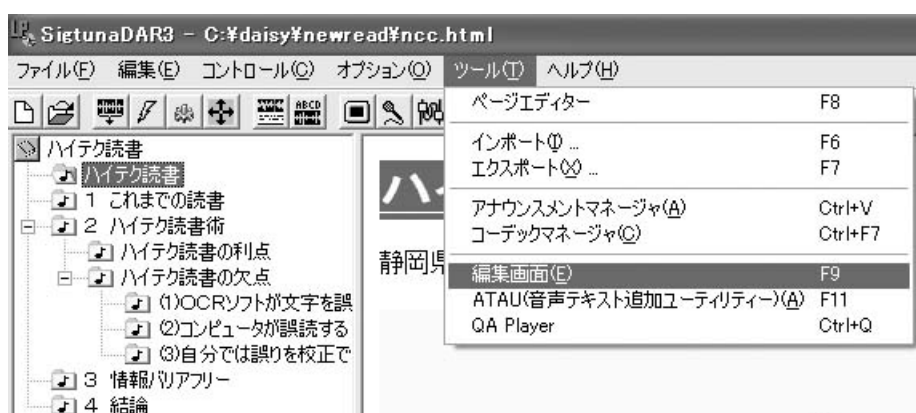
■「挿入モード」は、テキストイベント毎の録音になります。


すでにあるフレーズは上書きされず、再録音したフレーズが挿入されます。不要なフレーズは後で編集で削除します。

(5) すべてのNCCアイテムに録音をします。


5. 編集

音声の編集は「編集画面」で行います。メニューバーから「ツール」→「編集画面」をクリックします。



 ツールバーでは左から7番目のボタンです。

■「メイン画面」に戻りたい時は、「編集画面」を閉じれば「メイン画面」に戻ります。

 ツールバーでは一番左のボタンです。

編集中でも「メイン画面」に戻り、追加録音をすることができます。

「結合」、「分割」、「削除」を使って、すべてのNCCアイテムの音声を編集します。

5-1. 結合

画面右上「イベントリスト」で、結合したい2つの音声イベントをドラッグで選択し、メニューバーから「音声イベント編集」→「音声イベントの結合」をクリックします。



■ ショートカットキーは「Ctrl + J」です。



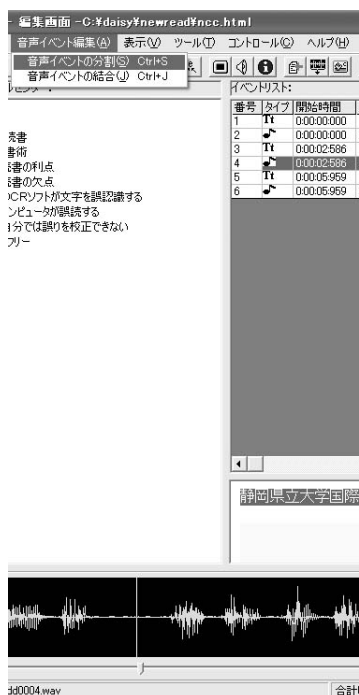
ツールバーでは右から11番目のボタンです。

■ NCCアイテム名を読んでいる音声イベントは必ず1つに結合します。各NCCアイテムの先頭の音声イベントはNCCアイテム名に沿った音声のみにします。余分な音声が入っている場合は分割します。

■ 「これらの二つの音声イベントは結合できません！」というメッセージが出た場合は後述の「音声エディター」を使って結合します。

5-2. 分割

音声イベントを1つ選択し、画面下「音声クリップ表示」の分割したい箇所をクリックし、メニューバーから「音声イベント編集」→「音声イベントの分割」をクリックします。



■ ショートカットキーは「Ctrl + S」です。

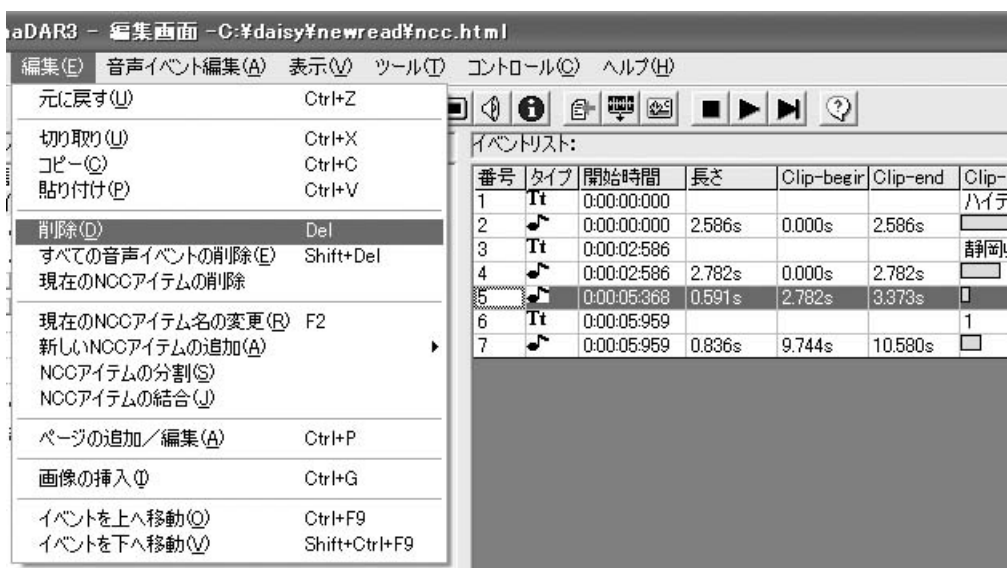


ツールバーでは左から11番目のボタンです。

■ 音の波形の途中ではなく、無音の部分で分割します。

5-3. 削除

削除したい音声イベントを1つ選択し、メニューバーから「編集」→「削除」をクリックします。



■ ショートカットキーは「Delete」です。



ツールバーでは左から6番目のボタンです。

■ テキストイベントは削除してはいけません。

■ 間違っ「結合」、「分割」、「削除」してしまった場合は、メニューバーから「編集」→「元に戻す」で段階ずつ元に戻すことができます。



ツールバーでは左から2番目のボタンです。

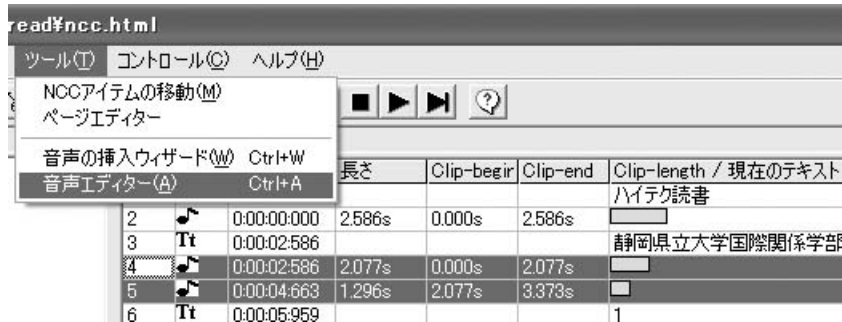
■ 音声イベントならば、「切り取り」、「コピー」、「貼り付け」することが可能です。

■ ページにシンクロしている音声イベントは、0.1秒~0.5秒くらいの長さの無音に編集しておきます。

5-4. 音声エディター

「音声エディター」を使用すれば、より詳細な音声編集が可能です。

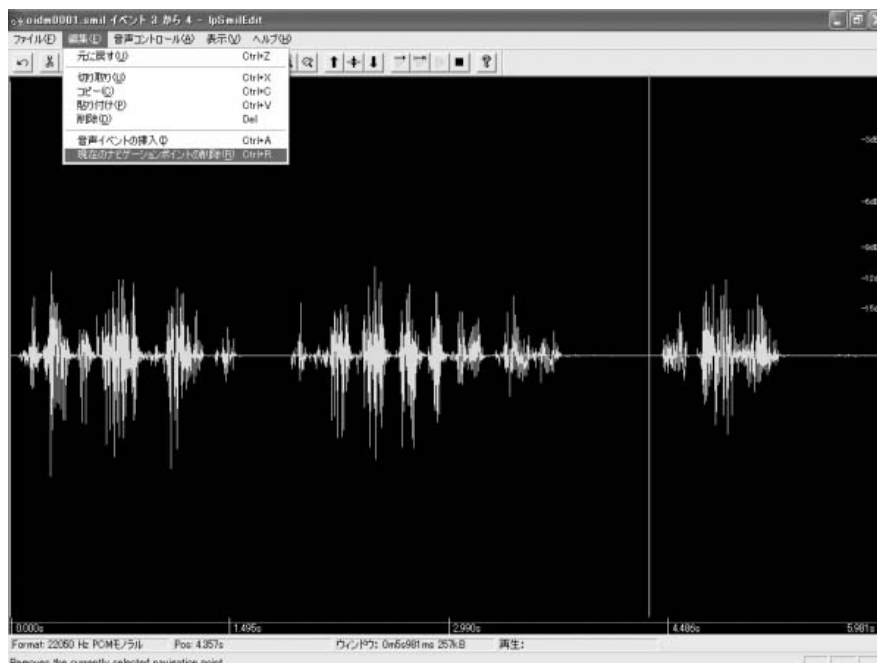
音声イベントを1つ以上選択し、メニューバーから「ツール」→「音声エディター」をクリックします。



■ 結合

結合したい2つ以上の音声イベントを選択した状態で「音声エディター」を開くと、イベントの境目が黄色いラインで表示されます。

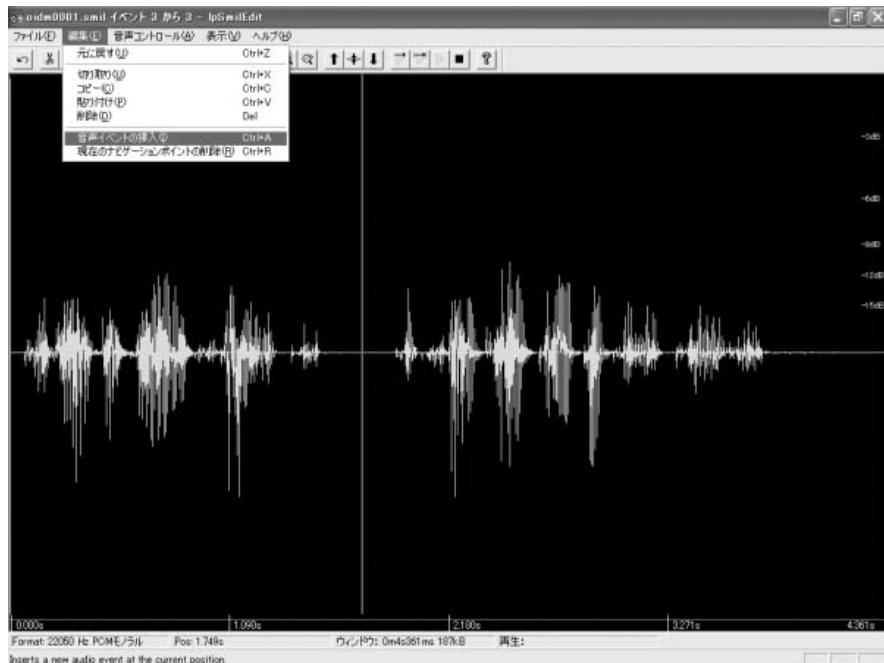
黄色いラインの上でクリックし、メニューバーから「編集」→「現在のナビゲーションポイントの削除」をクリックします。



■ 分割

分割したい箇所でクリックし、メニューバーから「編集」→「音声イベントの挿入」をクリックします。

イベントの境目に黄色いラインが入ります。



削除

削除したい箇所をドラッグで選択し、メニューバーから「編集」→「削除」をクリックします。

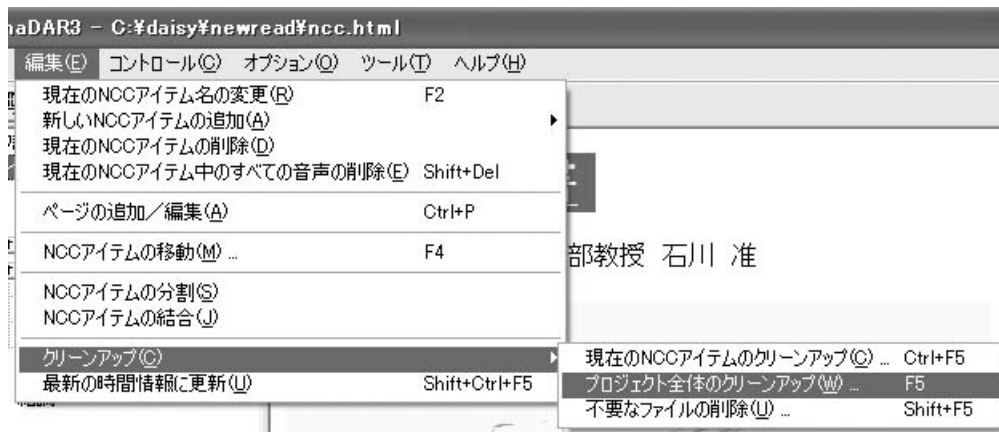


「編集画面」に戻るには、メニューバーから「ファイル」→「閉じる」をクリックします。「IpSmiEdit Message」ダイアログが表示されますので、変更を保存する場合は「Yes」ボタンを、保存しない場合は「No」ボタンをクリックします。

「編集」が終わったら、「編集画面」を閉じて「メイン画面」に戻ります。

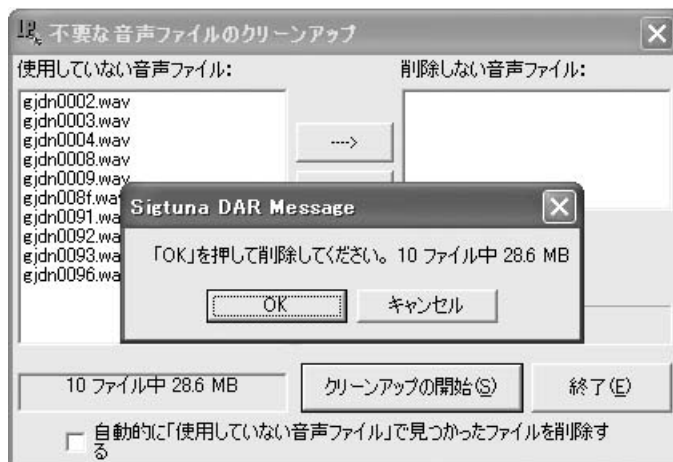
6. クリーンアップ

- (1) 不要な音声ファイルを削除してファイルの整理をします。
- (2) メニューバーから「編集」→「クリーンアップ」→「プロジェクト全体のクリーンアップ」をクリックします。



ツールバーでは左から5番目のボタンで、「プロジェクト全体のクリーンアップ」を選択します。

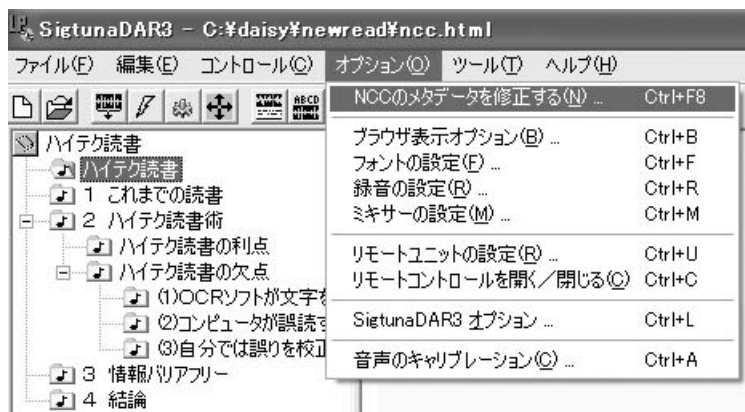
- (3) すべてのファイルをチェック後、「不要な音声ファイルのクリーンアップ」ダイアログが表示されます。「使用していない音声ファイル」がある場合、「クリーンアップの開始」ボタンをクリックし、「OK」ボタンをクリックします。



■音声を編集した時は、最後に必ず「プロジェクト全体のクリーンアップ」をします。

7. 書誌情報

- (1) 書誌情報（メタデータ）を入力します。必須項目は必ず入力します。
- (2) メニューバーから「オプション」→「NCCのメタデータを修正する」をクリックします。



- (3) 「書誌記述メタデータ」ダイアログが表示されます。自動で入力されている項目もありますが、必須項目で未入力の項目には赤い「！」マークが付いています。



■ dc:creator

ダブルクリックし、「内容」の部分に、原本の著者を入力します。
「石川 准」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

メタ項目を編集する "dc:creator"

名前: dc:creator
内容: 石川 准
スキーム:

Metadata:
必須 -- Daisy 2.02
説明: 発行物の著者または作者の名前

OK キャンセル

■ dc:date

ダブルクリックし、「内容」の部分に、制作したDAISY録音図書を公表した日付を入力します。

スキームが「yyyy-mm-dd」となっていますので、「2006-03-24」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。

メタ項目を編集する "dc:date"

名前: dc:date
内容: 2006-03-24
スキーム: yyyy-mm-dd

Metadata:
必須 -- Daisy 2.02
説明: DAISY DTBの発行日

OK キャンセル

■ dc:identifier

ダブルクリックし、「内容」の部分に、他のDAISY録音図書と区別するようなコードや番号を入力します。製作する団体で固有の管理番号を付けることができます。入力して、「OK」ボタンをクリックします。

メタ項目を編集する "dc:identifier"

名前: dc:identifier
内容: newread
スキーム:

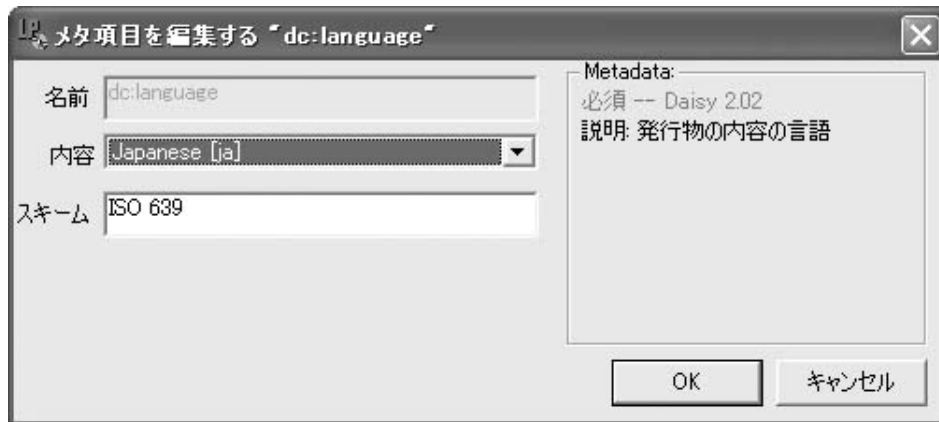
Metadata:
必須 -- Daisy 2.02
説明: DAISY発行物の資源識別子(発行する団体で特別なもの)

OK キャンセル

■ dc:language

ダブルクリックし、「内容」の部分で、Japanese [ja]を選択（クリック）します。スキームはISO 639です。

「OK」ボタンをクリックします。



■ dc:publisher

ダブルクリックし、「内容」の部分に、DAISY録音図書の公表者または出版者を入力します。「財団法人 日本障害者リハビリテーション協会」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。



(4) すべての必須項目に入力したら、「OK」ボタンをクリックします。

■推奨項目、その他の項目については、任意で入力します。

(5) ここまで「マスター」（保存用プロジェクト）の完成です。

「QA Player」で再生し、プロジェクトの最終チェックをします。

■チェック後、修正（録音・編集）を行った場合は、再度「クリーンアップ」をし、「書誌記述メタデータ」を開き、「OK」ボタンをクリックします。

8. エクスポート

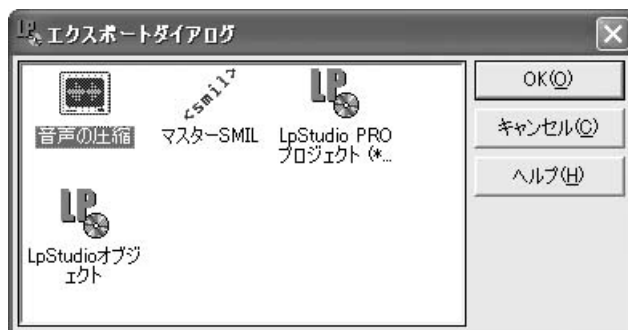
(1) 配布用のプロジェクトを作成します。

(2) メニューバーから「ツール」→「エクスポート」をクリックします。



ツールバーでは左から4番目のボタンです。

(3) 「エクスポートダイアログ」が表示されますので、「音声の圧縮」を選択（クリック）し、「OK」ボタンをクリックします。

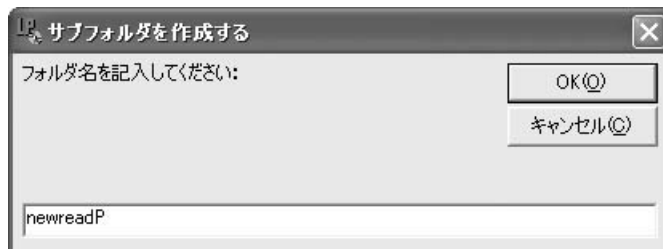


(4) 「プロジェクトのビルド」ダイアログが表示されます。「保存先パス」で、「daisy」フォルダを選択（ダブルクリック）し、「新しいフォルダの作成」ボタンをクリックします。



■ 必ずダブルクリックで選択します。

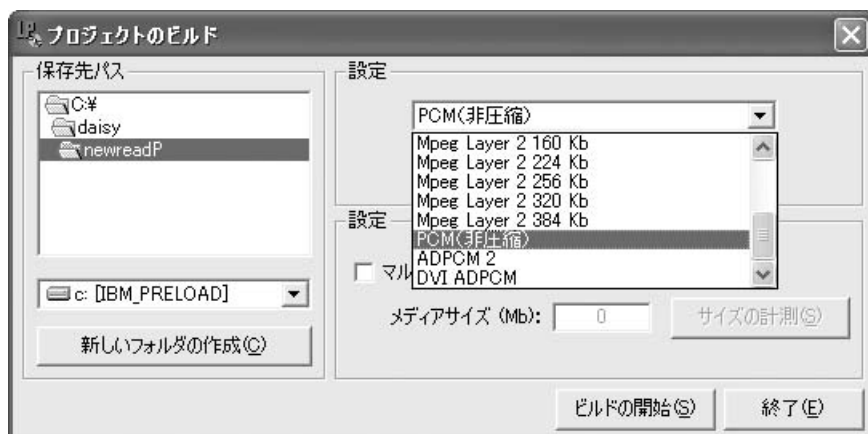
- (5) 「サブフォルダを作成する」ダイアログが表示されますので、「newreadP」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。



■ フォルダ名は半角英数でわかりやすい名前を付けます。「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）以外の記号は使わないようにします。

PCM（非圧縮）にビルドしますので、プロジェクトフォルダ名「newread」に「P」を付けました。

- (6) 「プロジェクトのビルド」ダイアログに戻ります。ダイアログ右上の「設定」で、プルダウンメニューの中から「PCM（非圧縮）」を選択（クリック）します。



■ PCM（非圧縮）

音声を圧縮せずにファイルの整理のみ行います。音質は悪くなりません。
1枚のCDで300分程度の録音時間です。

■ Mpeg Layer 2

音声を約1/7に圧縮します。(ビットレート48kbの場合) 音質は悪くなります。

ビットレートは32kb~160kbの間で選択してください。数値が大きいほど高音質ですが、圧縮率は低くなります。

音質にあまり影響を及ぼさずに長時間の音声を収録したい場合は、64kbを選ぶと良いでしょう。

■ ADPCM 2

音声を約1/4に圧縮します。音質は悪くなります。DAISY独自の音声フォーマットです。

再生プレイヤーによっては、音声再生できませんので、使用しないようにします。

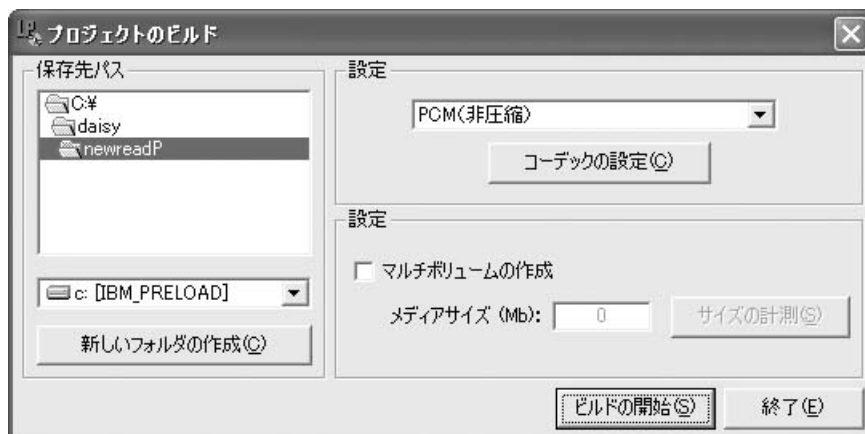
■ DVI ADPCM

音声を約1/4に圧縮します。音質は悪くなります。標準規格の音声フォーマットです。

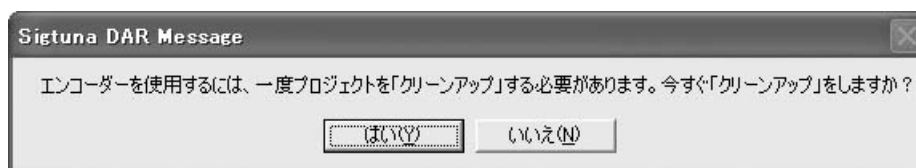
再生プレイヤーによっては、音声再生できませんので、使用しないようにします。

■MP3等の外部エンコーダーがあれば、「コーデックの設定」からインストールすることができます。

(7) 「ビルドの開始」 ボタンをクリックします。

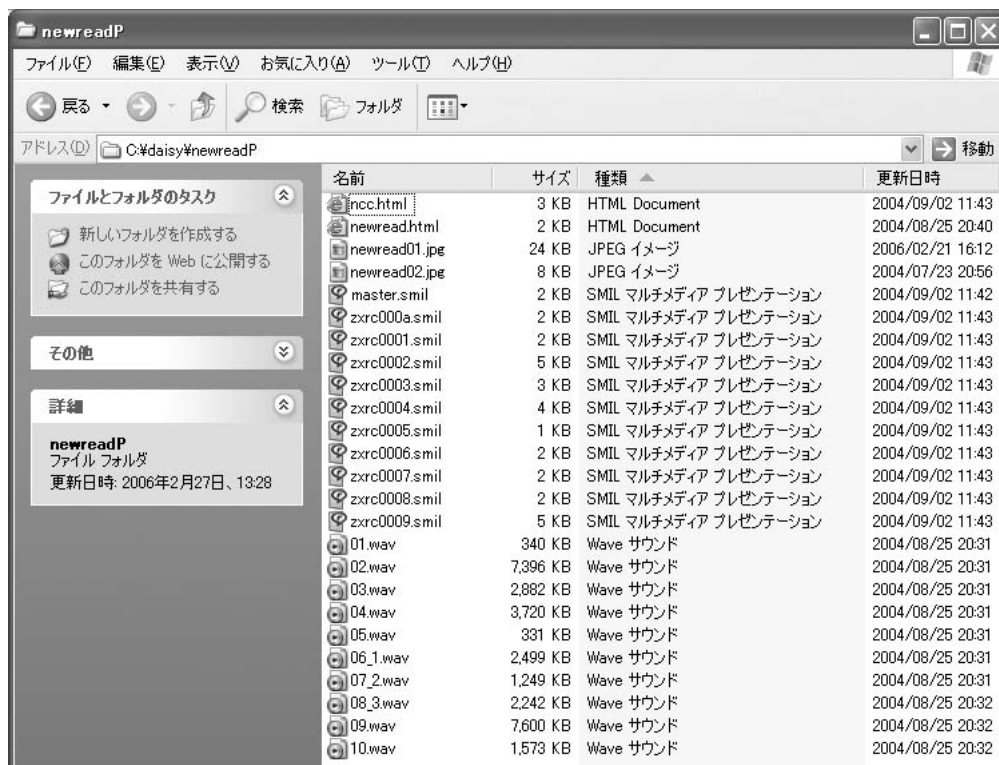


(8) 「クリーンアップ」の確認のダイアログが表示されますので、「はい」ボタンをクリックします。



(9) 「クリーンアップ」後、「エンコード中」ダイアログが表示され、「エンコード」が完了します。

(10) 「daisy」フォルダの「newreadP」フォルダの中のすべてのファイルをCD-Rに書き込み、配布用CDの完成です。



■ CD-Rへは、「JOLIET」、「MODE 1」で書き込みます。

■ 1枚のCDに複数のプロジェクトを書き込む場合は、「discinfo.html」ファイルを作成し、プロジェクトフォルダと一緒に書き込みます。

SigtunaCorrection マニュアル

—Windows7 で SigtunaDAR3 による不具合を修復する—

1. はじめに

本プログラムはフリーソフトですが、末尾の著作権に関する表示の内容に同意した上でご利用ください。

2. 本プログラムでできること

Internet Explorer の Version 8 以上がインストールされたパソコン (Windows 7 PC 等) で Daisy 図書作成ソフト “SigtunaDAR3.exe” (以下、“Sigtuna” と表記します) を用いると、プロジェクトに含まれるフォルダやファイルにいくつかの不具合が発生して、正常な図書が作成できません。

本プログラムは、このような環境下で “Sigtuna” により Daisy 図書を作成・編集した後に生じる不具合を修復するプログラムです。

本プログラムは、下記の問題に関する修正機能を持っています。

- (1) “Sigtuna” 実行後ならびにメタデータの入力・修正後に生じる、“ncc.html” ファイル中のページ番号の記述行 (“<span” で始まる行) でのタグの不正、および “<body>~</body>” 内のデータ消失。
- (2) ルビを付与した html ファイルから新規作成したプロジェクトを AMIS 等で再生すると、ルビの位置がずれたり、ルビを付与した漢字の後に不自然な空白が生じること。また、この時、書名タイトルにルビが付与されていると、タイトルの一部または全部がナビゲーションサイドバーに表示されないこと。
- (3) エクスポート実行後に、エクスポート先フォルダからページ分割された 2 ページ目以降に対応する html ファイルの消失、ならびにページ分割された 2 ページ目以降で使用される図の Jpeg ファイルの消失。

さらに、“Sigtuna” での編集作業の過程で本文のタイトルや見出し部分にルビが付与された場合にも、そのふりがなが “Sigtuna” のナビゲーションコントロールセンター画面および AMIS のナビゲーションサイドバーに表示されるようになります。

3. 使用にあたっての注意事項

- (1) 本プログラムは、必ずしも “Sigtuna” での作業終了後すぐに実行する必要はありませんが、“Sigtuna” で『書誌情報 (メタデータ) 入力処理』を行った後は、『エクスポート処理』を行う前に必ず本プログラムを実行して不具合を修復しておく必要があります。
ただし、“Sigtuna” で『書誌情報 (メタデータ) 入力処理』と『エクスポート処理』とを引き続いて行った場合はその限りではありません。
- (2) 『エクスポート処理』を行った後にも必ず本プログラムを実行して不具合を修復してください。

4. 実行に必要な要件

- ① .Net Framework 3.5 以上がインストールされていること (OS が Window 7 の場合、標準で .Net Framework 3.5 がインストールされています)。
- ② プロジェクトの本文テキストに対応する html ファイルにはエラーが含まれていないこと。また、プロジェクトのフォルダには使用されない html ファイルは含まれていないこと。
- ③ プロジェクトで使用される図のファイルは、プロジェクトのフォルダまたはそのサブフォルダ以下にまとめて格納されていること。

5. 準備作業

“SigtunaCorrection.zip” を任意のフォルダに解凍するだけで、インストール作業はありません。レジストリには登録されません。

6. 使用方法

(1) 起 動

“Sigtuna” でのプロジェクトの作成・編集作業が終わり、“Sigtuna” を終了させたら、5. で解凍したフォルダ中の “SigtunaCorrection.exe” をダブルクリックして起動します。

「開いているファイル-セキュリティの警告」の画面 (右図) が表示された場合には、「実行(R)」ボタンをクリックしてください。

(注)

この画面で「このファイル開く前に常に警告する(W)」のチェックを外すと、次回の起動からこの警告画面は表示されなくなります。

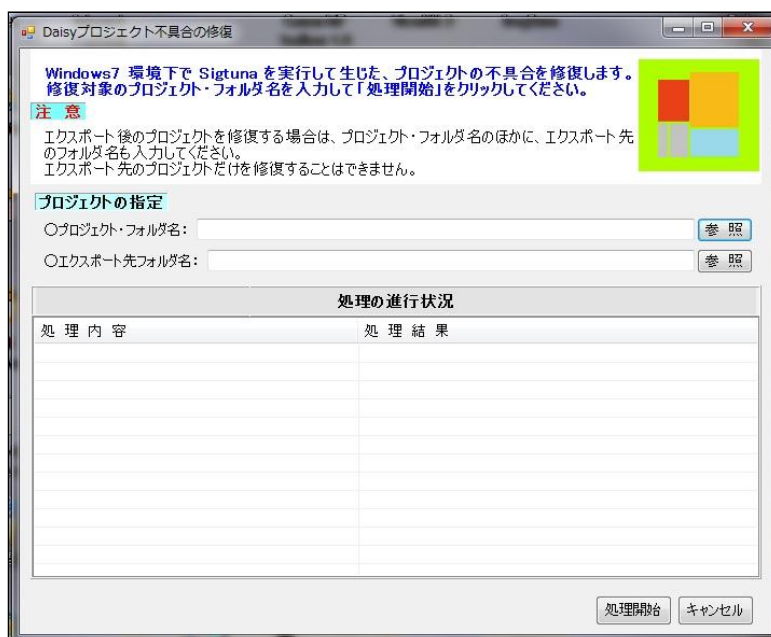


(2) 「Daisy プロジェクト不具合の修復」ダイアログ

- ① 「プロジェクト・フォルダ名」のテキストボックスに、修復対象のプロジェクト・フォルダ (“ncc.html” が含まれているフォルダ) 名を入力します。

“Sigtuna” で『エクスポート処理』を行った後で実行する場合は、「エクスポート先フォルダ名」のテキストボックスにエクスポート先のフォルダ名も入力します。

- ② 「処理開始」ボタンをクリックします。



修復処理が開始され、完了すると、「処理の進行状況」の欄にその結果が表示されます。

正常に修復されているのを確認したら、「終了」ボタンをクリックしてプログラムを終了させます。

ここで「キャンセル」ボタンをクリックすると、修復結果は廃棄され、プロジェクトは本プログラム実行前の状態（不具合の残る状態）に戻されます。

7. 著作権に関して

本プログラムはフリーソフトですが、著作権は所沢マルチメディアデイジーの正井良知が所有しています。

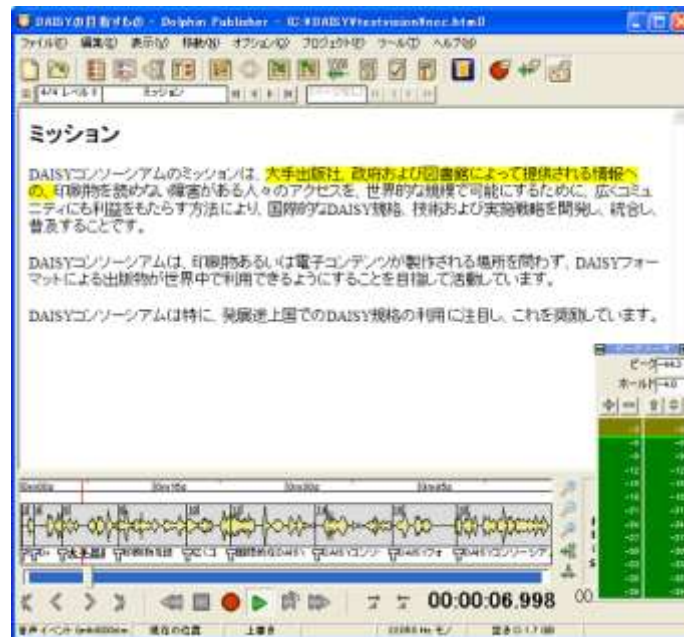
本プログラムの利用に関して生じたいかなる不具合や損害に対しても、著作権者は一切責任を負いません。

本プログラムの利用に関する質問には、著作権者の余力のある限り応じるつもりですが、サポートの義務は負いません。

また、本プログラムは通知なく改訂する場合があります

なお、第三者が本プログラムならびに付属する操作説明書を改変する場合は、著作権者の書面による許可を必要とします。

DolphinPublisherV3.03 を使用した DAISY 図書の製作手順(XHTML から)



DolphinPublisher の入手方法についてはこちらをご参照ください。

<http://blog.normanet.ne.jp/atdo/index.php?q=node/106>

目次



- 【1】新規プロジェクトの作成
- 【2】テキストの編集
- 【3】画像の挿入
- 【4】センテンスの編集
- 【5】見出しの編集
- 【6】ページの編集
- 【7】録音
- 【8】メタデータ(書誌情報)の入力
- 【9】ビルドブック

- 【付録】
- 【1】HTML ファイルを分けたい場合
- 【2】音声インポート
- 【3】音声をテキストにシンクロ
- 【4】スタイルシートの適用
- 【5】メイン画面でページを編集
- 【6】TTS 音声のシンクロ
- 【7】プロジェクトの結合
- 【8】Dolphin Publisher でよく使うショートカットキー
- 【9】Dolphin Publisher でよく使うアイコン
- 【10】DolphinPublisher3.03 の既知の問題とその回避方法

【1】 新規プロジェクトの作成

1. Dolphin Publisher を起動します。



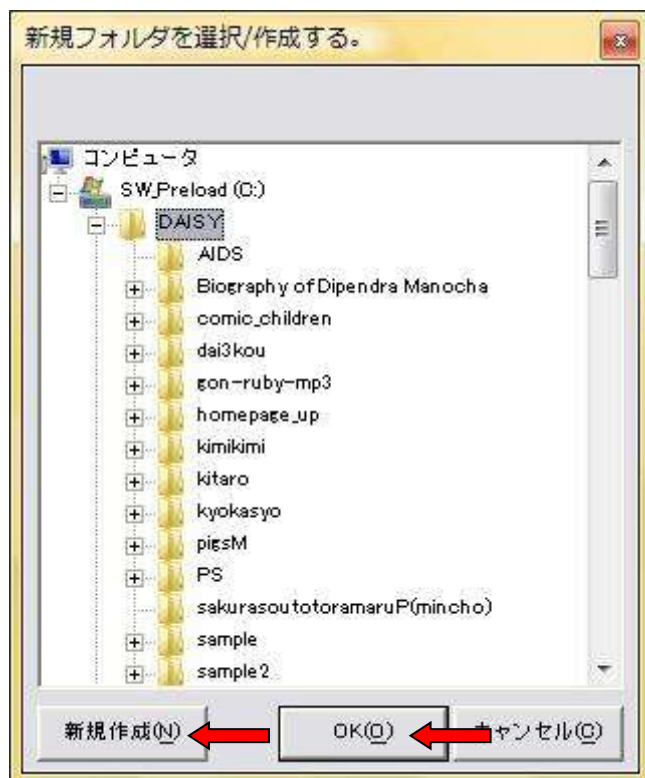
2. 「新規作成」の「シンプルプロジェクト」を選択します。



3. 「新規プロジェクト作成ウィザード」が開きます。

(1)「プロジェクトタイトル」に、タイトルを入力します。(日本語の場合は日本語で入力)

(2)次に保存先フォルダを作成します。「フォルダを選択」ボタンを選択して、「新規フォルダを選択/作成する。」ウィンドウを開き、フォルダを作成します。ここでは、DAISY フォルダの中に、「新規作成」で新しいフォルダを作成して、半角英数のフォルダ名を付けます。作成できたら「OK」をクリックします。(おススメは、CまたはDドライブの直下に DAISY フォルダを作り、その中に各図書のフォルダを作る方法です。)



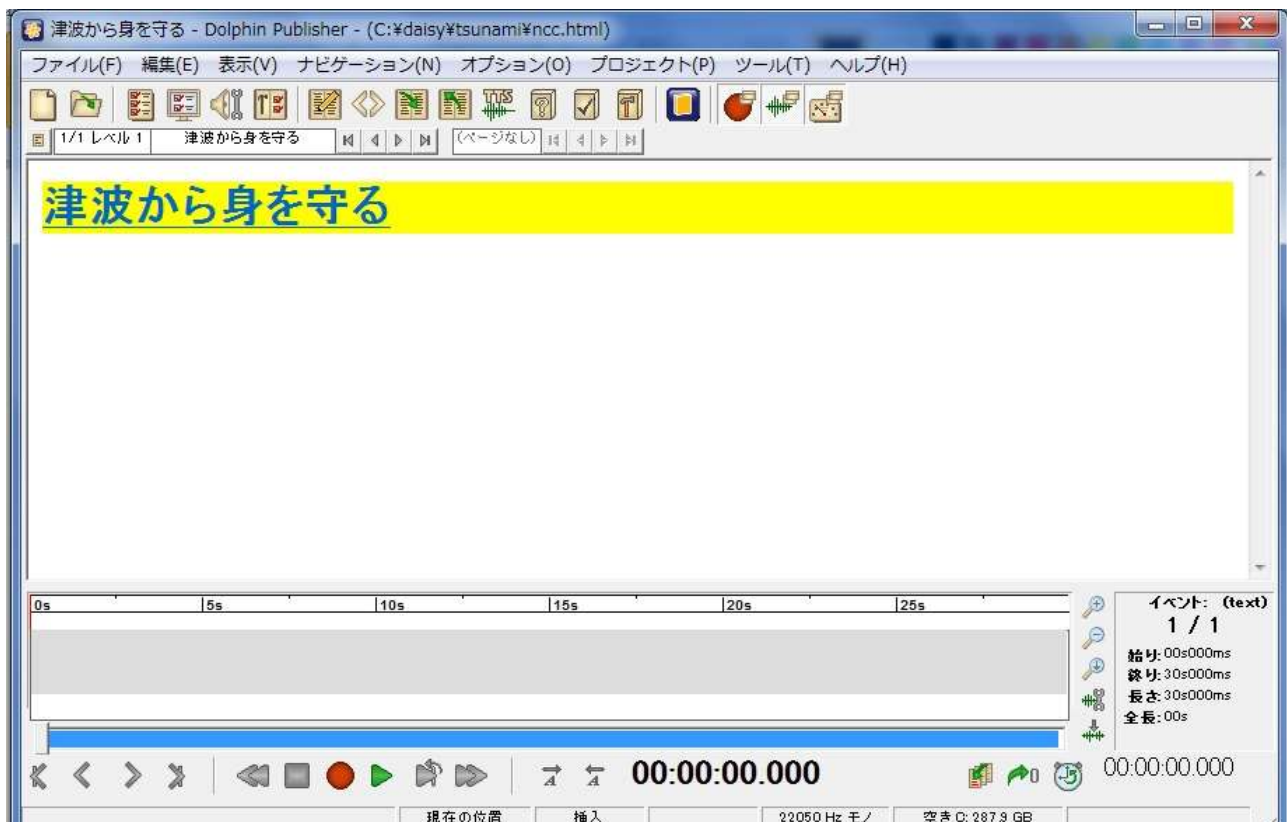
Tips

フォルダのパス名に日本語があると、トラブルが起こる可能性があるため、パス名は半角英数にします。

(3) タイトルと保存先フォルダの設定ができれば「作成」を選択します。



(4) メイン画面が開きます。

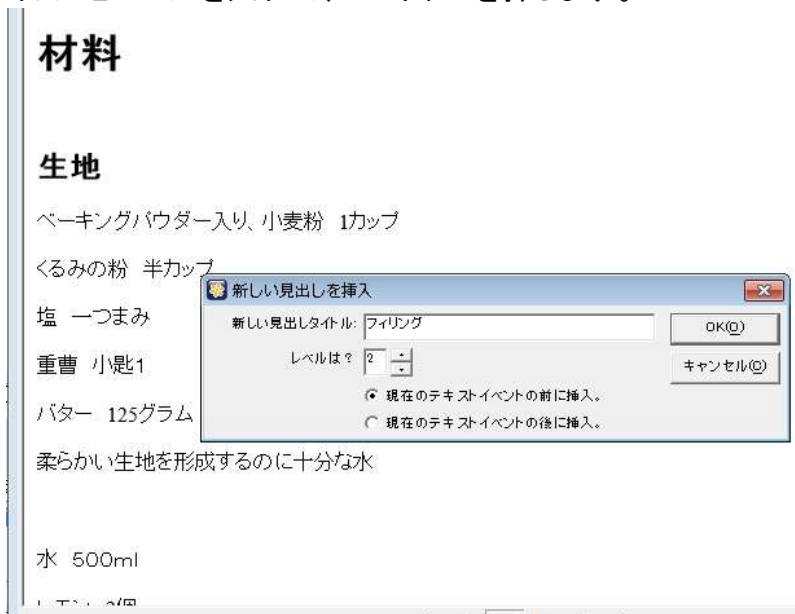


Tips

重要な編集の後などで、バックアップをしておきます。後で、バックアップを作った時点に戻すことができます。バックアップの方法は、「編集」メニューから、「セッションバックアップ」>「バックアップの作成」を選択します。

【2】 テキストの編集

1. 「表示」メニューから「HTML の編集」(F6)を選択して、「HTML 編集」画面を開きます。
2. 「ソース文書を作成」のメッセージが表示されたら、「OK」を選択します。
「HTML エディタを選択」のメッセージが表示されるので、「Publisher の HTML エディタ」にチェックが入った状態で「OK」を選択して、HTML 編集画面を開きます。
この画面で、テキストの入力・削除・編集、プレーンテキスト(メモ帳など)からのコピーができます。
3. 「ここにテキストを追加してください。」というテキストを削除して、カーソルが新しい行の先頭に来ていることを確認し、テキストを入力します。
4. 見出しを挿入したい箇所にカーソルを合わせて(この時、他の見出しにハイライトがないことを確認します。), 「フォーマット」メニューの「新しい見出しを挿入」(Ctrl + Shift + N)を選択します。タイトルとレベルを入れて、OK ボタンを押します。




Tips1 HTML 編集画面での編集は自動的に保存されません。こまめに「ファイル」メニューの「保存」(Ctrl + S)をして、保存したところまで戻れるようにしておくとお安心です。

Tips2 もとの文書がプレーンテキスト(メモ帳など)でない場合は、テキストを一度プレーンテキスト(メモ帳など)にペーストして、文字コード utf-8 で保存し、そこからテキストをコピーすることを推奨します。ワード等から直接コピーすると目に見えない不要な情報が入ってしまう可能性があります。
メモ帳に貼り付けた際の改行が入ってしまう場合は、メモ帳の「書式」メニューの「右端で折り返す」のチェックをはずすとなおります。

Tips3 ・太字, 斜体, 下線等の文字への装飾をした状態で HTML 編集を行うとトラブルが起こりやすくなります。太字, 斜体, 下線等の文字への装飾は、センテンスの編集が完了した後に、追加するようにします。装飾後にセンテンスを編集する必要が生じた場合は、文字への装飾を解除してから編集するとトラブルを回避できます。
・縦書きのコンテンツは、Publisher で編集する際は横書きで行い、図書が完成した後に縦書きのスタイルシートを入れるようにします。
・テキストと画像が横に並んでいるときにもフリーズしやすい場合があります。テキストの後に Enter で改行を入れてから画像を入れることで、画像の周辺での問題を回避できます。

【3】 画像の挿入

1. HTML 編集画面で、画像を挿入したい位置にカーソルを合わせます。
2. 「ツール」メニューの「画像を挿入」(Ctrl + Shift + Insert)を選択するか、上方左から5つ目のアイコン  をクリックすると、画像挿入のためのウィンドウが開きます。画像のあるフォルダを開くと、右側の画面に画像が表示されますので、画像の名前をクリックします。確認メッセージが出てきたら、「はい」を選択します。



Tips1

画像表示に時間がかかる場合は、「これ以上サイズが大きい画像を表示しない」にチェックを入れます。

Tips2

半角英数名のディレクトリに入れておくと、「画像を挿入」を選択した時に、前回と同じフォルダが自動的に開きます。複数の画像を挿入するときはそうしておく便利です。

3. 次に、Altテキストを入力するためのウィンドウが表示されるので、画像の代替となる簡単な説明を入力します。
4. 画像に音声をシンクロさせる場合は、画像も文句にします。画像の上でワンクリックして、画像の枠をハイライトさせ、「ツール」メニューの「文句を作成」(F4)を選択します。



5. ここまでできたら、メイン画面でバックアップをとっておくと安心です。

【4】 センテンスの編集

1. まず、メイン画面で、センテンスの自動検知をするための設定を確認します。


(1)「オプション」メニューから「一般」(Ctrl + G)を選択します。

(2)「マークアップ」タブを選択します。

(3)「マークアップの設定」のプルダウンメニューで、default を選択すれば、「。」でセンテンスが自動検知されます。

2. 「表示」メニューの「HTML の編集」を開きます。

「ツール」メニューから「新しいセンテンスの自動検知」(Ctrl + Return)を選択するか、上方左から

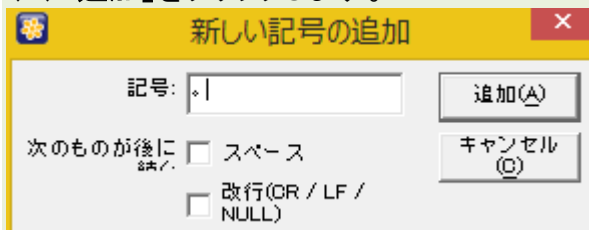
3つ目のアイコン  をクリックして、センテンスを検知します。

Tips

「。」以外の場所でセンテンスを切りたい場合は、「オプション」メニューの「一般」(Ctrl + G)の「マークアップ」タブで、「追加」ボタンを選択して、「新しい記号の追加」画面を開きます。

(1)「記号」欄に登録したい記号を入力して、登録した記号の後にスペースや改行がなくてもセンテンスを切りたい場合は「次のものが後に続く」の「スペース」と「改行」のチェックをはずします。

(2)「追加」をクリックします。

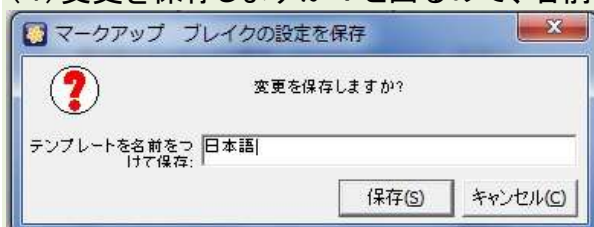


(3)追加されたのを確認できたら、「OK」を選択します。




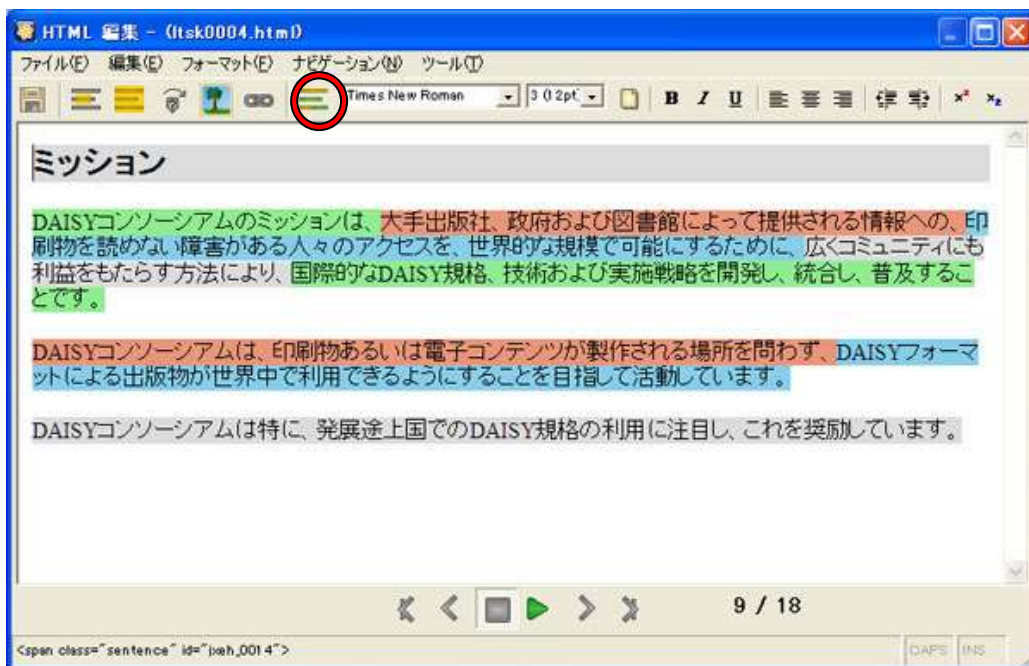
#	文字や記号	スペース	改行
1	.	no	no
2	!	yes	yes

(4)変更を保存しますか？と出るので、名前を付けて「保存」します。

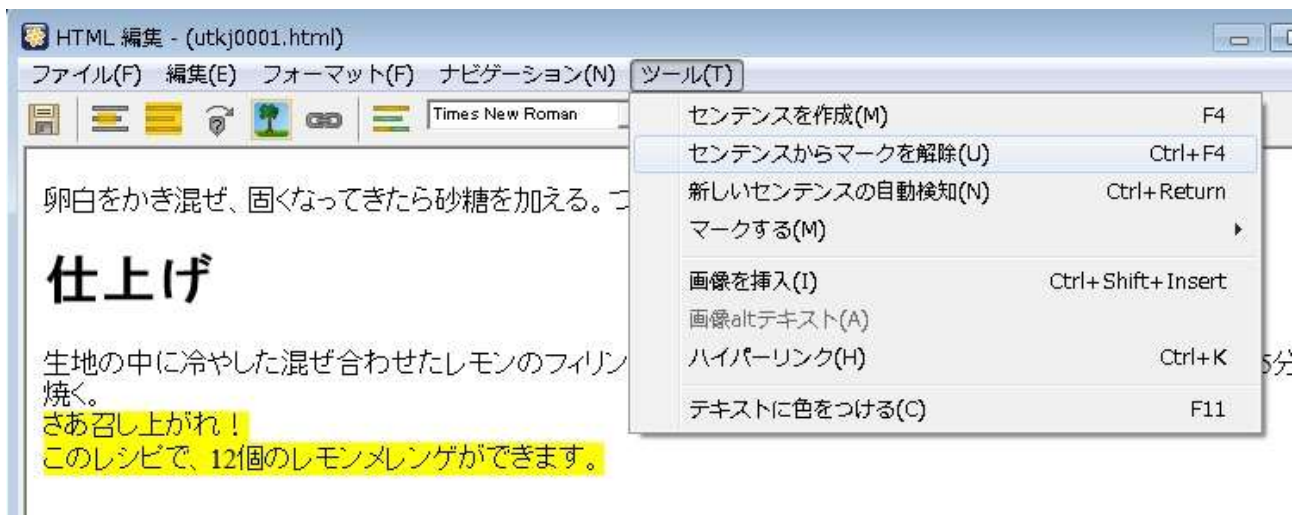


3. センテンスの確認

「ツール」メニューの「テキストに色をつける」(F11) を選択するか、上方左から7つ目のアイコン をクリックして、センテンスの確認をします。









4. センテンスの長さを変更したい場合は、まず、センテンスをクリックして、ハイライトがついた状態で、「ツール」メニューの「センテンスからマークを解除」(Ctrl+F4)を選択します。その後、センテンスにしたいテキストを選択して、「ツール」メニューの「センテンスを作成」(F4)を選択します。



5. センテンスの編集が終わったら、HTML 編集画面を閉じます。「ファイル」メニューの「終了」を選択し、「変更を保存しますか？」というメッセージで「はい」を選択します。

【5】 見出しの編集

1. メイン画面で、見出しのセンテンスを選択します。
2. 「編集」メニューから「現在の場所を見出しに追加」(Ctrl + Shift + S)を選択します。
3. 「見出しナビゲーションポイントを作成しますか」という確認メッセージが出るので、「はい」を選択します。
4. 「文書に新しい見出しのためのテキストを挿入しますか？」という確認メッセージが出るので、「いいえ」を選択します。見出し編集画面に新しい見出しが追加されます。
5. 見出しのテキストの編集、レベル(階層構造)の編集をします。
見出しを選択して、F2 キーをおすと、テキストを編集できます。
「見出し(ToC)の編集」ウィンドウ の上方の、左右の矢印のボタン   (Ctrl + 左右矢印)で、見出しのレベル(階層)の編集、上下の矢印のボタン   (Ctrl + 上下矢印)で見出しの順序の編集ができます。
また、×印のボタン  (delete)で見出しの削除、+印のボタン  (Ctrl + Shift + J)で見出しの結合ができます。



【6】 ページの編集

HTML 編集画面を開き、

1. ページ番号をセンテンスにします。
2. ページ番号のセンテンスを選択し、「ツール」メニューの「マークする」→「ページブレイク」→「ページノーマル」を選択します。


【7】 録音

テキストと画像の編集が終わったら、次に録音をします。それぞれのセンテンスに、音声をシンクロさせていきます。

1. マイクを接続します。

2. 録音設定をします。

(1)「表示」メニューから「ロールアップウィンドウ」の「録音」を選択するか、

上方右から3つ目のアイコン  をクリックしてして「録音」ウィンドウを開きます。

(2)「上書き」を選択(後で間違ったところを録音しなおす場合は「挿入」)

(3)「フレーズ検知」は「OFF」

(4)「録音待機」は「OFF」

3. キャリブレーションをします。

「キャリブレーション」を選択して、「音声のキャリブレーション」ダイアログを表示します。



(1)ステップ 1 -サウンドボード

(a)「録音のデバイス」のプルダウンメニューで、使用しているサウンドボードが選択されていることを確認します。(使用するサウンドボードが表示されない場合は、ソフトを再起動してください。)

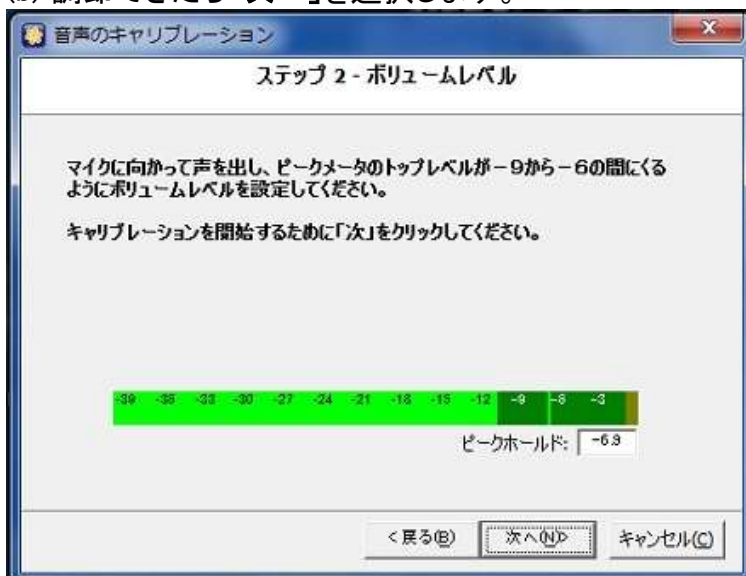
(b)「Windows ボリュームコントロール」 ボタンをクリックして、録音コントロールを表示させます。

(c)「次へ」を選択します。

(2)ステップ 2 - ボリュームレベル

(a) 録音する予定のテキストを読んでみます。緑色のピークメーターが動くので、ピークが-9から-3になるよう、録音コントロールでボリュームの調節をします。

(b) 調節できたら「次へ」を選択します。



(3)ステップ 3 - 音声のキャリブレーション


雑音レベルをはかるので、キャリブレーションが終了するまで声を出さずに 10 秒間待ちます。


(4)ステップ 4 - 結果

キャリブレーションが完了したら、「終了」を選択してメイン画面に戻ります。

4. 録音を始めます。


(1)「表示」メニュー「ロールアップウィンドウ」の「ピークメータ」を選択するか、上方


一番右のアイコン  をクリックして、ピークメータを表示させます。ボリュームの確認をしながら録音をします。

ボタン  でピークメータの種類を変更できます。



(2) 音声を録音したいセンテンスを選択してハイライトさせます。

(3) 画面下方の録音ボタン  (Ctrl + F5) をクリックして、録音を開始します。録音が始まると、次

のテキストへ移動するボタン  (Ctrl + Enter) が表示されるので、クリックして次々とテキストを移動しながら録音を進めます。

録音をとめるときは、停止ボタン  (スペースバー) をクリックします。

5. 音声の編集


(1) 間違った部分等、削除したい音がある場合は、画面下方の音声の波形から、削除したい部分を選択して、右クリックで「削除」を選択するか、(delete)キーで削除します。コピー、貼り付け、切り取り等もできます。

(2) 録音をやり直したい場合は、「録音」ウィンドウの一番上の録音の設定を、「挿入」にして、録音したいテキストを選択して、録音の挿入をします。いらなくなった音声は削除します。



Tips1

新しい図書に録音をする際は、「上書き」設定になっていないと、次のセンテンスへ移動できません。「挿入」にした後に「上書き」に直すのを忘れやすいので注意します。

Tips2

音声を早送りするには、「早送り」ボタン  をクリックします。再生速度の変更は、「オプション」メニューの「一般」の「再生」タブで変更できます。

【8】 メタデータ(書誌情報)の入力

1. 「プロジェクト」メニューから「メタデータの編集」(Ctrl + M)を選択して、「メタデータ」ウィンドウを開きます。
2. それぞれの項目に情報を入力します。項目の上でダブルクリックすると入力できます。「必須」のアイコン  が表示されている必須項目は、必ず入力します。「推奨」のアイコン  が表示されている推奨項目は、入力することが推奨されています。

* 必須項目の入力内容の詳細

ダブリンコアタブ

Publisher: DAISY を出版する団体

Date: 出版日(スキーマにそって入力 例:2005-08-23)

Identifier: 各図書に固有の ID

Language: プロジェクトに使用した言語(日本語は Japanese[ja])

Creator: 原本の著者

NCC タブ (忘れやすいので注意!)

Narrator: 録音者

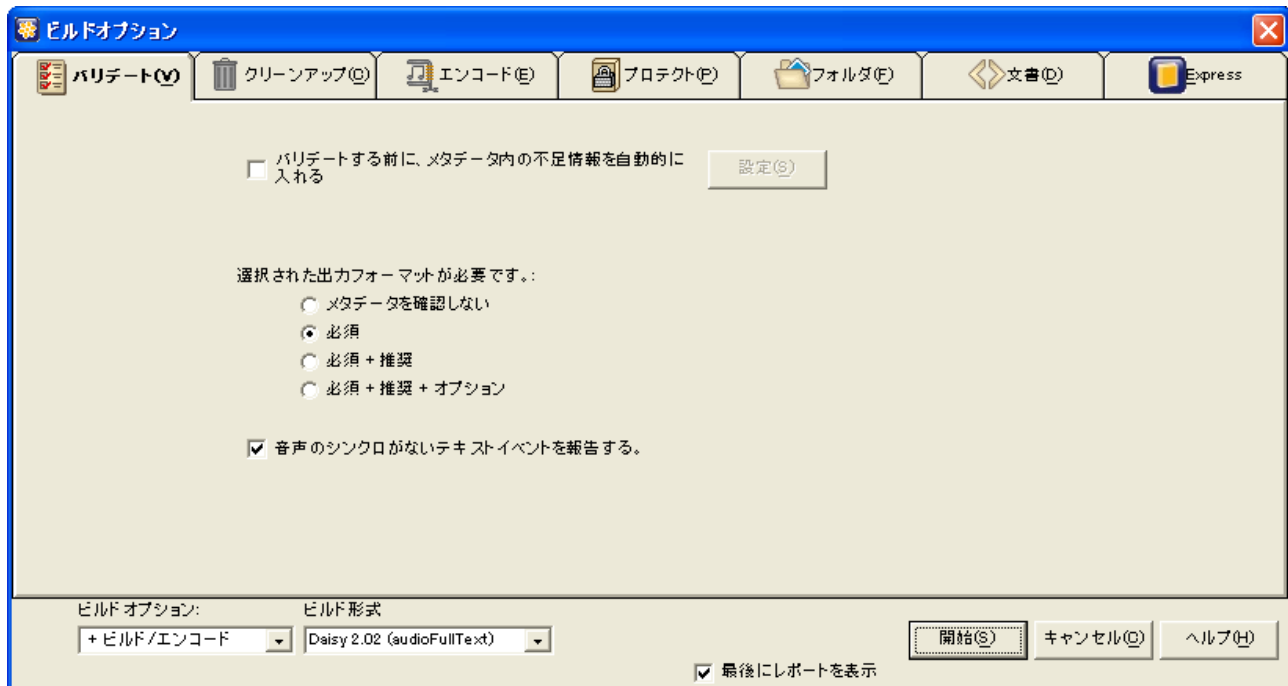


3. 入力が終わったら「OK」を選択します。

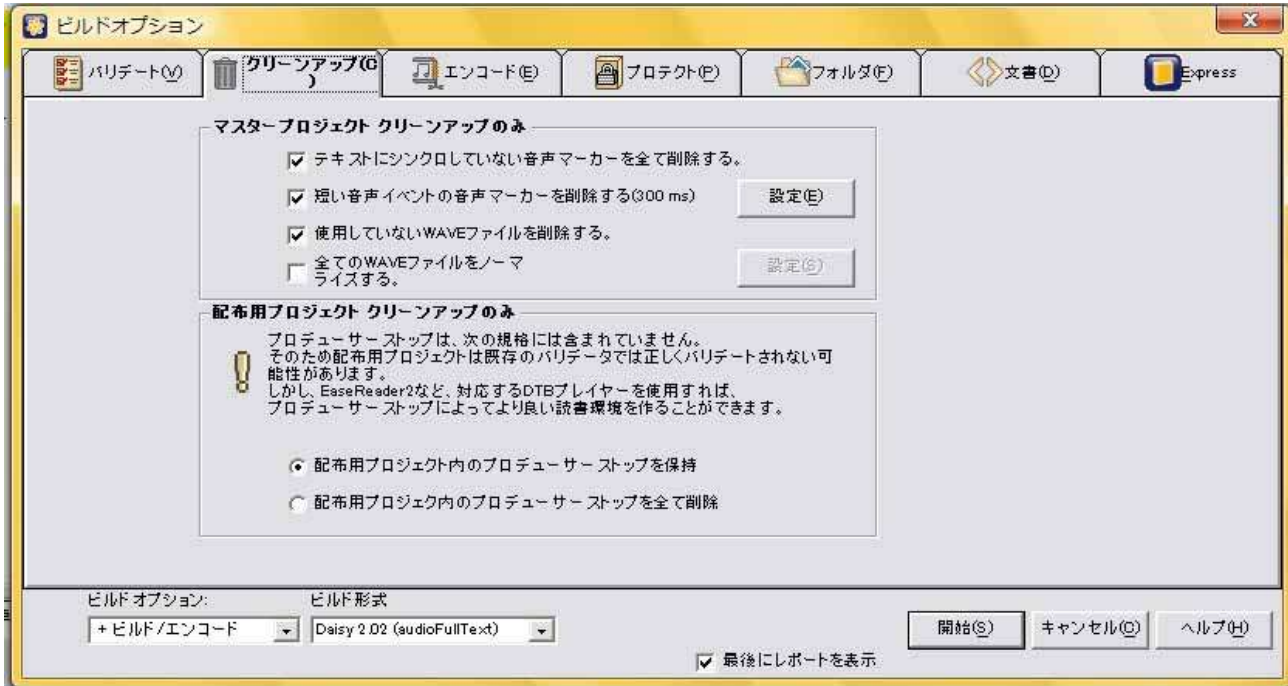
【9】 ビルドブック

1. 最後に、プロジェクトが DAISY 規格にあってるか確認をして、ビルドブックをします。
「プロジェクト」メニューから、「ビルドプロジェクト」(F9)を選択して、「ビルドオプション」ウインドウを表示します。

(1)バリデートタブでは、
「音声のシンクロがないテキストイベントを報告する」にチェックを入れておくと、テキストが重複している個所があれば知らせてくれます。



(2)「クリーンアップ」のタブでは、
 「テキストにシンクロしていない音声マーカをすべて削除する」
 「短い音声イベントの音声マーカを削除する」
 「使用していない WAVE ファイルを削除する」
 の3つにチェックを入れます。



(3)「エンコード」のタブでは、エンコードをしない場合は、「圧縮なし」にチェックを入れます。エンコードする場合は、設定をしてください。



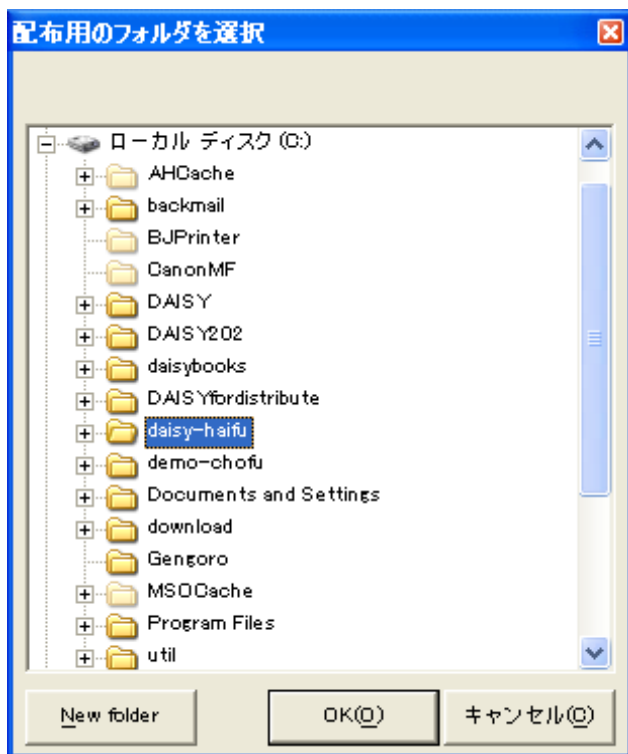
(4) 「フォルダ」タブでは、ビルドしたプロジェクトの保存先を設定します。

(a) 「特定のパス」にチェックを入れて、「参照」ボタンをクリックします。

(b) 「配布用のフォルダを選択」画面が出るので、出来上がった図書を入れるフォルダを選択します。(おすすめは、CまたはDドライブの直下に「new folder」ボタンをクリックして、保存用フォルダ「daisy-haifu」を作成し、その中に各図書を出力する方法です。)

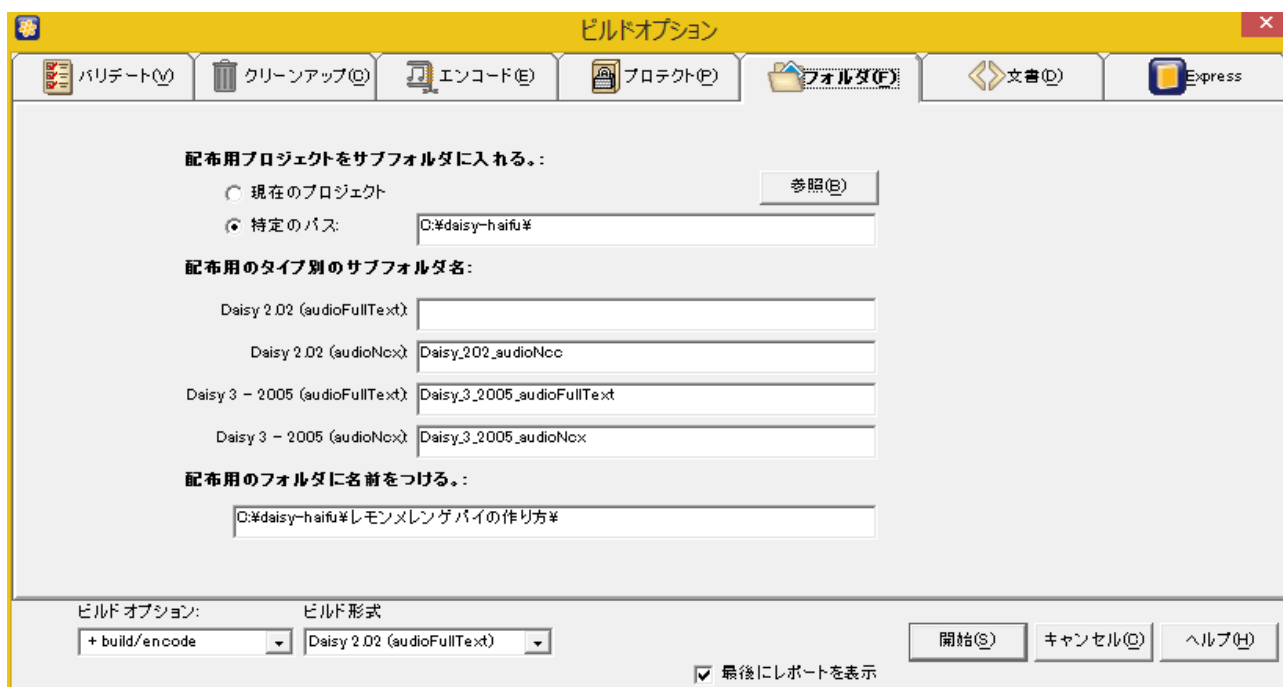
Tips

フォルダ名は、すべて半角英数名にすることをお勧めします。Dolphin Publisher で開くときに、パス名に全角の文字が入っていると、開けません。



(c) 「OK」ボタンをクリックします。

(d) 「配布用のタイプ別のサブフォルダ名」の「DAISY2.02 (audioFullText)」の欄を空欄にしておくと、タイトル名のフォルダができます。



(5)スタイルシートを入れる場合は、「文書」タブを開いて、「全ての文書ファイルにスタイルシートを適用」にチェックを入れて、「Brows」ボタンを押して、入れたいスタイルシートを選択します。



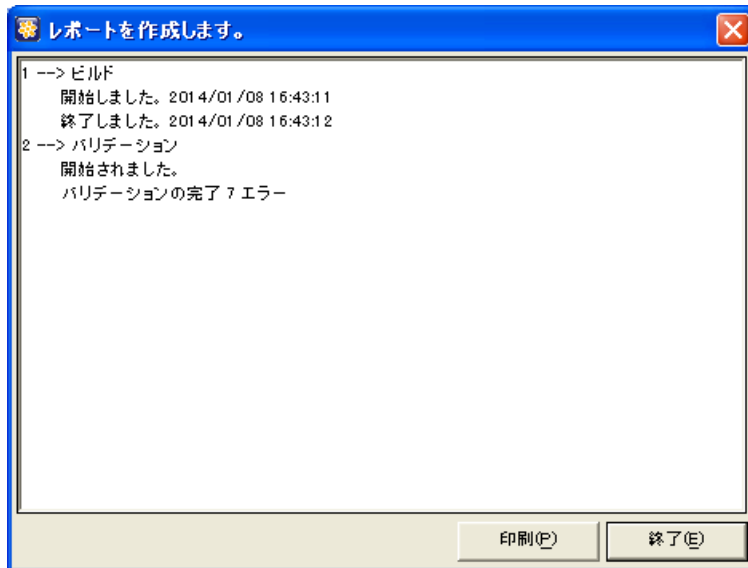
(6)EasyReader Express を付加する場合は、「Express」タブを開いて、「はい(Y)EasyReader Express を DTB に追加する」にチェックを入れます。ユーザー名とパスワードを入力します。



2. すべての設定が終わったら、「開始」を選択します。

3. エラーがなければ、完成です！

エラーがあれば、メッセージが出ますので、「終了」ボタンを押して、「バリデーションレポート」でエラーを確認して、修正し、再度、ビルド「開始」を選択します。

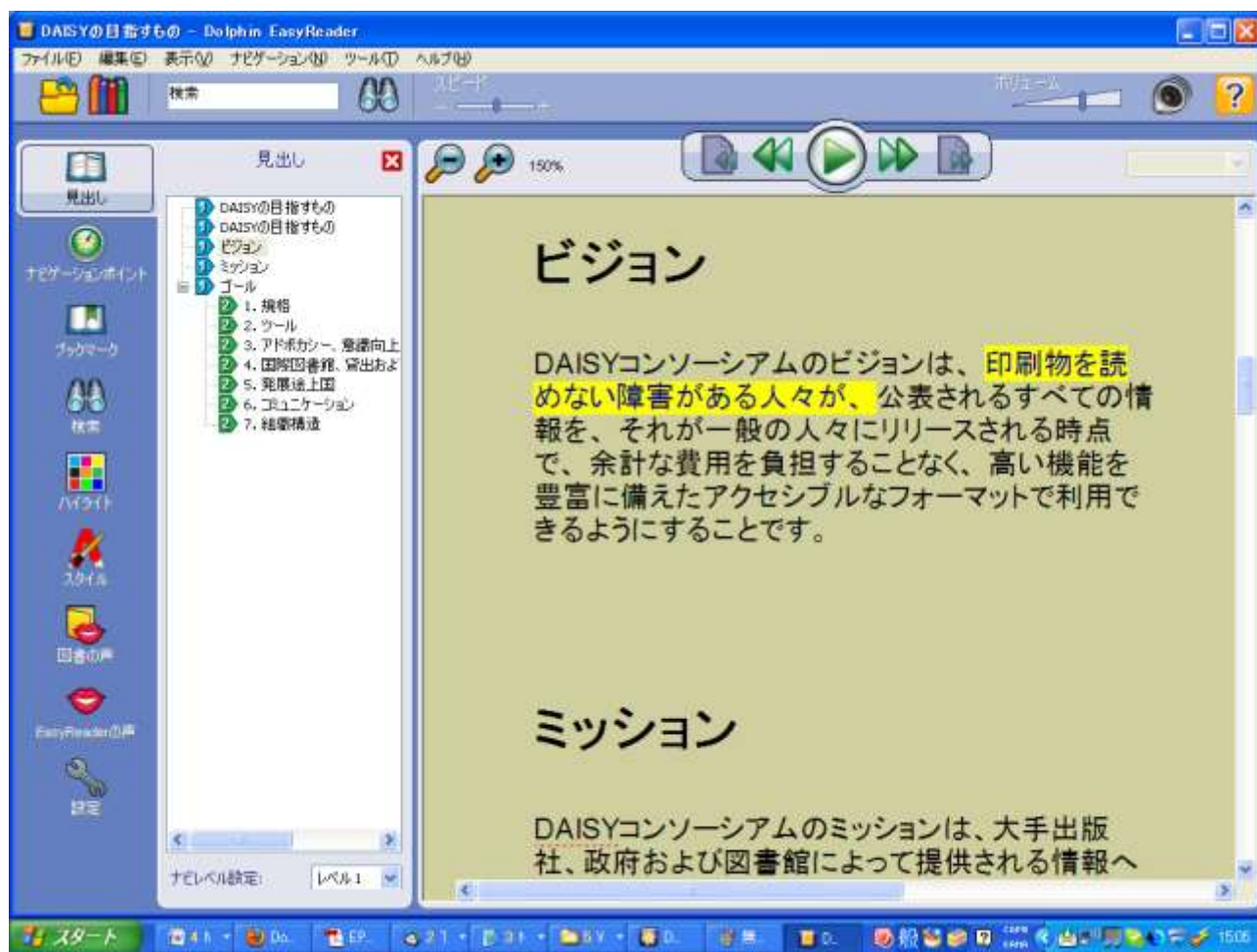


Tips

「バリデーションレポート」ウィンドウで、エラーメッセージを選択し、左上の「検索する」アイコンをクリックすると、エラーの種類によっては、エラー箇所を表示します。



DAISY 図書が完成したら、いろいろな再生ツールで再生を確認してみましょう！




【付録】

【1】HTML ファイルを分けたい場合

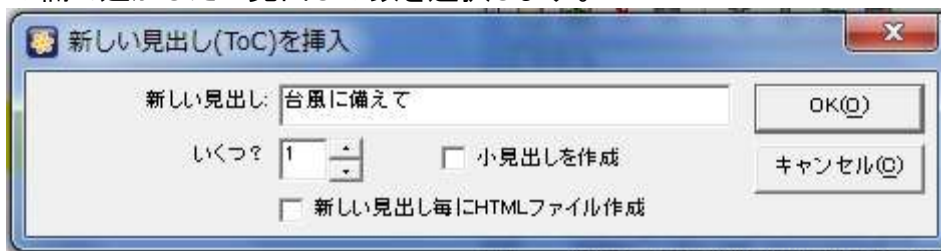
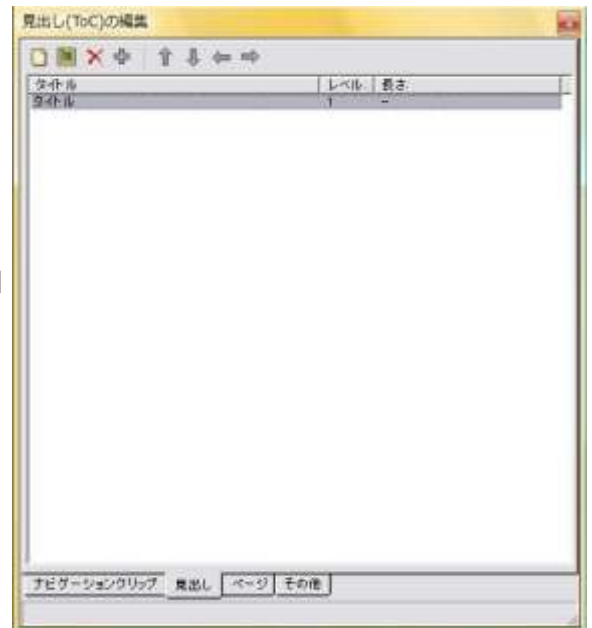
先に「見出しの編集画面」で見出しを作成してから、見出しごとに HTML ファイルを作成し、その後、HTML 編集画面でテキストの追加と編集を行います。手順は次の通りです。

1. 見出しの追加

(1)「表示」メニューから、「見出し編集画面を開く」(F4)を選択して「見出し(ToC)の編集」画面を開きます。





(2)新しい見出しを追加するため、「見出し(ToC)の編集」画面の上方の一番左のアイコン  「新しい見出しを追加」(Ctrl + Shift + N)をクリックして、「新しい見出し(ToC)を挿入」ダイアログを開きます。



(3)「新しい見出し:」に見出しのテキストを入力します。複数の見出しをまとめて追加したい場合は、「いくつ?」の欄で追加したい見出しの数を選択します。



2. 見出しのテキストの編集、レベル(階層構造)の編集

見出しを選択して、F2 キーをおすと、テキストを編集できます。

「見出し(ToC)の編集」画面の上方の、左右の矢印ボタン   (Ctrl+左右矢印)で、見出しのレベル(階層)の編集、上下の矢印ボタン   (Ctrl+上下矢印)で見出しの順序の編集ができます。

また、×印のボタン  (delete)で見出しの削除、+印のボタン  (Ctrl + Shift + J)で見出しの結合ができます。

3. 見出しごとの XHTML ファイルの作成

「見出し(ToC)の編集」画面で、新規追加した見出しをダブルクリックします。


メイン画面の「ツール」メニューから「HTML ファイルの作成」、「すべての音声のみの見出し」>「見出しごとに HTML を作成」を選択します。


4. テキストの編集


「見出し(ToC)の編集」画面で、テキストを編集したい見出しをダブルクリックします。「表示」メニューから「HTML の編集」(F6)を選択して、「HTML 編集」画面を開き、テキストの追加と編集を行います。

【2】音声インポート

1. 音声をインポートする見出しを選択しておきます。
2. 「プロジェクト」メニューの「インポート」の「音声ファイルのインポート」を選択して、「音声のインポート」ダイアログを開きます。

3. 「音声ファイルをインポートリストに追加する」アイコンをクリックし、インポートしたい音声ファイルを選択します。

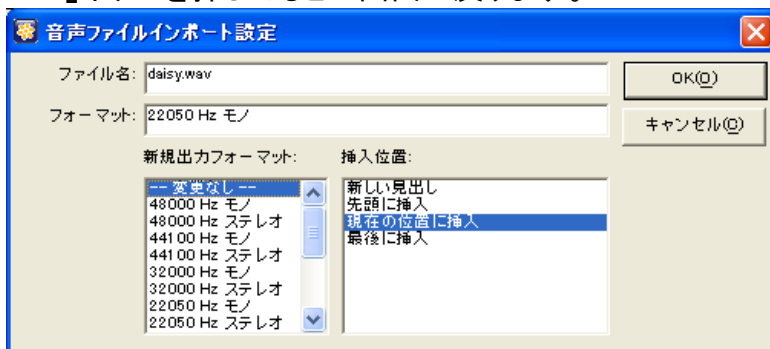
音声が入っているか確認したい場合は、画面下方の再生ボタンをクリックして確認します。

4. 音声フォーマットや挿入位置を変更する場合は「音声ファイルのインポート設定を調節する」アイコンをクリックします。

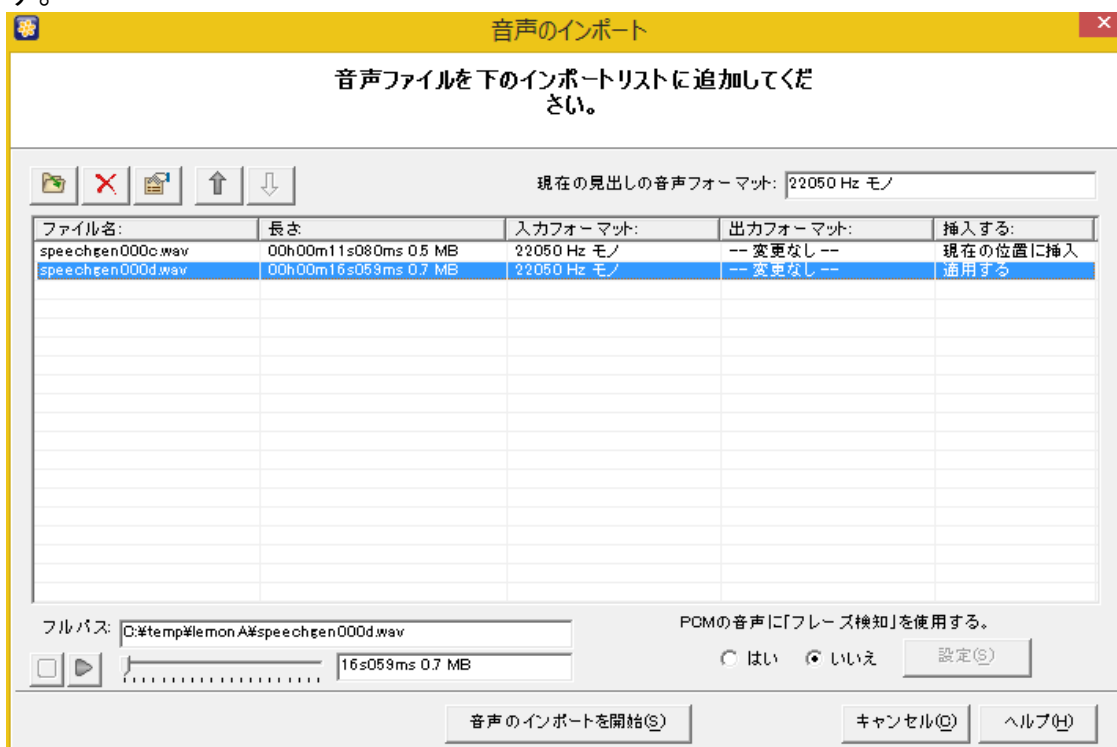
現在選択している見出しに音声をインポートする場合は挿入位置で「現在の位置に挿入」を選択します。

MP3 等に圧縮された音声をインポートする場合は新規出力フォーマットで「22050Hz モノ」等を選択します。MP3 の場合は「変更なし」が選択されていると WAVE に変換されず、インポートできません。

「OK」ボタンを押してもとの画面に戻ります。





5. 「PCM の音声に「フレーズ検知」を使用する」で「いいえ」のチェックボックスにチェックを入れます。



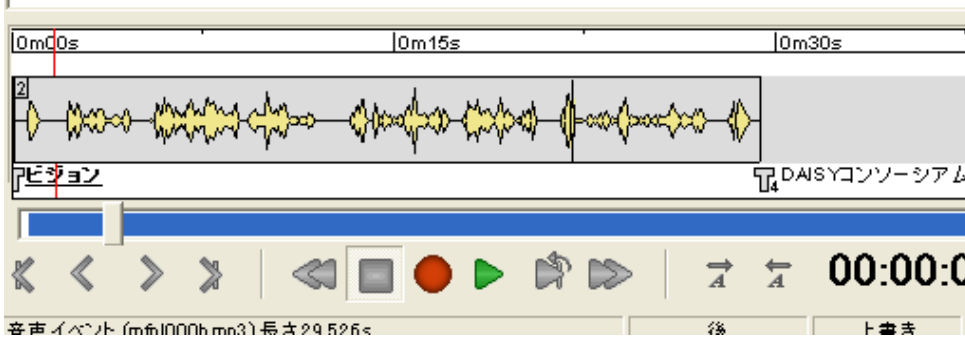
6. 「音声のインポートを開始」ボタンをクリックします。

Tips


見出しごとに音声ファイルをインポートする方法もありますが、複数の音声ファイルを一度にインポートしたい場合は、「音声ファイルを選択する。」画面で、Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら、インポートしたい音声ファイルをすべて選択して、「開く」をクリックすれば、「音声のインポート」画面のリストに選択された複数の音声ファイルが入ります。既存の設定では、音声ファイルごとに新しい見出しができますが、「音声ファイルのインポート設定を調節する」ボタン  で、挿入位置で「適用する」を選択すると、現在選択されている見出しに複数の音声ファイルを一度にインポートできます。音声ファイルの順番は、「選択した音声ファイルの移動」ボタン  で移動できます。

【3】音声をテキストにシンクロ

インポートした直後は、下図のように、最初のテキストイベントの後に音声イベントがあり、最後に複数のテキストイベントが固まっている状態です。各音声イベントに、テキストイベントをシンクロしていきます。



1. まず、音声を再生して確認しながら、最初のセンテンスの音声が終わった位置で停止します（またはその位置をクリックして波形の上下に赤い傍線が出た状態にします）。

2. 次に、「一つ後のテキストを現在の位置に移動」ボタン  をクリックして、テキストを移動します。




3. この作業を繰り返して、すべてのテキストイベントを音声にシンクロさせます。

Tips1

「オプション」メニューの「編集モード」で「現在の位置」が選択されていることを確認します。

Tips2

慣れてくると、再生したまま、シンクロしたい位置で「一つ後のテキストを現在の位置に移動」ボタン  をクリックして、どんどんテキストを移動できるようになります。

Tips3


シンクロは見出しごとにおこなうので、1つの音声ファイルに複数の見出しの音声が入っている場合は、見出し内のテキストのシンクロが終わったら、音声の波形を次の見出しの始まりで分割して、切り取り、次の見出しに音声を貼り付け、シンクロ作業を続けます。手順は次の通りです。

1. 見出し内のテキストのシンクロが終わったら、次の見出しの始まりをクリックし、右クリックで「音声マーカーの挿入」(Ctrl + S)。
2. 次の見出しの音声波形の上でダブルクリックしてハイライトした状態で、右クリックして、「切り取り」(Ctrl + X)。



3. 見出し編集画面で次の見出しをダブルクリックして、切り取った音声を貼り付け(右クリックで貼り付けまたは、Ctrl + V)。
4. シンクロ作業を続ける。

Tips4

画面下の早送りボタン  (右 Ctrl + V) で、音声の早送りができます。シンクロ作業をするときに早送りにすると効率よく作業ができます。

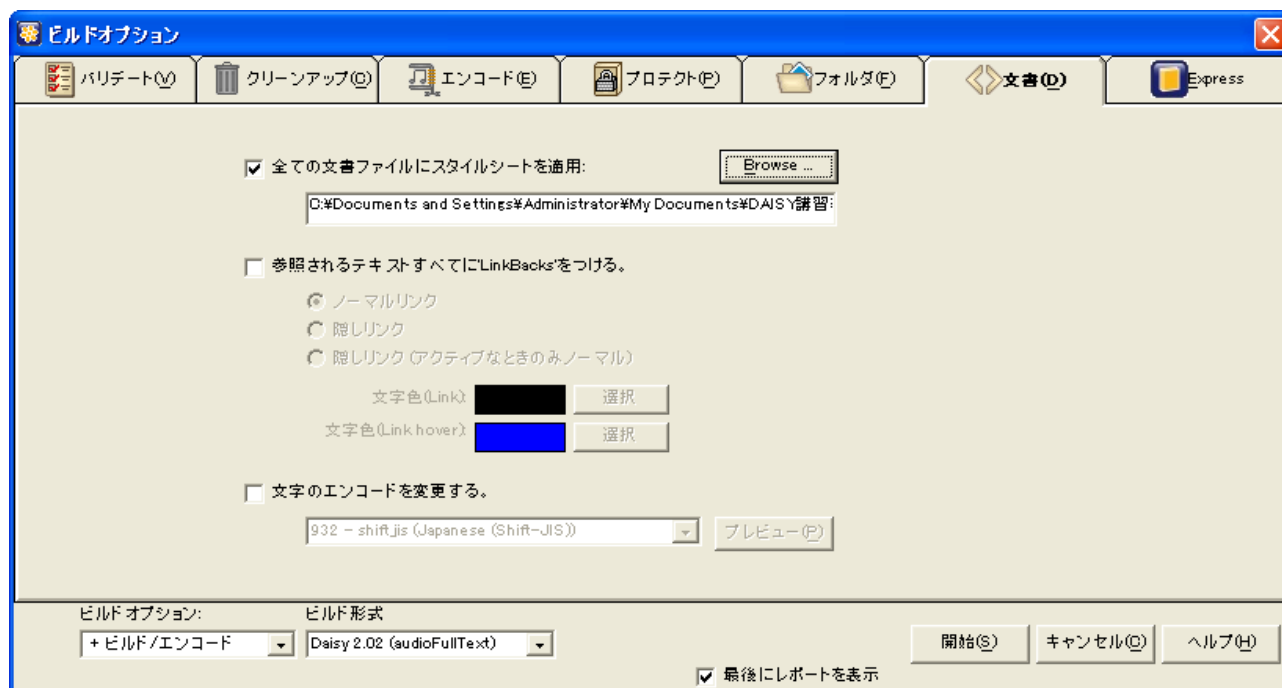
早送りの速度の調節は、メイン画面の「オプション」メニュー「一般」の「再生」タブでできます。

すべてのテキストがシンクロできると、テキストの横に見えていた数字が消えます。もし、数字が残っている場合は、その場所に複数のテキストイベントがあることになるので、テキストを移動する必要があります。これは、ビルドの際に、バリデートで確認できます。

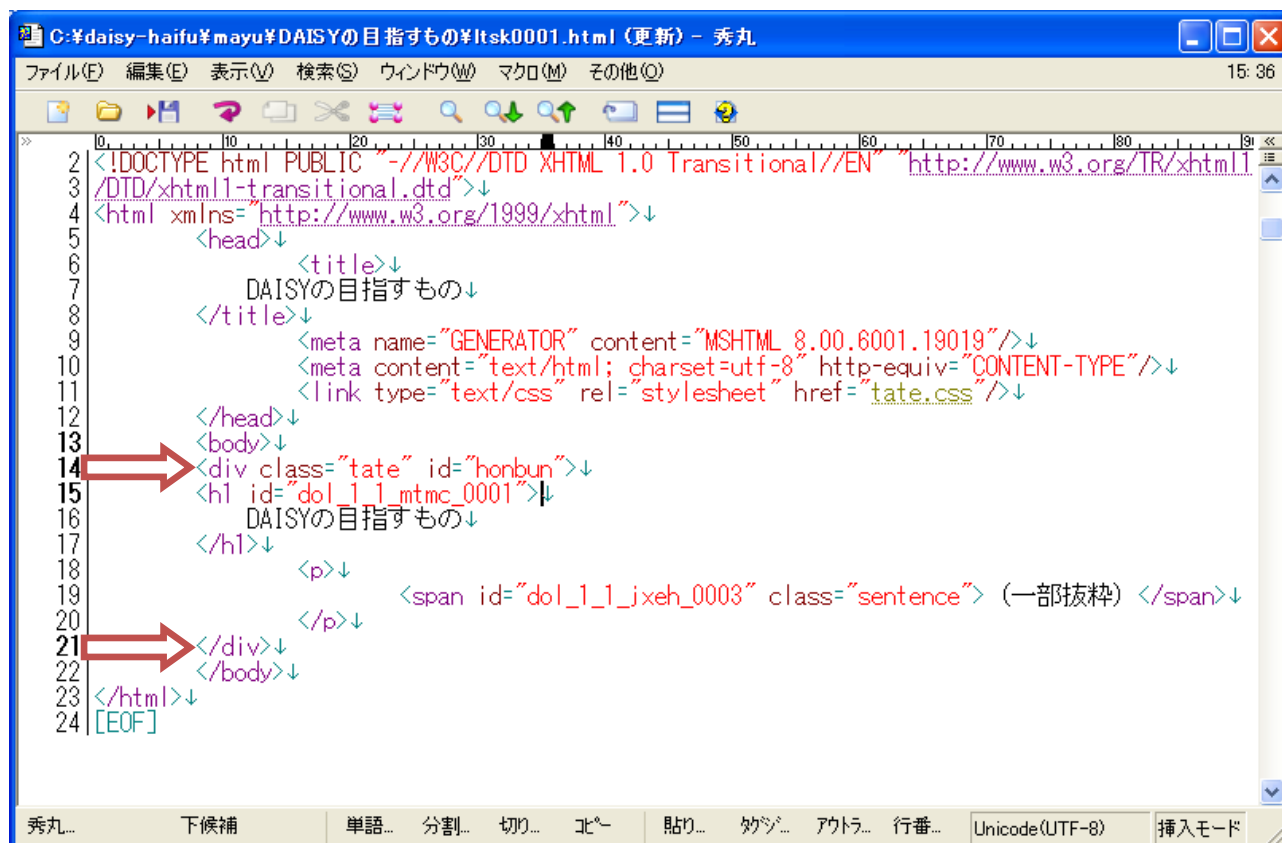


【4】スタイルシートの適用

1. スタイルシートは事前に準備しておいて、ビルドの際に適用します。
ビルドオプションの「文書」タブで、「すべての文書ファイルにスタイルシートを適用」にチェックを入れて、「Browse」ボタンをクリックして、スタイルシートを選択してから、ビルドを開始します。



2. 縦書きの場合は、ビルド終了後に、完成した図書の XHTML ファイルに、`<div class="tate" id="honbun">` `</div>` を追加します。



【5】メイン画面でページを編集

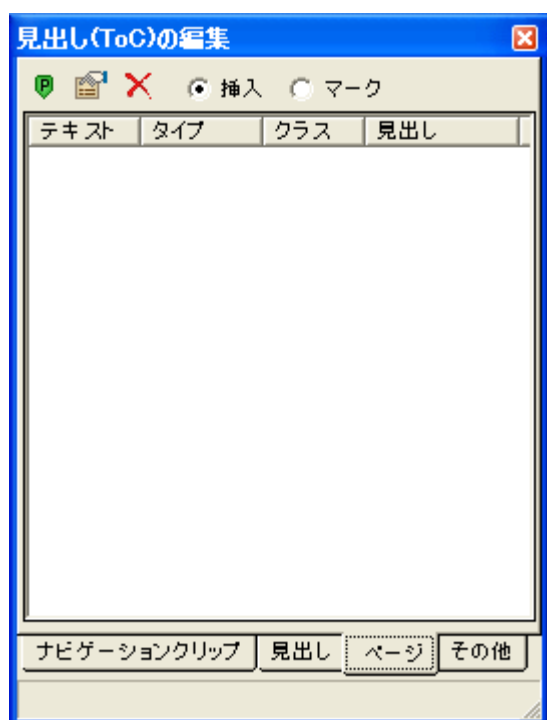
1. まず、ページを挿入したい位置の一つ前のテキストイベントを選択します(選択したテキストイベントの後にページが入ります。)


Tips

音声録音されている図書の場合は、ページ用の無音の音声イベントを作成して、音声イベントのはじめの音声マーカーをクリックしておきます。

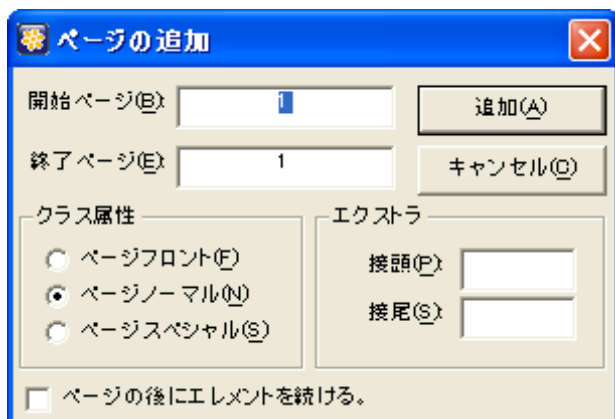


- 「表示」メニューの「見出しの編集画面を開く」(F4)を選択し、見出しの編集画面を開きます。



2. ページタブを開き、上方の「挿入」にチェックを入れます。
3. 左上のボタン  「新しいページを加える」(Ctrl + 1)をクリックします。

4. ページ番号を「開始ページ」「終了ページ」に入力します。1 ページだけの場合は同じ番号を入力します。複数ページを入れる場合（見開きの場合等）は、開始と終了のページ番号を入力します。「追加」をクリックすると、見出しの編集画面にページ番号が追加されます。



Tips1

見出しの編集画面で、×印のボタン (delete) で、ページを削除することができます。ただし、この方法でページを削除すると、ページのあった場所に不正なシンクロができてしまいます。

音声波形エリアで、不正なシンクロを選択して、T字のマークが黄緑になっている状態で、右クリックをし、「削除」を選択してください。不正なシンクロが削除されます。



Tips2

本文中にページ用の数字がすでに入っている場合は、ページタブの「マーク」を選択して、「ページをマークする」ボタン をクリック (Ctrl + Shift + 1) して、その数字をページにすることができます。

【6】TTS 音声のシンクロ

TTS（合成音声）のインストール等については、このマニュアルの51ページの合成音声に関する説明をご参照ください。

テキストの入力とセンテンスの編集が終わった後に、TTS で音声を生成して、自動的に各テキストイベントに音声をシンクロさせることができます。

1. TTS の設定を行う。

「ツール」メニューの「TTS エンコード」の「設定」から「TTS 設定」を開きます。

PC 内の利用できる TTS が検知され、「TTS の声」にリストが表示されます。（最初は検知に時間がかかることがあります。）

「TTS の声」の一覧で、利用したい声を選択して、「声の設定」の「上記の設定をデフォルトとして使用する」ボタンと、「上記の設定を見出しに使用する」ボタンをクリックします。本文と見出しの読み上げ音声を分けたい場合は、それぞれ別の音声を選択することで、声を変えることができます。声の設定の調整や、再生テストもできます。

設定が終了したら、「OK」ボタンをクリックして TTS 設定画面を閉じます。



2. TTS で音声を生成し、シンクロする。

「ツール」メニューの「TTS エンコード」から「プロジェクト全体」を選択すると、プロジェクト全体に対して TTS 音声を生成し、各テキストイベントにシンクロできます。場合によっては、「現在のテキスト」、「現在の見出し」、「現在の見出し+子見出し」を選ぶことができます。

Tips1

・すでに MP3 がシンクロされているプロジェクトで音声を上書きした場合、ビルドするとトラブルが起こる可能性があります。事前に音声フォーマットを wav に変換してから音声編集することを推奨しますが、やむを得ない理由で MP3 を編集した場合は、ビルドをせずに、不要なファイルを削除することで対応して下さい。

Tips2

合成音声の読み間違いがあった場合は、コントロールパネルで、合成音声の辞書登録をしてから、再度 TTS で音声を生成することで、修正できます。

次の手順で音声合成の設定を開きます。まず、「スタート」メニューの「コントロールパネル」を開きます。(Windows8 では、「設定」の「コントロールパネル」)

●Windows8、Windows 7 と Windows Vista では、
「コンピューターの簡単操作」-「音声認識」-「音声合成」-「音声合成」タブを開きます。
カテゴリ表示にしてない場合は、「音声認識」-「音声合成」-「音声合成」タブを開きます。

●Windows XP では、
「サウンド、音声、およびオーディオ デバイス」-「音声認識」-「音声合成」タブを開きます。クラシック表示の場合は、「音声認識」-「音声合成」タブを開きます。

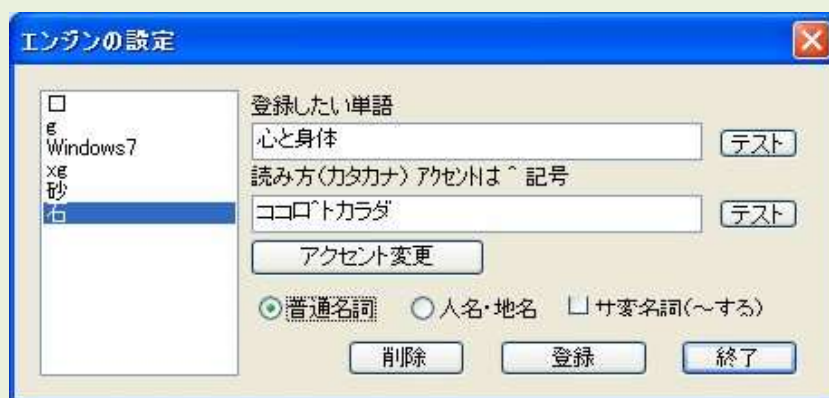
次に、選択した音声の右下の「設定」を選択すると、エンジンの設定ダイアログが開きます。

「登録したい単語」に、読み間違いのあった単語を入力します。

「読み方(カタカナ)」に、カタカナで正しい読みを入力します。「テスト」ボタンを押して、正しく読むか確認します。

アクセントを変更したい場合は、「アクセント変更」ボタンを押します。

入力できたら、「登録」ボタンを押して、終了です。



TTS エンジンの設定を変更したら、再度、DolphinPublisher で音声の生成を行います。

「ツール」メニューの「TTS エンコード」の「現在のテキスト」を選択すると、選択している文脈のみ音声を生成し直すことができます。


【7】プロジェクトの結合

製作した2つのプロジェクト「A」と「B」を結合する手順を紹介します。

1. まず、「A」を Publisher で開きます。

Tips

- ・ 図書が入ったフォルダのパス名に日本語が含まれると開けない場合があるので、英語のフォルダに移動してから図書を開きます。
- ・ 一度ビルドしたプロジェクトを開く際には、「DolphinPublisher はプロジェクト内をスキャンして必要なアップデートをします。…」というメッセージが表示されるので、「OK」ボタンを押します。
- ・ 「プロジェクトから LinkBacks を削除しますか？」というメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。）

2. 「見出し編集画面」(F4)で、「インポート」の「NCC のインポート」を選択して、「B」の ncc.html を選択します。
3. 「NCC アイテムのインポート」画面で、インポートしたい見出しを選択します。全ての見出しを選択する場合は「すべて選択」をクリックします。「挿入位置」で「最後の NCC アイテム」を選択します。「インポート」ボタンを押します。



4. 複数の図書をインポートする場合は、2～3を繰り返します。
5. インポートが終わったら、「プロジェクト」メニューの「メタデータの編集」を開いて内容を確認します。
6. 最後に、「プロジェクト」メニューの「ビルドプロジェクト」でビルドして、完成。

Tips

結合するプロジェクトに、同じ名前のファイルがあると、結合できません。

【8】 Dolphin Publisher でよく使うショートカットキー

1. メイン画面で使うもの:

見出しの編集画面を開く: F4

HTML エディタ: F6

イベント間の移動: Alt + 矢印キー

ページの挿入: Ctrl + 1

見出し間の移動: Ctrl + Page up /down

2. 音声エディタで使うもの:

再生・停止: スペースバー

録音: Ctrl + F5

停止: F5

イベント間の移動: Alt + 矢印キー

波形上の位置を選択: 矢印キー

音声マーカーの挿入・削除: Ctrl + S / Ctrl + J

ひとつ後の位置にあるテキストイベントを、選択した音声とシンクロナイズする: Ctrl + Enter

ひとつ前のテキストイベントを、選択した音声とシンクロナイズする: Ctrl + Shift + Enter

音声の選択: Shift 左/右矢印キー

フレーズの選択: Alt + Shift + 左/右矢印キー

音声のカット、コピー、貼り付け: Ctrl + X, Ctrl + C, Ctrl + V

現在の位置から最後まで選択: Alt + Shift + End

現在の位置から最初まで選択: Alt + Shift + Home

【9】 Dolphin Publisher でよく使うアイコン

1. メイン画面の音声波形エリアで使うもの:



音声表示部分を拡大



音声表示部分を縮小



ノーマル(30秒)または全長までズームします。(* 通常のサイズに戻すのに使用します)



編集モードを切り替えます。(センテンスの前)



編集モードを切り替えます。(現在位置) (* 通常はこの設定で編集をします)



編集モードを切り替えます。(現在位置-自動整列)



編集モードを切り替えます。(センテンスの後)

2. HTML 編集画面で使うもの:



保存。(変更を一時的に HTML エディタに保存します。)



センテンスを作成。(選択したテキストのセンテンスを作成。)



センテンスの自動検知。(選択したテキストのセンテンスを自動で検知します。選択されていなければ、文書全体が処理されます。自動検知の設定は、メイン画面の「オプション」メニュー「一般」の「マークアップ」タブでできます。)



現在位置をスキップコンテンツにする。(スキップコンテンツにはページ等があり、再生ツールで読み飛ばし設定をして読み飛ばすことができます。)



画像を挿入。(文書に画像を挿入する際に使用します。)



ハイパーリンク。(ハイパーリンクを作成します。)



テキスト色づけ。(センテンスごとに色が付くので、センテンスの確認を効率よく行えます。)

【10】 DolphinPublisher3.03 の既知の問題とその回避方法

DolphinPublisher は、英語のソフトを日本語化していることもあり、日本語環境で使うにあたって、いくつか既知の問題があります。問題は開発元である Dolphin 社に報告しており、一つ一つ改善はされていますが、すべて修正されているわけではありません。

一方、マルチメディアの DAISY 図書のテキストと音声を DolphinPublisher ほど自由に編集できるツールは現状では他にありません。特に HTML の編集機能があるツールは他にありません。逆に言えば、HTML の編集を行うと問題が発生しやすいために、他のツールでは実装されていません。現状では、問題を回避しながら DolphinPublisher を上手く活用するのが、効率よい製作方法となっています。

DolphinPublisher3.03 の既知の問題とその回避方法は次の通りです。

問題1

HTML 編集画面で、table タグ内のテキストを選択してセンテンスを作成すると、HTML ファイルが壊れる場合がある。

回避策1

先に、普通のテキストの状態、センテンスを作成して、図書が完成した後に table タグを入れて、見た目を整えるという順番で製作すれば回避できる。

問題2

HTML 編集画面で、次の場合にセンテンスの編集を行うと、HTML 編集画面がフリーズしやすい場合がある。

- ・bold, italic, underline 等の文字への装飾をしている場合
- ・縦書きのスタイルシートを入れている場合
- ・テキストのすぐ横に改行を入れずに画像がある場合
- ・ <hr /> を使用している場合

回避策2

・bold, italic, underline 等の文字への装飾は、センテンスの編集が完了した後に追加することで回避できる。装飾後にセンテンスを編集する必要がある場合は、文字への装飾を解除してから編集するようにする。

・縦書きのコンテンツであっても、Publisher で編集する際は横書きで行い、図書が完成した後に縦書きのスタイルシートを入れることで回避できる。

・テキストの後に Enter で改行を入れてから画像を入れることで、画像の周辺での問題を回避できる。

・<hr /> は、センテンスの編集が完了した後に XHTML ファイルに入れると回避できる。

問題3

MSWord で、画像の代替テキストに改行を入れたファイルから、Save as DAISY Translator で DAISY に変換したものを、DolphinPublisher の HTML 編集画面で開くと、大量の空行と空白が代替テキストの改行 部分に発生する。

回避策3

DAISY Translator と DolphinPublisher を使う時は、次のような回避方法がある。

MS Word で代替テキストを入れる際は改行を入れないようにする。

代替テキストは Publisher で入れるようにする。

問題4

Windows7 で録音ロールアップウィンドウの文字がはみ出してしまう。

問題5

見出しの編集画面で、×印のボタン (delete)でページを削除すると、ページのあった場所に不正なシンクロができてしまう。

回避策5

音声波形エリアで、不正なシンクロを選択して、T 字のマークが黄緑になっている状態で、右クリックをし、「削除」を選択すると、不正なシンクロが削除されます。

- Tips では、使い方のヒントとコツを紹介しています。
- DolphinPublisher のヘルプもご活用ください。メイン画面の「ヘルプ」メニューの「ヘルプ」より開くことができます。

DAISY Pipeline (パイプライン)



DAISY Pipeline は、DAISY を含む様々なファイルの相互変換ができるソフトです。
DAISY コンソーシアムが開発を行う、無償でオープンソースのソフトです。

ダウンロードは下記リンクからできます。

ATDO ウェブサイト (日本語) <http://www.normanet.ne.jp/~atdo/tool.html#pipeline>

DAISY コンソーシアムウェブサイト (英語 (自動翻訳あり))

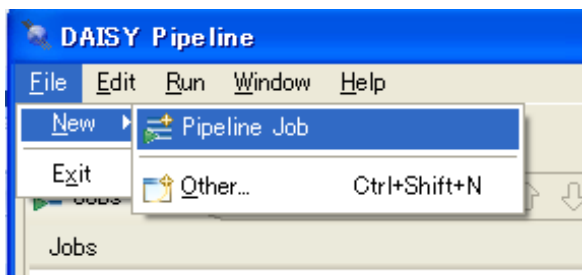
<http://www.daisy.org/pipeline/download>

Pipeline には様々な機能がありますが、その中から2つ紹介します。

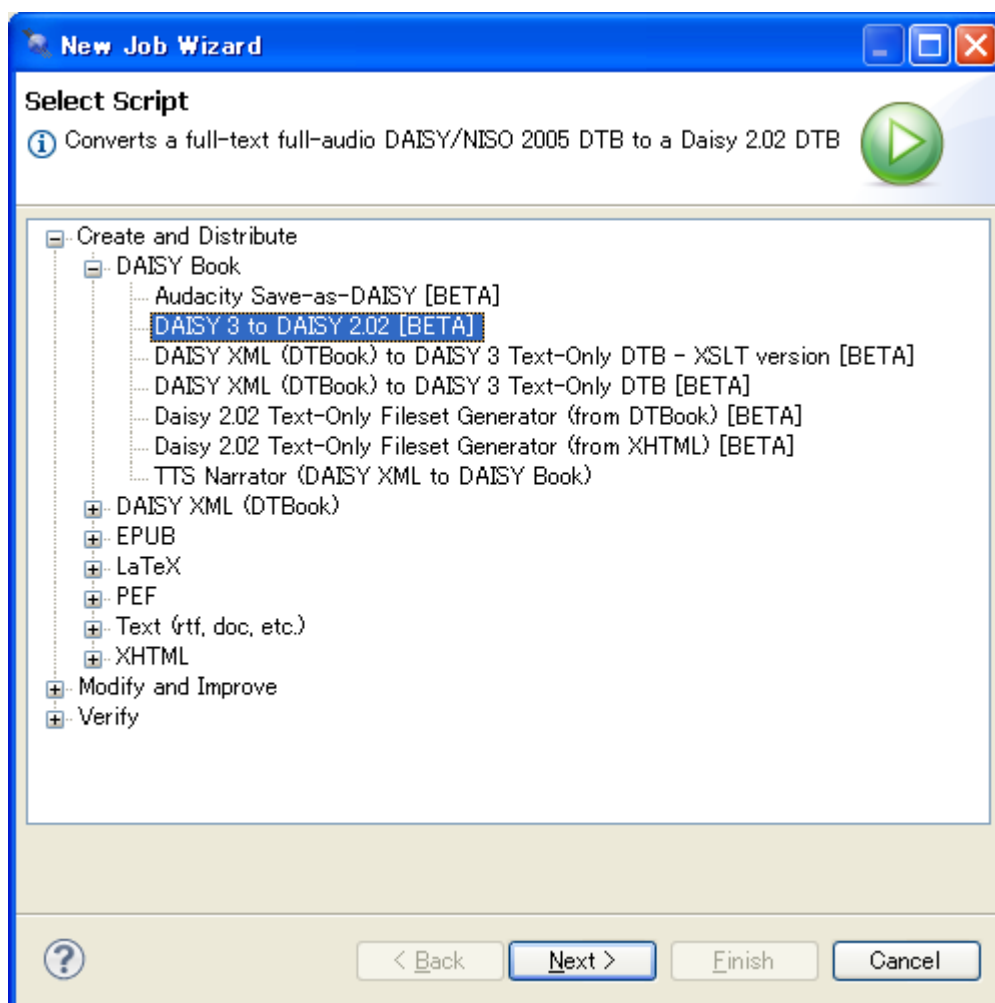
- [1. DAISY 3 から DAISY2.02 への変換](#)
- [2. 文字コード UTF-8 から Shift_JIS への変換](#)

1. DAISY3 から DAISY2.02 への変換

[File] メニューの [New] の [Pipeline job] を開きます。

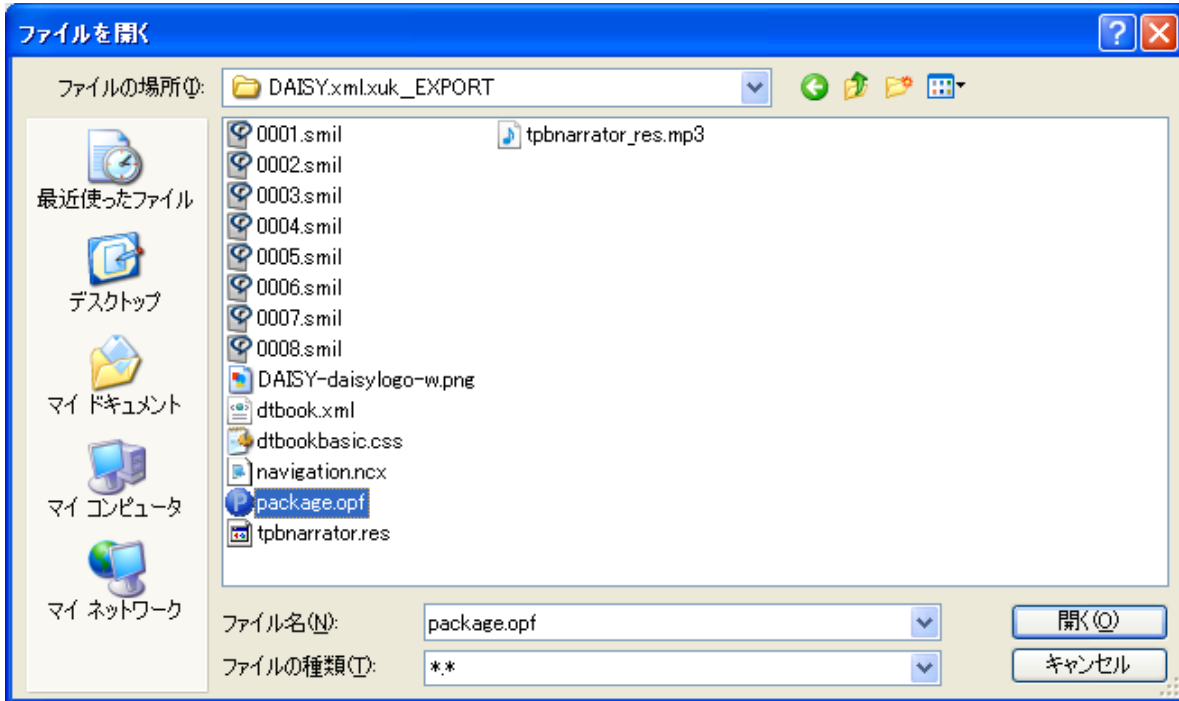


[Create and Distribute > DAISY Book > DAISY3 to DAISY2.02 [BETA]] を選択して、[Next] をクリックします。



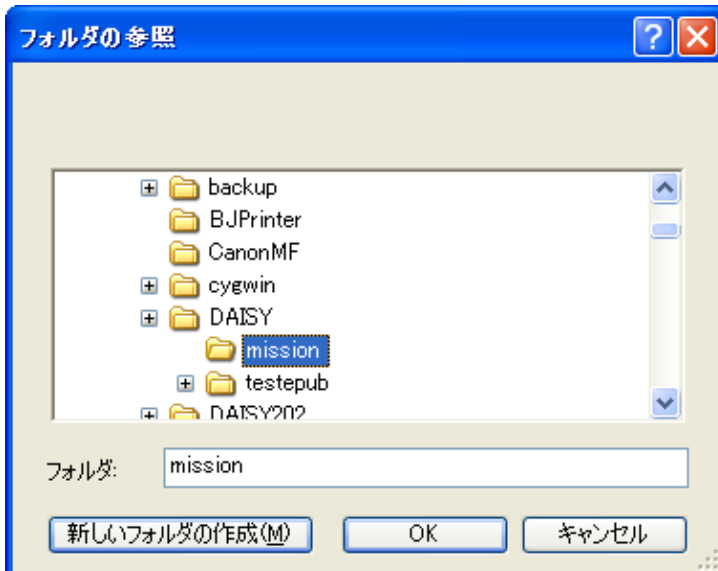
Input OPF : [Browse]ボタンを押します。

変換する DAISY 3 図書のフォルダ内の[.opf]ファイルを選択します。

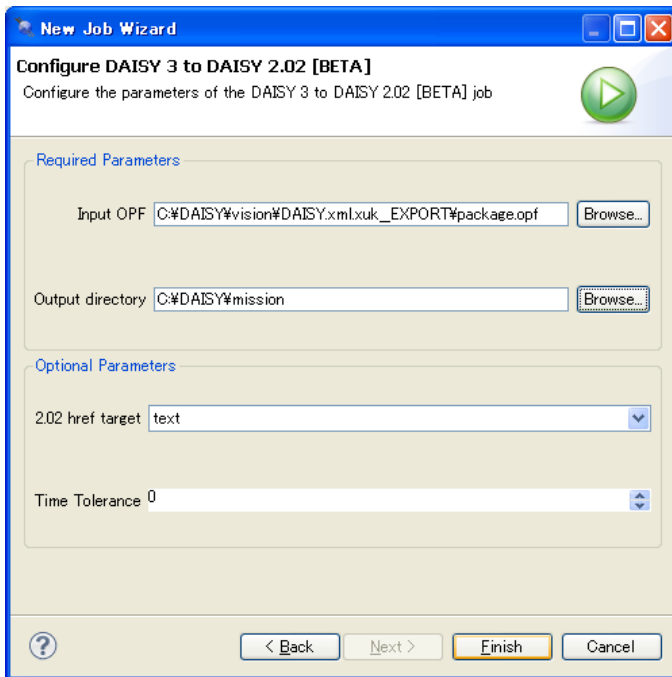


Output Directory : [Browse] ボタンを押します。

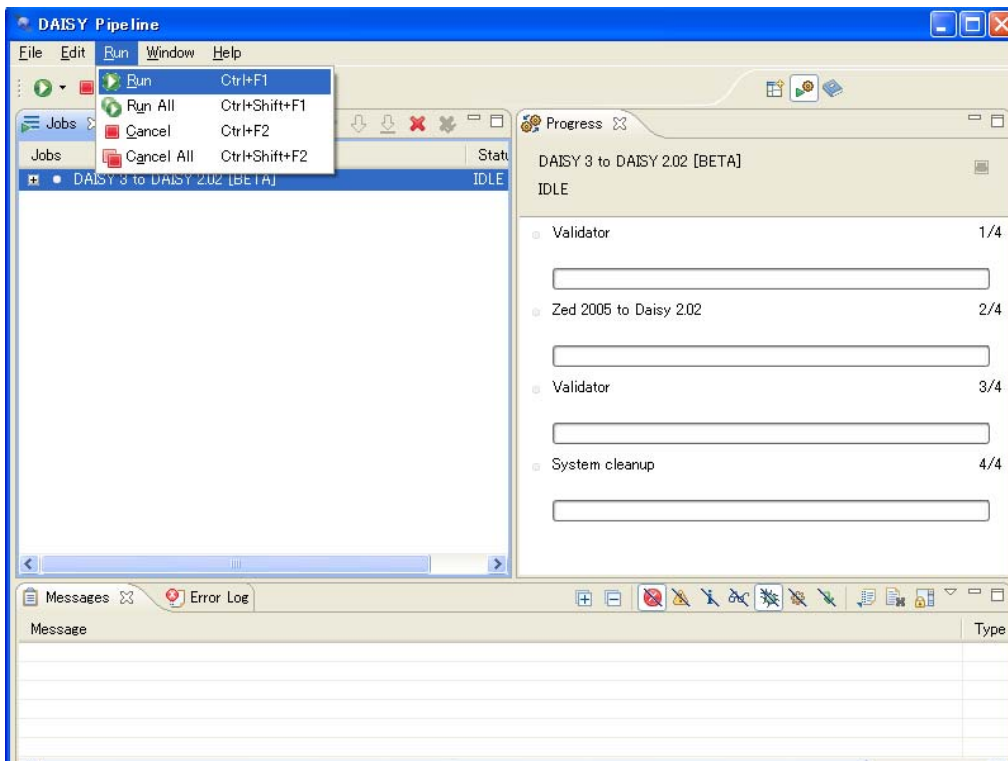
PC 内にフォルダを新規作成し、変換後の DAISY2.02 図書を保存するフォルダをつくります。



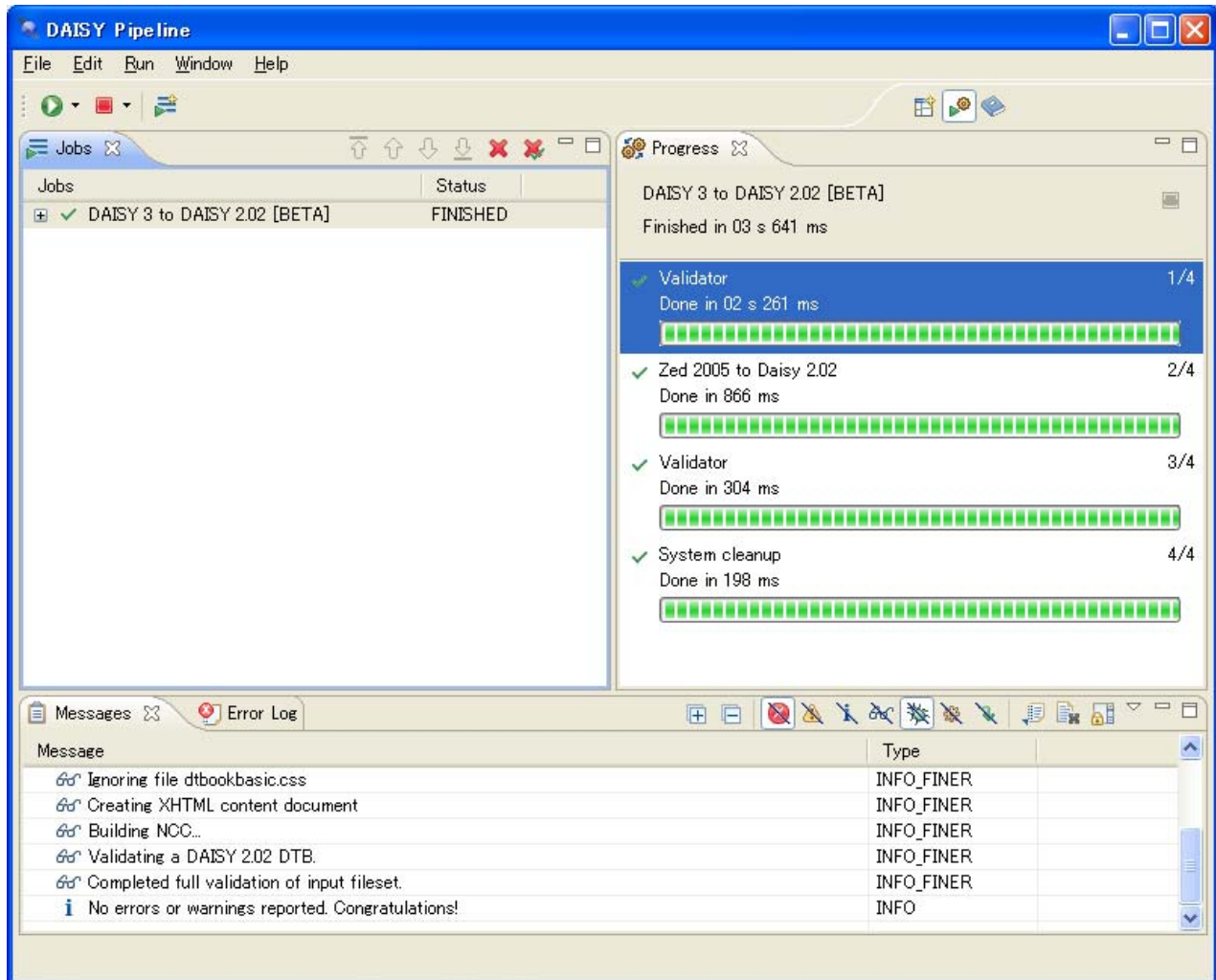
[Finish] ボタンを押します。



DAISY3 to DAISY2.02 [BETA]を選択して、[Run] メニューの[Run]で変換開始



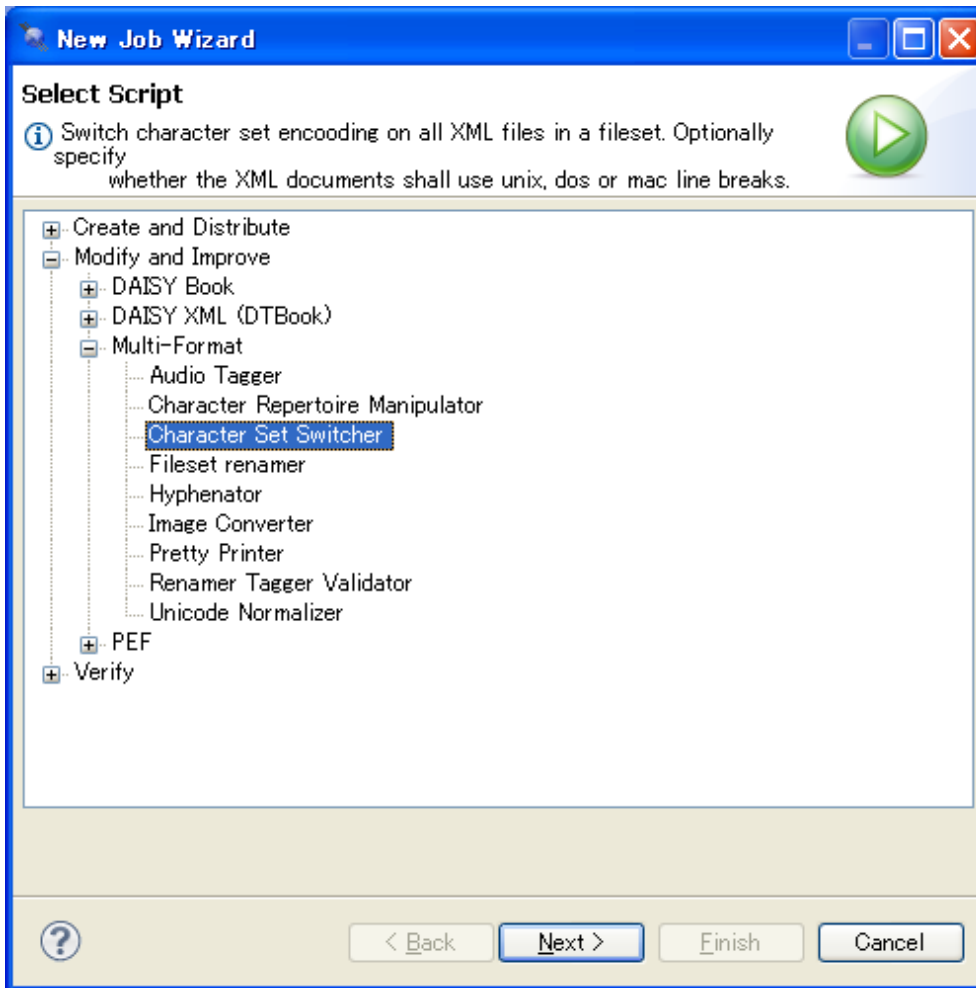
Messages に「Validating a DAISY 2.02DTB」の後、「NO errors or warnings reported Congratulations!」と出たら、DAISY2.02 ファイルへの変換完了です。



2. 文字コード UTF-8 から Shift_jis への変換

[File > new > Pipeline job] を開きます。

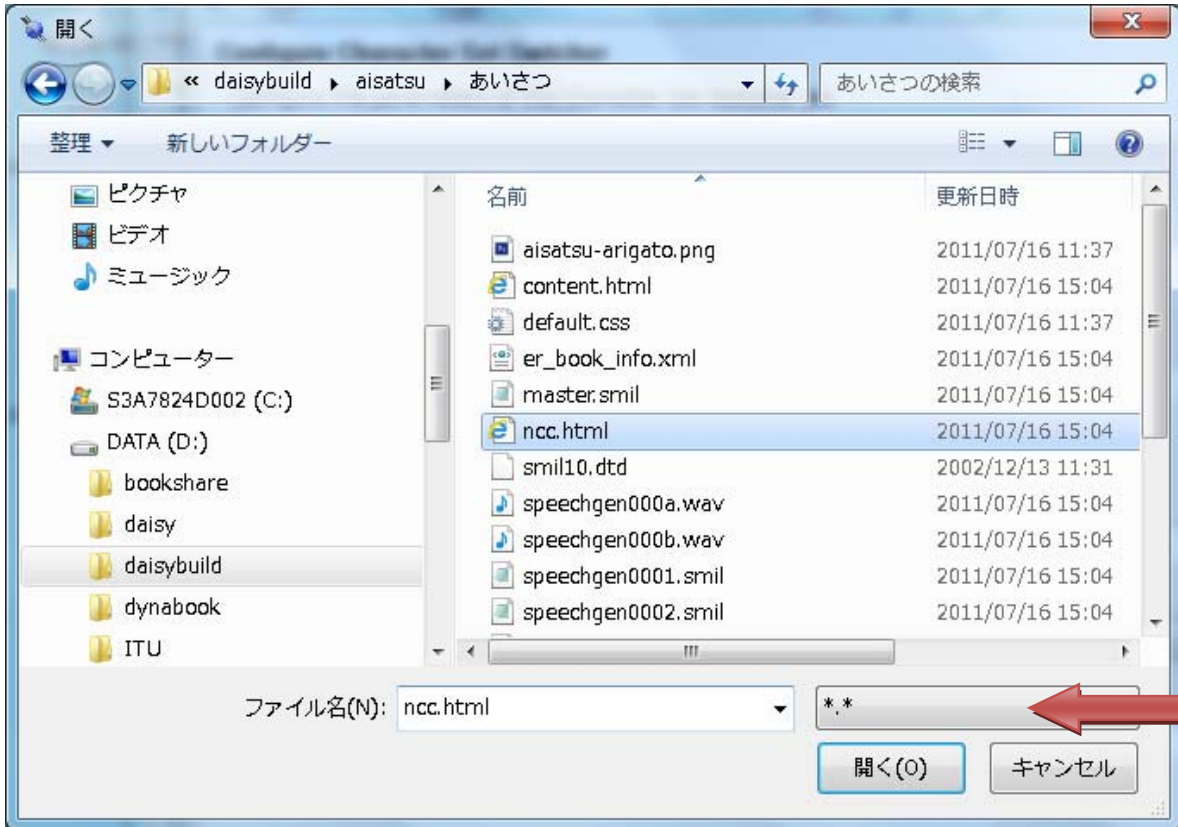
[Modify and Improve > Multi-Format > Character Set Switcher] を選択し、[Next]ボタンを押します。



Input file : [Browse]ボタンを押します。

* ファイルの種類のパルダウンを「*.*」に設定します。*.xml になっていると ncc.html ファイルは見えません。

文字コードを変換したい DAISY 図書のフォルダ内の[ncc.html]ファイルを選択します。



Output Directory : [Browse] ボタンを押します。

PC 内にフォルダを新規作成し、変換後の DAISY 図書を保存するフォルダをつくります。

Output encoding : UTF-8 から Shift_JIS への変換を行うので、[Shift_JIS]と入力します。

[Finish]を選択します。

The image shows a Windows-style dialog box titled "New Job Wizard" with a sub-title "Configure Character Set Switcher". The main instruction is "Configure the parameters of the Character Set Switcher job". There is a green play button icon in the top right corner. The dialog is divided into two sections: "Required Parameters" and "Optional Parameters".

Required Parameters:

- Input file: C:\DAISY\testkosyu\pipeline202\nc.html (with a "Browse..." button)
- Output directory: C:\DAISY\testkosyu\shiftjis (with a "Browse..." button)

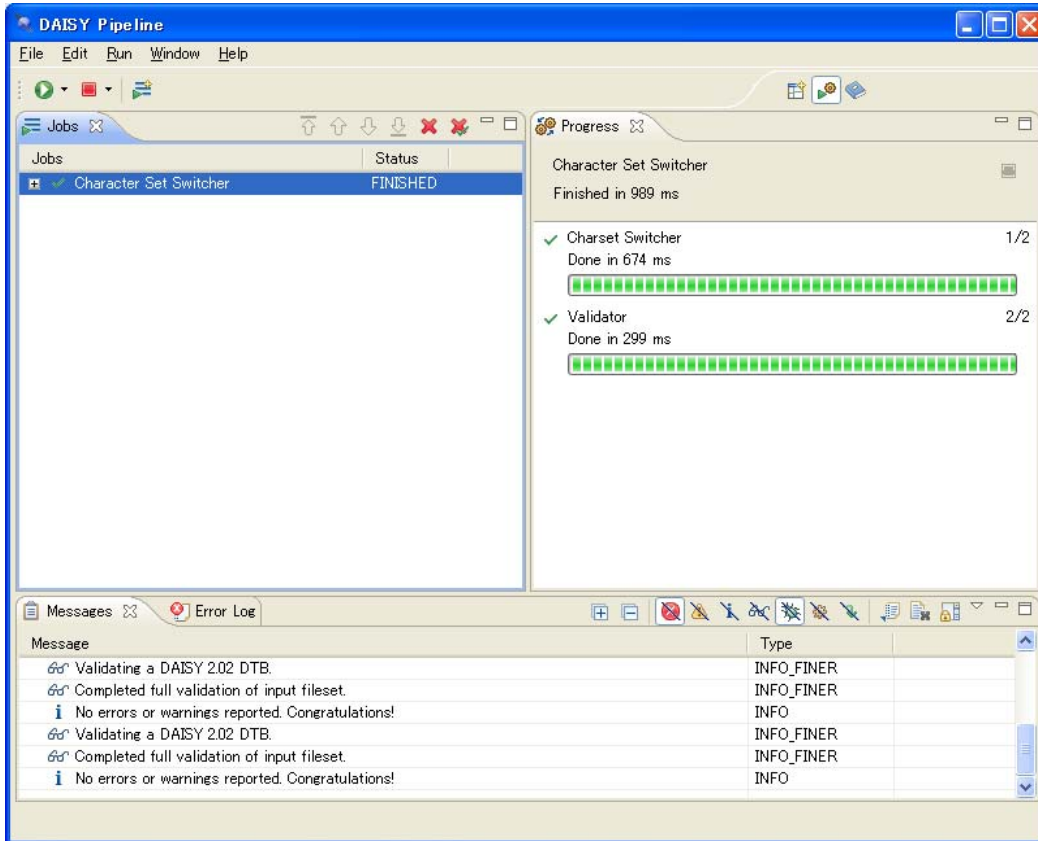
Optional Parameters:

- Output encoding: Shift_jis
- Linebreaks: System default (with a dropdown arrow)
- XML Validation Report: (with a "Browse..." button)

At the bottom, there is a help icon (question mark) and four buttons: "< Back", "Next >", "Finish", and "Cancel".

メイン画面で、[Character Set Switcher]作業を選択して、[Run]メニューの[Run]で変換開始します。

Congratulations ! と出たら変換完了です。



2013年3月現在、EPUB3やDAISY4、HTML5等に対応したPipeline 2の開発が行われています。

(Pipeline2 ウェブサイト : <http://www.daisy.org/pipeline2>)

(c) ATDO 2013